

書 証 一 覽 表

檢察側立証

弁護側反証

檢察側反駁立証

弁護側再反駁立証

検 事 側 立 証

立 証 段 階	書 証 番 号	書 証 名 (内 容 要 旨)	法 廷 = 提 出 年 月 日 (公 判 日 次)	請 求 記 号
基 本	1	1943.11.27 「カイロ」会談	21. 5. 6 (3)	
	2	1945.7.26 「ポツダム」宣言	〃	
	3	1945.8.10 日本政府ノ条件附「ポツダム」宣言 受諾文書	〃	
	4	1945.8.11 書証番号3号ニ対スル米國務長官ノ 回答文書	〃	
	5	1945.8.14 日本政府「ポツダム」宣言受諾文書	〃	
	6	1945.9.2 降伏文書	〃	
文	7	1945.12.26 「モスコウ」会議協定	〃	
	8	1946.1.19 「マッカーサー」元帥特別宣言書	〃	LF/E/8
	9	極東国際軍事裁判所条例 (SCAP一般命令第20号)	〃	LF/E/9
	10	1946.2.15 極東国際軍事裁判所判事任命ニ関ス ル命令 (SCAP一般命令第7号)	〃	LF/E/10
書	11	極東国際軍事裁判所手続規定	〃	
	12	1899.7.29 国際紛争ノ平和的解決ノ為ノ「ヘー グ」条約	21. 6.13 (10)	LF/E/12
	13	1907.10.18 国際紛争ノ平和的解決ノ為ノ「ヘ ーグ」条約	〃	LF/E/13
	14	1907.10.18 敵対行為ノ開始ニ関スル「ヘーグ」 条約 第3号	〃	LF/E/14
	15	陸戦ニ関スル条約 (陸戦ノ法規・慣習, 陸戦ニ於ケ ル中立国及中立国人ノ権利及義務 (1907.10.18), 俘虜ノ待遇ニ関スル条約 (1929.7.27))	〃	LF/E/15

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年・月・日(公判日次)	請求記号
基本文書	16	1907.10.18 寿府条約ノ原則ヲ海戦ニ応用スル条約(「ヘーグ」条約第10号)	21. 6.13 (10)	LF/E/16
	17	1912.1.23, 1913.7.9 阿片其ノ他ノ麻薬濫用防遏ニ関スル条約及最終議定書	〃	LF/E/17
	18	1925.2.19 国際聯盟第2回阿片会議条約	〃	LF/E/18
	19	1931. 7.13 麻薬ニ関スル条約	〃	LF/E/19
	20	1929.7.27 赤十字条約	〃	LF/E/20
	21	1905.9.5 「ポーツマス」条約	〃	LF/E/21
	22	1908.11.30 米日間ノ通牒交換ニヨリ締結セラレタル東亜ニ於ケル双方ノ政策ヲ宣言セル協定	〃	LF/E/22
	23	1919.6.28 「ベルサイユ」条約	〃	LF/E/23
	24	1921.1.2.13 英仏日米間ノ太平洋方面ノ島嶼タル領地ニ関スル四ヶ国条約	〃	LF/E/24
	25	1922.2.6 書証番号24号ニ対スル追加協定	〃	LF/E/25
	26	1922.2.4 和蘭政府ニ発シタル書証番号24号ノ同文通牒	〃	LF/E/26
	27	1922.2.6 「ポルトガル」政府ニ発シタル書証番号24号ノ同文通牒	〃	LF/E/27
	28	1922.2.6 九ヶ国条約	〃	LF/E/28
	29	1922.2.11 米日間ノ華府条約	〃	LF/E/29
	30	1922.4 極東共和国対日本条約原案十七ヶ条	〃	LF/E/30
	31	1925.1.20 北京条約	〃	LF/E/31

立証 段階	書証 番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出 年月日 (公判日次)	請求記号
基 本 文 書	32	1928.8.27 不戦条約	21. 6.13 (10)	LF/E/32
	33	1929.8.27 不戦条約第十一条ニ関スル日本帝国 宣言書	〃	LF/E/33
	34	華府軍縮条約	〃	LF/E/34
	35	「ロンドン」軍縮条約	〃	LF/E/35
	36	1936.1.1.25 日独防共協定及同附属秘密議定書	〃	LF/E/36
	37	1938.1.1.25 日独文化協定	〃	LF/E/37
	38	1939.3.23 日伊文化協定	〃	LF/E/38
	39	1939.7.29 日独通商条約	〃	LF/E/39
	40	1940.1.1.30 日華基本条約	〃	LF/E/40
	41	1940.6.12 日泰不可侵条約	〃	LF/E/41
	42	1940.9.22 日仏印協定	〃	LF/E/42
	43	1940.9.27 日独伊三国条約	〃	LF/E/43
	44	1941.1.31 泰仏印間停戦協定	〃	LF/E/44
	45	1941.4.13 日「ソ」中立条約	〃	LF/E/45
46	1941.5.6 日仏間商業条約	〃	LF/E/46	
47	1941.5.9 泰仏印間講和条約	〃	LF/E/47	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
基本文書	48	1941.1.25 日独防共協定更新条約	21. 6.13 (10)	
	49	1942.1.18 日独伊三国軍事協定	〃	LF/E/49
	50	1943.1.20 日独伊三国經濟協定	〃	LF/E/50
	51	1941.1.2.11 日独伊三国单独不媾和協定	〃	LF/E/51
	52	1933.4.19 日蘭調停条約及日本国ニヨル廢棄通告	〃	LF/E/52
	53	1939.7.26 日米通商条約廢棄通告(米側)	〃	LF/E/53
	54	1945.4.5 日「ソ」中立条約廢棄通告(「ソ」聯側)	〃	LF/E/54
	55	1932.3.4 戦斗行為ノ停止及日本軍隊撤退ヲ定ムル取極メヲ要請スル国際聯盟ノ決議文	〃	LF/E/55
	56	1932.3.11 武力ニヨル現状変更ヲ承認セズトノ主張ヲ支持シ日支紛争ニ関スル19名ノ委員任命ノ聯盟決議文	〃	LF/E/56
	57	「リットン」報告書	〃	
	58	日米外交関係叢書(華府条約廢棄通告, 倫敦會議撤退通告, 14吋砲制限拒否, 海軍建艦計画発表拒否, 聯盟決議休戦協定草案)	〃	LF/E/58
	59	1933.2.24 日本ノ滿洲ニ對スル行動ハ侵略ナリトスル国際聯盟ノ報告	〃	
	60	1933.9.11 中華民國ノ規約第十七条適用ヲ要請セル書面	〃	LF/E/60
61	1938.9.19 中華民國ト日本トノ紛争解決ノ為ノ對日本国際聯盟出席招請状	〃	LF/E/61	
62	1938.9.22 書証番号61号ニ對スル日本ノ招請拒否状	〃	LF/E/62	
63	1937.10.27, 11.1.2 「ブリュッセル」會議招請状	〃	LF/E/63	

立証段階	証書番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
基本文書	64	1945.8.8 「ソ」聯ノ対日宣戦布告文	21. 6.13 (10)	LF/E/64
	65	1933.3.27 日本ノ国際聯盟脱退通告文	//	LF/E/65
	66	1938.11.2 日本ノ国際聯盟諸機関ヨリノ脱退ニ関スル文書	//	LF/E/66
	67	1941.7.25 米国ノ在米日支資産凍結令	//	LF/E/67
	68	大日本帝国憲法	//	LF/E/68
	69	皇室典範	//	LF/E/69
	70	内閣官制	//	LF/E/70
	71	企画院官制	//	LF/E/71
	72	内閣情報局官制	//	LF/E/72
	73	各省官制通則	//	LF/E/73
	74	陸軍省官制	//	LF/E/74
	75	海軍省官制	//	LF/E/75
	76	外務省官制	//	LF/E/76
	77	軍令ニ関スル件	//	LF/E/77
78	参謀本部条例	//	LF/E/78	
79	軍令部令	//	LF/E/79	

立証段階	書証番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出年(公判日次) 月 日	請求記号
基本文書	80	大本營令	21. 6.13 (10)	LF/E/80
	81	議院法	〃	LF/E/81
	82	貴族院令	〃	LF/E/82
	83	枢密院官制及事務規程	〃	LF/E/83
	84	国家総動員法	〃	LF/E/84
	85	憲法告文	〃	LF/E/85
	86	憲法前文	〃	LF/E/86
	87	拓務省官制	〃	LF/E/87
	88	内務省官制	〃	LF/E/88
	89	軍需省官制	〃	LF/E/89
	90	大東亜省官制	〃	LF/E/90
	91	文部省官制	〃	LF/E/91
	92	俘虜收容所令及俘虜情報局官制	〃	LF/E/92
	93	陸海軍大臣現役制ニ関スル勅令(明治,大正,昭和ノモノ3通)	〃	LF/E/93
	94	宮内省官制	〃	LF/E/94
95	内大臣府官制	〃	LF/E/95	

立証段階	書証番号	書証名 (内容要旨)	法廷ニ提出年月日 (公判日次)	請求記号
基本文書	96	内閣参議及行政查察使ニ関スル勅令	21. 6.13 (10)	LF/E/96
	97	無任所大臣追加任命ニ関スル勅令	〃	LF/E/97
	98	治安維持法改正法律	〃	LF/E/98
	99	国家総動員法ニ基ク諸勅令	〃	LF/E/99
	100	日本政府組織一覧表	〃	LF/E/100
	101	1931年以降日本ノ支配勢力ノ及ビタル範圍ヲ示ス地図	〃	
	102	1931~1946年間ノ日本帝国政府文武官就任期ヲ明示セル目錄	21. 6.14 (11)	LF/E/102
人事録	103	荒木貞夫ノ内閣官房人事録	〃	LF/E/103
	104	土肥原賢二ノ内閣官房人事録	〃	LF/E/104
	105	橋本欣五郎ノ内閣官房人事録	〃	LF/E/105
	106	畑 俊六ノ内閣官房人事録	〃	LF/E/106
	107	平沼騏一郎ノ内閣官房人事録	〃	LF/E/107
	108	広田弘毅ノ内閣官房人事録	〃	LF/E/108
	109	星野直樹ノ内閣官房人事録	〃	LF/E/109
	110	板垣征四郎ノ内閣官房人事録	〃	LF/E/110
	111	賀屋興宣ノ内閣官房人事録	21. 6.17 (12)	LF/E/111

立証 段階	証 階 番 号	書 証 名 (内 容 要 旨)	法廷ニ提出 年 月 日 (公判日次)	請 求 記 号
人 事 録	112	木戸幸一ノ内閣官房人事録	21. 6. 17 (12)	LF/E/112
	113	木村兵太郎ノ内閣官房人事録	〃	LF/E/113
	114	小磯国昭ノ内閣官房人事録	〃	LF/E/114
	115	松井石根ノ内閣官房人事録	〃	LF/E/115
	116	松岡洋右ノ内閣官房人事録	〃	LF/E/116
	117	南 次郎ノ内閣官房人事録	〃	LF/E/117
	118	武藤 章ノ内閣官房人事録	〃	LF/E/118
	119	永野修身ノ内閣官房人事録	〃	LF/E/119
	120	岡 敬純ノ内閣官房人事録	〃	LF/E/120
	121	大島 浩ノ内閣官房人事録	〃	LF/E/121
	122	佐藤賢了ノ内閣官房人事録	〃	LF/E/122
	123	重光 葵ノ内閣官房人事録	〃	LF/E/123
	124	嶋田繁太郎ノ内閣官房人事録	〃	LF/E/124
	125	白鳥敏夫ノ内閣官房人事録	〃	LF/E/125
126	鈴木貞一ノ内閣官房人事録	〃	LF/E/126	
127	東郷重徳ノ内閣官房人事録	〃	LF/E/127	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
人事録	128	東条英機ノ内閣官房人事録	21. 6.17 (12)	LF/E/128
	129	梅津美治郎ノ内閣官房人事録	〃	LF/E/129
戦争準備ノ為ノ輿論及政治ノ編成替	130	大内兵衛宣誓口述書(軍事教育)	21. 6.19 (14)	LF/E/130
	131	滝川幸辰宣誓口述書(同上)	〃	LF/E/131
	132	陸軍現役将校学校配属令(大正14年勅令第135号)	〃	LF/E/132
	133	青年訓練所規則	〃	LF/E/133
	134	軍事ニ関スル昭和10年勅令第249号	〃	LF/E/134
	135	青年訓練所軍事教練査閲ニ関スル昭和13年勅令第739号	〃	LF/E/135
	136	青年学校教育査閲規程(昭和10年陸軍省令第8号)	〃	LF/E/136
	137	青年訓練所軍事訓練改定規則(昭和15年陸軍省令第10号)	〃	LF/E/137
	138	文部省令抜萃(556頁~557頁) 訓練ニ関スルモノ	〃	LF/E/138
	139	教育勅語(明治23年10月30日)	〃	LF/E/139
	140	前田多門宣誓口述書(軍国主義ノ鼓吹, 言論抑圧)	21. 6.20 (15)	LF/E/140
	141	文部省編纂「臣民の道」	〃	
	142	伊藤述史宣誓口述書(報道検閲)	〃	LF/E/142
143	池島重信宣誓口述書(軍事教育, 報道検閲)	〃	LF/E/143	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
戦争準備 ノ 為 ノ 輿 論 及 政 治 ノ 編 成 替	144	佐木秋夫宣誓口述書(紙芝居ニヨル軍国主義教育)	21. 6.20 (15)	LF/E/144
	145	紙芝居「日本ハ戦争ヲシテキルノダ」	〃	LF/E/145
	146	緒方竹虎宣誓口述書(報道検閲)	21. 6.21 (16)	LF/E/146
	147	中井金兵衛宣誓口述書(映画ニヨル軍国主義教育)	〃	LF/E/147
	148	映画「非常時日本」(荒木陸相講演翻訳文共)	〃	LF/E/148
	149	米国戦艦写真(13枚)	21. 6.24 (17)	
	150	鈴木東民宣誓口述書(言論抑圧)	〃	LF/E/150
	151	陸軍省公式文書(「情報宣伝ニ関スル実施計画綱領案」)	〃	LF/E/151
	152	小泉悟郎第二宣誓口述書(検閲, 特高警察)	〃	LF/E/152
	153	小泉悟郎第一宣誓口述書	21. 6.25 (18)	
	154	新聞紙等掲載制限令(昭和16年勅令第37号)	〃	LF/E/154
	155	映画検閲法	〃	
	156	幣原喜重郎宣誓口述書(浜口内閣ヨリ満州事変勅発後迄)	〃	LF/E/156
	157	清水行之助宣誓口述書(三月事件)	21. 6.26 (19)	LF/E/157
158	徳川義親侯宣誓口述書(三月事件)	〃	LF/E/158	
159	松岡洋右死亡診断書	21. 6.27 (20)		

立証 段階	書証 番号	書証名(内容要旨)	法廷提出 年月日 (公判日次)	請求記号
戦争準備 ノ 為 ノ 輿論 及 政治 ノ 編成 替	160	藤田勇宣誓口述書(橋本欣五郎ト満洲事変)	21. 6.27 (20)	LF/E/160
	161	犬養健宣誓口述書(犬養内閣ト満洲事変五・一五事件)	〃	LF/E/161
	162	若槻礼次郎宣誓口述書(満洲事変勃発時ニ於ケル施政要領)	21. 6.28 (21)	LF/E/162
	163	宇垣一成大将宣誓口述書(肅軍, 三月事件, 宇垣内閣流産ノ経緯)	〃	LF/E/163
	164	黒竜会(国本社, 神武会, 大日本生産党)ニ関スル公式記録	21. 7. 1 (22)	LF/E/164
	165	不穩事件関係者調	〃	LF/E/165
	166	後藤文夫宣誓口述書(大政翼賛会ノ設置)	〃	LF/E/166
	167	大政翼賛会諸規程	〃	LF/E/167
	168	大日本翼賛壮年団本部役職員表等(三月, 十月事件参加人名図表含ム)	〃	LF/E/168
満洲 軍 事 侵 略	169	1927. 7. 7 田中首相声明	21. 7. 2 (23)	LF/E/169
	170	第五十四議会ニ於ケル田中外相ノ演説	〃	
	171	第五十六議会ニ於ケル田中外相ノ演説	〃	LF/E/171
	172	昭和3年5月18日外務省公表第4号	〃	LF/E/172
	173	1928. 8. 奉天訪問ノ林権助大使ニ対スル外務省ノ命令	〃	LF/E/173
	174	真珠湾攻撃ニ関スル調査会ニ於ケル「ハル」氏ノ証言(米国議会議事録抜萃)	〃	LF/E/174
	175	岡田啓介大将第一宣誓口述書(張作霖事件, 田中内閣総辞職ノ経緯, 満洲事変前後, 二・二六事件)	〃	LF/E/175

立証段階	証番号	書証名（内容要旨）	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
満洲軍事情略	176	岡田啓介大将第二宣誓口述書（張作霖事件，田中内閣総辞職ノ経緯，満洲事変前後，二・二六事件）	21. 7. 2 (23)	LF/E/176
	177	橋本欣五郎著「青年ニ告グ」	21. 7. 5 (25)	LF/E/177
	178	木戸日記 (識別証拠)	〃	
	179	同上 抜萃 満洲事変関聯13日付	〃	LF/E/179
	180	張作霖事件関係書類ハ焼失セリト云フ日本政府ヨリGHQヘノ報告文書写	〃	LF/E/180
	181	1931.9.19 林奉天総領事→幣原外相電(3通) (満洲事変勃発時処置)	21. 7. 9 (28)	LF/E/181
	182	松岡洋右著「動ク満蒙」抜萃	〃	LF/E/182
	183	桜会ノ記録(内務省警保局保管，田中清氏ノ陳述ニヨルモノ)	〃	LF/E/183
	184	1931.8.6 軍縮国民同盟尾崎行雄外6名ノ南陸相ヘノ手続抜萃(南陸相ノ各師団長ニ対スル膨張政策鼓吹ノ訓示ニ対スル詰問)	〃	
	185	1931.8.4ノ南陸相演説原稿ハ焼失セリト云フ第一復員省ヨリノ報告書ヲ含メタルC. I. OヨリG. H. Qヘノ報告書写	〃	
	186	1931.8.6 「Japan Times」記事抜萃 南陸相演説ニ関スル記事	〃	
	187	荒木被告ノ検事側訊問ニ対スル口供書(満洲事変ノ予算ニ関スル枢密院会議)	〃	
	188A	1946.2.15 荒木被告訊問調書抜萃 東四省占領意志決定	〃	LF/E/188A
	〃 B	1946.2.19 同上 東四省占領政策討議	〃	LF/E/188B
〃 C	1946.2.7 同上 東三省占領カラ東四省占領ヘ拡大	〃	LF/E/188C	
〃 D	1946.2.8 同上 東三省，熱河省ハ中国ノ主權下ナルコトヲ認ム	21. 7. 10 (29)	LF/E/188D	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
満洲軍事侵略	188E	1946.2.13 荒木被告訊問調書抜萃 満洲ノ占領ガ軍ニヨリ承認サレアリ	21. 7.10 (29)	LF/E/188E
	189	書証番号58号抜萃 1931.9.24 日本へ満洲ニ対シ領土的野心ヲ有セズトノ保証	〃	LF/E/189
	190	1931.11.24 日本軍ハ錦州ニ対スル敵対行為ハ行ハズトノ保証	〃	LF/E/190
	191	1931.1.2.2.2 日本ハ支那ノ主権ヲ侵サズトノ保証	〃	
	192	1931.9.18 ヨリ 1937.8.13迄ノ期間ニ中国ニ於テ日本ガ侵シタル戦争犯罪ニ関スル中国外交部公式文書	〃	LF/E/192
	〃 A	遼寧, 吉林, 黒竜江及熱河省ニ対スル日本ノ占領	〃	LF/E/192A
	193	1933.5.31 塘沽停戦協定	〃	LF/E/193
	194	書証番号192号抜萃 河北省事件	〃	
	195	1935.1.2.9 関東軍西尾参謀長→古荘陸軍次官電(関東軍ノ対北支宣伝計画)	〃	LF/E/195
	196	書証番号192号抜萃 1935.1.2.8頃ノ北察哈爾六郡事件	〃	LF/E/196
197	1935年若杉北京参事官→広田外相電(関東軍ノ対蒙古方策)	〃		
対支武力侵略	198	秦徳純將軍第一陳述書(7.7事件調査報告)	21. 7.22 (31)	LF/E/198
	199	秦徳純將軍第二陳述書(察北事件, 冀察政務委員会成立事情)	〃	LF/E/199
	200	平漢線永定河鉄橋写真	〃	
	201	蘆溝橋鉄橋鳥瞰図写真	〃	
	202	宋哲元將軍ヨリ土肥原少将ニ寄贈ノ掛軸	21. 7.23 (32)	LF/E/202

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
対支武力侵略	203	中国ニテ使用セル排日的内容ノ教科書	21. 7.23 (32)	
南京虐殺事件	204	「ロバート・ウィルソン」宣誓口述書(南京虐殺事件) (朗読サレズ)	21. 7.25 (34)	LF/E/204
	205	許伝音宣誓口述書(同上)	21. 7.26 (35)	LF/E/205
	206	尚徳義宣誓口述書(同上)	〃	LF/E/206
	207	伍長徳宣誓口述書(同上)	〃	LF/E/207
	208	陳福宝宣誓口述書(同上)	〃	LF/E/208
	209	徐節俊宣誓口述書(雲南ルートニ於ケル虐殺事件)	21. 7.29 (36)	LF/E/209
満洲軍事侵略	210	書証番号192号抜萃 冀東防共自治政府成立事情	21. 7.30 (37)	LF/E/210
	211	1937年「Japan Year Book」抜萃 冀東防共自治政府及冀察政務委員会成立事情ニ関スルモノ	〃	LF/E/211
	212	1936.5.7 植田駐満大使→有田外相電(蒙古ニ於ケル建国会議ノ内容)	〃	LF/E/212
	213	書証番号192号抜萃 日本側ガ塘沽停戦協定ニ違反シ北平其ノ他非武装地帯ヲ飛行セルニ関スル日支間ノ往復交渉)	〃	
	214	1936.3.12 「ソ」聯,蒙古人民共和国間相互援助条約議定書	〃	LF/E/214
	215	1936.1.21 広田外相→有吉駐華大使電(陸軍側第一次北支処理要綱)	〃	LF/E/215
	216	1936.8.7 首相,陸,海,外,大蔵五大臣決定ニヨル帝国々策要綱抜萃	〃	LF/E/216
	217	1936.8.11 附第二次北支処理要綱抜萃	〃	LF/E/217
	218	1937.2.20 附第三次北支処理要綱抜萃	〃	LF/E/218

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷に提出年月日(公判日次)	請求記号
満洲軍略	219	1937.4.16 陸,海,外,大蔵各大臣決定ノ「北支指導方策」	21. 7.30 (37)	LF/E/219
	220	「リットン」報告書附属地図(14枚)	〃	
	221	笠木良明宣誓口述書(満洲自治指導部ノ満洲国建設ヘノ活躍)	〃	LF/E/221
	222	1932.3.1 内閣々議記録抜萃 満蒙建国ニ関スル外交問題ノ協議	21. 7.31 (38)	LF/E/222
	223	1932.4.11 同上 満洲国関係事項	〃	LF/E/223
	224	1932.5.3 同上 満洲国ノ鉄道ニ関スル事項	〃	LF/E/224
	225	1932.8.12 同上 満洲国航空設立ニ関スル事項	〃	LF/E/225
	226	関東軍司令官→陸軍大臣電及之ニ対スル返電(満洲国ノ指導ハ関東軍一本槍ニテ行フベキナリトノ意見具申)	〃	LF/E/226
	227	1932.6.4 関東軍参謀長→陸軍次官電(満洲国ノ経済ノ現状ヨリ見テ大連ヲ含ム各海關接收ノ要アル旨ノ意見具申)	〃	LF/E/227
	228	1932.6.10 陸軍大臣→関東軍司令官電(満洲国承認其ノ他)	〃	LF/E/228
	229	荒木被告訊問調書抜萃 満洲国独立ニ関スル事項	〃	LF/E/229
	230	1932.10.27 小磯関東軍参謀長→柳川陸軍次官電(満洲国指導要綱ニ関スル事項)	〃	LF/E/230
	231	1932.12.9 閣議決定「満洲国ニ於ケル電信電話事業ニ関スル件」	〃	LF/E/231
232	書証番号231号ガ閣議決定事項ニシテ日満合併会社ノ設立ガ1933.3.26新京ニ於テ菱刈大使ト外交部長ニ署名サレシコトヲ保証スル下田外務省文書課長ノ証明書	〃		
233	1933.8.8 決定「満洲国指導方針要綱」	〃	LF/E/233	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号	
満洲	234	1933.12.22 閣議決定事項(満洲ニ君主制実施ノ件)	21. 7.31 (38)	LF/E/234	
	235	1934.3.1 菱刈大使ト満洲国外交部長間ニ文書交換アリシコトヲ保証スル外務省ノ証明書	〃		
	236	1934.3.30 閣議決定事項(満洲ニ於ケル重要産業開発ノ件)	〃	LF/E/236	
	237	1936.6.10 満洲ニ於ケル日本人ノ居住, 課税等ニ関スル日満間条約	〃	LF/E/237	
	238	同上附属協定	21. 8. 1 (39)	LF/E/238	
	軍	239	1937.10.22 閣議決定事項(満洲重工業確立要綱)	〃	
		240	1935.10.25 関東軍参謀長ヨリ陸軍次官宛在満輿論指導機関機構統制ニ関スル書翰	〃	LF/E/240
	事	241	1932.9.13 枢密院会議々事録(日満議定書ニ関スル件)	〃	LF/E/241
		242	1937.11.13 関東軍司令官一陸軍次官参謀次長電(満洲国ヲ防共協定ニ参加セシムル意見具申)	〃	LF/E/242
		〃	1938.5.15 関東軍参謀長一陸軍次官参謀次長電(満独修交条約成立ニ鑑ミ満洲国ノ防共協定参加促進ニ関スル意見具申)	〃	
		〃	1938.5.24 陸軍次官一関東軍参謀長電(満洲国ノ防共協定参加ニ異議ナク近ク日本ニ於テ斡旋スベキ旨ノ返電)	〃	LF/E/242-3
	略	243	1940.12.16 関東軍参謀長一陸軍次官参謀次長電(日満支対独通商条約締結ニ関スル件)	〃	LF/E/243
244		1940.1.15 関東軍参謀長一陸軍次官電(駐日満洲国大使更迭ニ関スル意見具申)	〃	LF/E/244	
〃		1940.1.18 陸軍次官一関東軍参謀長電(同上ニ異存ナキ旨ノ返電)	〃		
245		森島守人宣誓口述書(張作霖事件, 満洲事变)	〃	LF/E/245	
246		重光駐華大使一外務大臣電(満洲事变勃発直後ノ宋子文トノ会見ノ件)	〃		

立証 段階	書証 番号	書証名(内容要旨)	法廷提出 年月日 (公判日次)	請求記号
対 支 武 力 侵 略	247	1901(明治33)年義和団事件解決ノ際列強国 全権ノ間ニ審議セラレタル最後ノ議定書(列強国ノ 占領地点ニ関スル部分抜萃)	21. 8. 6 (42)	LF/E/247
	248	王冷齋宣誓口述書(蘆溝橋事件)	〃	LF/E/248
	249	「ダヴィット・D・バレット」宣誓口述書(同上)	21. 8. 7 (43)	LF/E/249
	250	梁廷芳大尉宣誓口述書(同上)	〃	LF/E/250
	251	多田駿大将宣誓口述書(支那事変)	〃	LF/E/251
	252	中国人死傷統計表	〃	LF/E/252
	253	重慶空襲ニヨル被害統計表	〃	
	254	日本軍ノ中国侵略年表	21. 8. 8 (44)	LF/E/254
	255	武藤被告訊問調書(俘虜取扱南京虐殺事件)	〃	LF/E/255
	256	畑被告訊問調書(抗州作戦関係)	〃	LF/E/256
257	松井被告訊問調書(南京占領並南京虐殺事件関係)	〃	LF/E/257	
258	橋本被告訊問調書(レディバード号事件)	〃	LF/E/258	
259	多田北支派遣軍司令官→古荘陸軍次官電(北支ニ於 ケル各種鉄道軍事的処理要綱)	〃	LF/E/259	
260	事変発生ニ依ル人事応急措置(領事ノ出張等ニ関ス ル件)	〃	LF/E/260	
261	松岡外相演説集抜萃 日本民族ノ発展ト満洲事変ト ノ関係	〃	LF/E/261	
262	1937.12.19 松井將軍ノ記者団ニ対スル声明 (中国人ノ反省要望)	〃	LF/E/262	

立証段階	証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
対支	263	米海軍省発表「パネー」号撃沈事件査問調書	21. 8. 8 (44)	LF/E/263
	264	橋本欣五郎著「革新ノ必然性」抜萃	〃	LF/E/264
	265	1937.9.22 発表 駐支英国大使遭難事件我方最終回答	〃	LF/E/265
	266	1938.3~4月東京「ガゼット」抜萃 文部省述「日本精神ノ昂揚」	〃	
	267	1938.8 河相達夫述「支那事変ト帝国外交」抜萃	〃	
	268	1938.1.16 支那事変ニ関スル帝国政府声明(国民政府相手トセズ)	〃	LF/E/268
	269	1938.9.21 宇垣外相内奏資料(英大使トノ会談, 天津英租界問題) 1938.11.29 枢密院ニ於ケル有田外相ノ対支外交ヲ中心トスル説明資料	21. 8. 9 (45)	LF/E/269
	270	1938.8.25, 29 内務省臨時警察部長会議ニ於ケル佐藤賢大佐談要旨(事変処理方針ニ就テ)	〃	LF/E/270
	271	1938.11.2 枢密院会議々事録(帝国ト国際聯盟諸機関ト協力関係終止ノ件)	〃	LF/E/271
	272	1939.7.24 中支派遣軍吉本参謀長ヨリ山脇陸軍次官送付ノ報告書(中支派遣軍情勢判断)	〃	LF/E/272
侵	273	1938.6.19 駐蒙兵団石本参謀長ヨリ東条陸軍次官宛送付ノ「蒙疆地方特別調査ニ関スル件通牒」	〃	LF/E/273
	274	蒙古建軍並強化拡充基本要綱	21. 8. 12 (46)	LF/E/274
略	275	海軍省軍事普及部発行「支那事変ニ於ケル帝国海軍ノ行動 其ノ2」	〃	
	276A	1941.4.2年日本年鑑抜萃 海州占領, 雲南鉄道攻撃(1940.3~4)	〃	LF/E/276A
	〃 B	同上 日本軍ノ支那作戦ニ於ケル総成果(1937.7~4.1.6)	〃	LF/E/276B
	277	1944.9.5 第八十五議会ニ於ケル小磯首相演説	〃	LF/E/277

立証 段階	証 書 番 号	書 証 名 (内 容 要 旨)	法廷ニ提出 年 月 日 (公判日次)	請 求 記 号
満 洲 国 建 国 事 情	278	1931.9.1 附宣統帝ヨリ南陸相宛親書	21. 8.21 (52)	
	279	「レジナルド・ジョンストン」著「紫金城ノ黄昏」 中ノ序分(溥儀ノ書キタルモノト称セラルモノ)	21. 8.22 (53)	
	280	本庄関東軍総司令官ト溥儀執政間ノ取極メ契約書写	21. 8.26 (55)	LF/E/280
	281	林出賢次郎著「雇従訪日恭記」抜萃 満洲国皇帝ノ 詩及陳述事項五ヶ所	〃	
	282	「紫金城ノ黄昏」中溥儀ヨリ「ジョンストン」ニ贈 レル扇面ノ写真	〃	
	283	星野直樹氏ニ対スル満洲国政府ノ辞令(皇帝署名入り)	21. 8.27 (56)	
	284	同 上	〃	
	285	同 上	〃	
	286	1931.11.1 幣原外相→桑島天津総領事電 (宣 統帝擁立ハ時代錯誤ニシテ将来ニ禍根ヲノコス計画 ヲ中止シ帝ニ自重ヲ伝ヘヨ)	〃	LF/E/286
	287	1931.11.2 桑島天津総領事→幣原外相電 (宣 統帝擁立関係)	〃	LF/E/287
	288	1931.11.2 同 上 (日本ノ宣統 帝擁立ヲ帝ガ拒ムヤ日本側ガ脅迫シツツアリトノ上 海漢字新聞ノ報道)	〃	LF/E/288
	289	1931.11.2 同 上 (帝ノ擁立ハ 張学良未ダ失脚セザルト11. 16聯盟總會トノ関 係上時機尚早ナリ)	〃	LF/E/289
	290	1931.11.3 同 上 (帝ノ擁立運 動中止ニ対スル関東軍ノ脅迫土肥原ノ行動)	〃	LF/E/290
	291	1931.11.3 同 上 (関東軍ノ帝 連出シ計画、日本政府ノ新政権樹立ニ対スル本心及 援助ノ程度何ヒ電報)	21. 8.28 (57)	LF/E/291
292	1931.11.4 同 上 (土肥原ノ来 津ハ日本政府ノ策謀ニシテ土肥原帝ヲ脅迫シアリト ノ益世報々道)	〃	LF/E/292	
293	1931.11.12 同 上 (帝ノ連出シ ニ関スル中国新聞ノ報道)	〃	LF/E/293	

立証段階	証書番号	証書名(内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
満洲国建国事情	294	1931.1.1.1.13 荒川牛莊領事→幣原外相電(帝ノ天津脱出ハ土肥原ノ計画ニヨリ更ニ帝母帝妃ノ連出ヲ策シアリ)	21. 8.28 (57)	LF/E/294
	295	1931.1.1.1.13 桑島天津総領事→幣原外相電(帝ノ擁立運動曝露セル場合ノ関東軍ノ態度)	〃	LF/E/295
	296	1931.1.1.1.13 桑島天津総領事→幣原外相電(支那新聞ノ発表ニ鑑ミ帝ノ天津脱出ニ関スル日本側発表内容ニ関スル伺ヒ電報)	〃	LF/E/296
	297	1931.1.1.1.13 林奉天総領事→幣原外相電(関東軍ガ帝ノ大連上陸後彼ヲ軟禁セントナシアル件)	〃	LF/E/297
	298	1931.1.1.1.13 山崎遼陽総領事代理→幣原外相電(帝ガ湯岡子ニ到着,大翠閣ニ投宿セルコトノ報告)	〃	LF/E/298
	299	1931.1.1.1.15 陸軍大臣→関東軍司令官電(宣統帝ノ将来及満洲国建国ニ関スル訓令)	〃	LF/E/299
	300	1931.1.1.1.17 桑島天津総領事→幣原外相電(関東軍ハ日本政府ノ国策ニ反スルモ独自ノ立場ニテ擁立決行ヲ策シアリ)	〃	LF/E/300
	301	1931.1.1.1.22 塚本関東庁長官→幣原外相電(関東軍ガ帝ノ所在ヲ秘密ニナシテオクベキ旨ノ希望ヲ述べタルモノ)	〃	LF/E/301
	302	1931.1.1.2.2 荒川牛莊領事→幣原外相電(帝ヲ湯岡子ヨリ旅順ニ移セルコトノ報告)	〃	LF/E/302
	303	1931.1.1.2.6 矢野北平参事官→幣原外相電(川島芳子ノ皇后連出シ計画ノ件)	〃	LF/E/303
304	1931.1.1.2.7 桑島天津総領事→幣原外相電(川島芳子皇后連出シ(11.26)ニ関スル軍報道ノ報告)	〃	LF/E/304	
305	1931.1.2.6 森島奉天総領事代理→幣原外相電(土肥原ノ中国浪人ニヨル暴動ニ関連将来ヲ憂慮セルモノ)	〃	LF/E/305	
南京虐殺事件	306	「ルイス・S・C・スミス」宣誓口述書(南京虐殺事件)	21. 8.29 (58)	LF/E/306
	307	「ジョージ・A・フィッチ」宣誓口述書(同上)	〃	LF/E/307
	308	陳瑞芳女史宣誓口述書(同上)	〃	LF/E/308
	309	「G・H・マッカラム」氏ノ日記及手記抜萃(同上)	〃	LF/E/309

立証 段階	証 書 番 号	書 証 名 (内 容 要 旨)	法廷ニ提出 年 月 日 (公判日次)	請 求 記 号
南 京 虐 殺 事 件	310	孫永成宣誓口述書 (南京虐殺事件)	21. 8.29 (58)	LF/E/310
	311	李滌生宣誓口述書 (同上)	〃	LF/E/311
	312	「ラ・ソンセイ」婦人宣誓口述書(同上)	〃	LF/E/312
	313	吳經才宣誓口述書 (同上)	〃	LF/E/313
	314	朱帝濟及張繼祥ノ共同陳述書 (同上)	〃	LF/E/314
	315	王經生夫人陳述書 (同上)	〃	LF/E/315
	316	「フ・ツーシン」陳述書 (同上)	〃	LF/E/316
	317	王陳陳述書 (同上)	〃	LF/E/317
	318	吳着生陳述書 (同上)	〃	LF/E/318
	319	殷王則陳述書 (同上)	〃	LF/E/319
	320	王藩陳述書 (同上)	〃	LF/E/320
	321	吳張夫人陳述書 (同上)	〃	LF/E/321
	322	陳夏子夫人陳述書 (同上)	〃	LF/E/322
	323	除淑編纂ノ南京安全地帯ニ関スル文書(同上)	〃	LF/E/323
	324	南京地方裁判所檢察官作成ノ日本軍占領後ノ南京ノ 状態ニ関スル報告書	〃	LF/E/324
325	崇字埋葬隊ニヨリ埋葬サレシ南京殺害者員数表	〃	LF/E/325	

立証段階	証書番号	証書名 (内容要旨)	法廷ニ提出年月日 (公判日次)	請求記号
南京虐殺事件	326	紅社会ニヨリ埋葬サレシ南京殺害者ノ員数表	21. 8.29 (58)	LF/E/326
	327	南京地方裁判所検察官ノ作成セル日本軍ノ南京地方ニ於ケル戦争犯罪ニ関スル調書	〃	LF/E/327
	328	在南京米大使館→米本国電 (1937.12~1938.1迄ノ南京蕪湖其ノ他ニ於ケル日本軍ノ残虐行為)	〃	LF/E/328
	329	「トラウトマン」在支独大使→独外務省電及「ラビー」氏ノ文書 (南京陥落後ノ南京市ニ於ケル日本軍ノ暴行)	21. 8.30 (59)	LF/E/329
中国各地ニ於ケル残虐事件	330	陳亜清及劉得山ノ陳述書 (江蘇省ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/330
	331	1943年第十三師団第一〇四旅団第六五聯隊ノ湖北省ニ於ケル残虐行為ニ関スル記録	〃	LF/E/331
	332	同 上	〃	
	333	同 上	〃	LF/E/333
	334	同 上	〃	LF/E/334
	335	同 上	〃	LF/E/335
	336	同 上	〃	LF/E/336
	337	同 上	〃	LF/E/337
	338	同 上	〃	
	339	同 上	〃	LF/E/339
	340	同 上	〃	LF/E/340
	341	第六師団独立山砲第二聯隊第二大隊第一中隊砲兵一等兵田村信忠ノ日本軍ノ罪行証明書 (1943.4)	〃	LF/E/341

立証 段階	証 書 番 号	証 書 名 (内 容 要 旨)	法廷提出 年月日 (公判日次)	請 求 記 号
中 国 各 地 に 於 け る 残 虐 事 件		第二次長沙作戦ニ於ケル同部隊湖南省鎮東市ニ於ケル中国俘虜虐殺)		
	342	謝金萃陳述書(1944.6 長沙市ニ於ケル殘虐行為)	21. 8. 30 (59)	LF/E/342
	343	劉耀華宣誓口述書(1937, 1942年ニ於ケル河北省寧晋県ニ於ケル暴行)	〃	LF/E/343
	344	翟樹栄宣誓口述書(1941.7, 1942.5 河北省鏡陽県ニ於ケル暴行)	〃	LF/E/344
	345	中国第十一戦区軍事裁判所判事姜震瀛大佐ノ陳述書(河北省ニ於ケル日本軍ノ殘虐行為及日本ノ阿片及麻薬政策)	〃	LF/E/345
	346	鄭惠錫陳述書(1940年「反日売国奴屠殺団」ニ対スル日本軍ノ拷問)	〃	
	347	王仲夫陳述書(1940.7 北平ニ於ケル学生ニ対スル拷問暴行)	〃	LF/E/347
	348	華北第五兵站御用商人木下政一氏ノ陳述書(1937.12 河北省ニ於ケル日本憲兵隊ノ中国人殺害)	〃	LF/E/348
	349	王仲夫陳述書(1940.7 北平ニ於ケル女学生ニ対スル日本憲兵隊ノ暴行)	〃	
	350	黃頭祥陳述書(1940.7 広東省ニ於ケル支那非戦闘員ノ殺害)	〃	LF/E/350
	351	劉自然陳述書(1941.12 広東省ニ於ケル支那非戦闘員ノ虐殺)	〃	LF/E/351
	352	桂林市参議会長以下有力者連名ノ陳述書(1945.7.28 日本軍桂林市撤退前ニ於ケル暴行)	〃	LF/E/352
	353	桂林市民九名連名ノ陳述書(桂林市民ニ対スル殘虐行為)	〃	LF/E/353
354	1944, 1945 広西省ニ於ケル日本軍ノ殘虐行為ニ関スル陳述書	〃		
355	同 上	〃		
356	同 上	〃		

立証段階	書証番号	書証名 (内容要旨)	法廷ニ提出年月日 (公判日次)	請求記号
中国各地ニ於ケル残虐事件	357	1944, 1945 広西省ニ於ケル日本軍ノ残虐行為ニ関スル陳述書	21. 8. 30 (59)	
	358	同上	〃	
	359	同上	〃	
	360	割鈞儒陳述書 (1941.8 熱河省ニ於ケル日本軍ノ残虐行為)	〃	
	361	1940 年綏遠省ニ於ケル日本軍ノ残虐行為ニ関スル陳述書	21. 9. 3 (60)	
	362	同上	〃	
	363	同上	〃	
	364	同上	〃	
	365	同上	〃	
	366	同上	〃	
	367	同上	〃	
	368	同上	〃	
	369	同上	〃	
370	同上	〃		
	371	中国ニ於ケル日本ノ犯罪行為ノ示ス図表3通 (確認ノミ)	〃	
阿片及麻薬問題	372	1940.5 国際聯盟阿片及危険薬物取扱ニ関スル諮問委員会第25回議事録中ヨリノ米政府ノ回答文 (中国ニ於ケル日本ノ麻薬統制不適當)	〃	LF/E/372

立証 段階	書証 番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出 年月日 (公判日次)	請求記号
阿 片 及 麻 葉 問 題	373	1934.10.20 在上海「ニコルソン」米国財務官ヨリ本国税務司宛東洋ニ於ケル麻葉ノ状態ニ関スル報告書	21. 9. 3 (60)	LF/E/373
	374	1935.5.17 「ニコルソン」ヨリ本国財務省税関課宛報告(遼寧省ノ麻葉状況)	〃	LF/E/374
	375	満洲国建国公債引受募集契約書(阿片専売益金ヲ其ノ担保トス)	〃	LF/E/375
	376	満洲国建国公債条例及規則	〃	LF/E/376
	377	在上海米国財務官ノ満洲国ニ於ケル阿片ノ状態ニ関スル報告書	〃	LF/E/377
	378	1935.4 在上海米国財務官ノ米国関税部長宛報告(熱河ニ於ケル「ケシ」ノ栽培)	〃	LF/E/378
	379	1936.10.31 在奉天米国総領事ノ米国務長官宛報告(最近ノ阿片事情)	〃	LF/E/379
	380	1937.2.4 在京城米国総領事ノ国務長官宛報告(朝鮮ヨリ満洲ヘノ麻葉積立増加)	〃	LF/E/380
	381	昭和13年度外務省条約局執務報告抜萃 朝鮮ノ「ケシ」栽培ハ閣議決定ニヨル	〃	LF/E/381
	382	昭和14年度外務省条約局第三課執務報告抜萃 朝鮮ノ「ケシ」栽培更ニ増加	〃	LF/E/382
	383	1937.5 国際聯盟阿片及危険薬物取扱ニ関スル諮問委員会第22回議事録抜萃 日本統治下ノ支那ニ於ケル阿片ノ吸飲増加	〃	LF/E/383
	384	1937.10.27 在上海米財務官ヨリ本国宛報告(証明書添付)(満洲国阿片専売監理組織活動並ニ1937年ニ於ケル満洲国阿片状況)	〃	LF/E/384
	385	1938.1.27 在奉天米総領事ヨリ国務長官宛報告(満洲ニ於ケル阿片ノ専売ガ満洲国ノ財源ニ寄与スル所大ナリ)	〃	LF/E/385
	386	1938.4.8 在奉天総領事ヨリ米国務長官宛報告(満洲国ニ於ケル阿片専売ニヨル財政収入ニ関スル報告)	〃	LF/E/386
387	1939.5.16 在奉天米総領事ヨリ国務長官宛報告(満洲国ニ於ケル阿片専売ニヨル財政収入ニ関スル報告)	〃	LF/E/387	
388	1939.5.15~6.12 国際聯盟阿片及危険薬物取扱ニ関スル諮問委員会第24回議事録(日本占領以后支那ニ於ケル阿片吸飲者ノ増加)	〃	LF/E/388	

立証段階	証書番号	証書名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
阿片及麻薬問題	389	及川源七中將宣誓口述書(興亜院ノ機構任務, 蒙疆ニ於ケル阿片)	21. 9. 3 (60)	LF/E/389
	390	1940.6.3 在上海米財務官ノ本国宛報告(察哈爾及綏遠省ニ於ケル「ケン」ノ栽培)	〃	LF/E/390
	391	1936.5.9 同 上(察哈爾及熱河省ニ於ケル「ヘロイン」ノ製造)	〃	LF/E/391
	392	1936.6.8 同 上(察哈爾大原ニ於ケル阿片「モルヒネ」「ヘロイン」等ニ関スル件)	21. 9. 4 (61)	LF/E/392
	393	1937.4.8 同 上(北察哈爾ニ於ケル日本ノ「ケン」栽培奨励)	〃	LF/E/393
	394	1940.7.6 同 上(綏遠省ニ於ケル日本軍ノ強制ニヨル「ケン」栽培)	〃	LF/E/394
	395	1936.7.30 同 上(華北ニ於ケル日本ノ麻薬政策, 大連ヨリノ麻薬輸入)	〃	LF/E/395
	396	1940.1.29 濟南総領事ヨリ外務省宛報告(濟南総領事管轄区域内ノ阿片ノ栽培ノ使用状況)	〃	LF/E/396
	397	1941.3.28 同 上(山東省北部ノ支那住民ニ対スル日本軍ノ「ヘロイン」政策)	〃	LF/E/397
	398	1941.2.26 在青島米國領事ヨリ本国宛報告(阿片禁止局設置憂慮ニ関スル中国新聞記事ノ伝達)	〃	LF/E/398
	399	1937.1.13 在上海米財務官ノ米國宛報告(北平及通県ニ於ケル麻薬密輸入ト陸軍ノ阿片輸送ニヨル利益金ノ取得)	〃	LF/E/399
	400	1941.3.29 在上海米財務官ノ本国宛報告(北平「ヘロイン」販売所ノ支那人有力分子, 日本領事館ノ日本人, 朝鮮人保護政策)	〃	LF/E/400
	401	森岡泉中將宣誓口述書(興亜院ノ組織任務, 阿片政策, 戦争責任)	〃	LF/E/401
	402	郭余三及宮海亭陳述書(日本占領中ノ北平ノ阿片公売ノ状況)	〃	LF/E/402
403	「レオ・カンデル」陳述書(北平ニ於ケル阿片「ヘロイン」ノ公売)	〃	LF/E/403	
404	北平市政府ガ阿片及麻薬ノ弾圧ノ為トリタル処置成果等ヲ示ス表	〃	LF/E/404	

立証 段階	書証 番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出 年月日 (公判日次)	請求記号
阿 片 及 麻 薬 問 題	405	1934.1.19 在上海米財務官ノ本国宛報告(台湾及厦門産阿片ノ取引ニ関スル件)	21. 9. 4 (61)	LF/E/405
	406	1936.4.20 在上海米財務官ノ本国宛報告(福州ニ於ケル「ベルシヤ」産阿片投売ニ関スル件)	〃	LF/E/406
	407	1936.1.1.24 同 上(厦門ニ於ケル阿片製造秘密工場設立ノ件)	〃	LF/E/407
	408	1935.4.15 同 上(福建省ノ日本薬種商ニ対スル側面観)	〃	LF/E/408
	409	1937.7.27 在上海米総領事及財務官ノ本国宛報告(国際的麻薬商「ポール・マッパ」ノ逮捕ニ関スル件)	〃	
	410	1936.7.10 在上海米財務官ノ本国宛報告(厦門ニ於ケル台湾人団体ノ阿片密輸入販売等ニ関スル件)	〃	LF/E/410
	411	1936.2.22 同 上(日本軍広東占領後ノ阿片ノ密輸入, 販売ノ状況)	〃	LF/E/411
	412	1939.9.20 在厦門米総領事ヨリノ報告ヲ添付セル米國務長官ヨリ米財務長官宛文書(日本軍厦門占領後ノ阿片状況)	〃	LF/E/412
	413	1940.3.11 在広東米総領事ヨリノ報告ヲ添付セル米國務長官ヨリ米財務長官宛文書(広東ニ於ケル麻薬ノ取引, 阿片販売利益金ノ使用)	〃	LF/E/413
	414	1937.2.16 在上海米総領事ヨリノ報告ヲ添付セル米國務長官ヨリ米財務長官宛文書(総領事ト工部局警察官トノ会談内容 日本領事館警察ハ阿片取締ニ協力セス)	〃	
	415	1938.1.2 在上海米財務官→本国電(上海ニ於ケル日本ト中国商人トノ阿片取引, 「ベルシヤ」ヨリ輸入阿片日本侵略ノ具ニ供セラル)	〃	LF/E/415
	416	1937~1940年間ノ三井物産株式会社ノ「ベルシヤ」阿片輸入ニ関スル書類(三井物産ノ証明書添付)	〃	LF/E/416
	417	1939.4.1 在上海米財務官ノ本国宛報告(「ベルシヤ」産阿片ヲ大連ニ運送セル船ニ関スル件)	〃	LF/E/417
	418	1938.1.2.10 同 上(上海日本特務機関ガ阿片ノ密売ヲ取扱イアリシ件)	〃	LF/E/418
	419	1938.1.2.27 同 上(阿片専売統一制度制定ニ関スル件)	〃	LF/E/419

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
阿片及麻薬問題	420	1939.1.12 在上海米財務官ノ本国宛報告(阿片専売統制ノ非難サクル為日本ハ之ヲ傀儡政権下ノ戒烟総局ノ手ニ移セリ)	21. 9. 4 (61)	LF/E/420
	421	1939.2.21 同上(日本ノ阿片専売ニヨル収入ニ関スル件)	〃	LF/E/421
	422	1939.1.14 同上(阿片政策ニ関スル非難ヲサクル為ノ日本ノ考慮)	〃	LF/E/422
	423	米「マキコーエシ」中尉及原田熊吉中將ノ陳述書(原田中將ノモノノミ朗読, 興亜院ト阿片政策)	〃	LF/E/423
	424	1939.4.5 在上海米財務官ノ報告(1939年中ノ傀儡政権最大ノ仕事ハ戒烟総局ノ設置ニヨル阿片ノ専売ナリ)	〃	LF/E/424
	425	里見甫氏ノ署名セル中国文ヲ添付セル1941.1.21在上海米財務官ノ報告	〃	LF/E/425
	426	1939.7.21 在上海米財務官ノ本国宛報告(日本ハ麻酔薬ノ販売ヲ日本薬種商ニ行ハセントシアル件)	〃	LF/E/426
	427	1939.12.15 同上(「ベルジャ」産阿片ノ価格昂騰, 駆逐艦2隻ニヨル上海ヘノ阿片輸送)	〃	LF/E/427
	428	1939.8.4 同上(台湾塩水製糖ニヨル「コカイン」製造)	〃	LF/E/428
	429	阿片禁圧ニ関スル梅思平ノ書面(阿片禁圧ニ関スル南京政府ノ政策)	21. 9. 5 (62)	LF/E/429
	430	在朝鮮米陸軍々政部ノ書翰及之ニ附属ノ陳述書A.B.C(1930~1945年間ノ朝鮮ニ於ケル麻薬ノ生産, 輸出入等ニ関スルモノ)	〃	LF/E/430
	431	1946.1.29 「ジュネーブ」常設中央阿片局ノ朝鮮ニ於ケル麻薬品ノ生産高ニ関スル報告	〃	LF/E/431
	432	国際聯盟麻薬品取締委員会ヨリ寿府米國領事宛ノ手紙ヲ附シタル 1946.2.12 寿府米國領事ヨリ米國務長官宛書翰(日本ヨリ阿片ニ関スル報告ナキ件)	〃	LF/E/432
	433	1939.4.14 駐日米大使ヨリ米國務長官宛書翰(中国ニ於ケル日本ノ麻薬統制ノ不適ニ関スル覚書ヲ日本政府ニ手交ノ件)	〃	LF/E/433
	434	1945.12.26 米國務長官ヨリ戦争犯罪局「ホーナー」中佐宛書翰(阿片ニ関スル調査ノ件)	〃	LF/E/434
435	阿片取締法	〃	LF/E/435	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
対支経済侵略(満洲)	436	昭和7年4月1日附満洲国政府官報 第1巻	21. 9. 6 (63)	
	"A"	同上抜萃 満洲国政府組織法	"	LF/E/436A
	437	1934年発布「満洲国組織法」	"	LF/E/437
	438	満洲拓殖公司設立ニ関スル日満間協定	"	LF/E/438
	439	1906.6.7 南満洲鉄道設立ニ関スル勅令並ニ同会社ノ定款	"	LF/E/439
	440	1932.9.15 日満議定書	"	LF/E/440
	441	満鉄発行「満洲ニ於ケル1934年迄ノ発達ニ関スル第4次報告書」抜萃	"	LF/E/441
	442	1933.3.1 「満洲国経済建設要綱」抜萃	"	LF/E/442
	443	1933.1.3 「満洲国政府公報(日訳)」抜萃 東支鉄道買収時ノ契約履行保証ニ関スル広田外相ト關係大使間往復書翰同時ニ提出	"	LF/E/443
	444	1937.5.1 「満洲国政府公報」抜萃 重要産業統制法ノ部分抜萃	"	LF/E/444
	445	1937.2.17 「満洲国政府公報」抜萃 第一次五ヶ年間ノ施政実績及次ノ五ヶ年計画	"	LF/E/445
	446	1936年「満洲産業五ヶ年計画」	"	LF/E/446
	447	1941年及1942年「日本年鑑」抜萃 産業振興計画	"	LF/E/447
	448	1937~1942年迄ニ発行サレシ東京「ガゼット」ガ政府ノ監督下ニ作成サレシモノナルコトノ証明書	"	LF/E/448
	449	1939.6 東京「ガゼット」	"	
"A"	同上抜萃 満洲ノ経済建設ノ現況	"	LF/E/449A	

立証 段階	書証 番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出 年月日 (公判日次)	請求記号
対支 経 済 侵 略 (満 洲)	450	1941.11 東京「ガゼット」	21. 9. 6 (63)	
	" A	同上抜萃 新国家ノ10年	"	LF/E/450A
	451	対満事務局官制(1934.1.2.26 勅令347号)	21. 9. 9 (64)	LF/E/451
	452	満鉄発行「1939年ニ至ル満洲ノ進展ニ関スル第6報告書」	"	
	" A	同上抜萃 「日本ノ監理権ノ改変」(関東軍司令官全監理権ヲモツ迄ノ変遷)	"	LF/E/452A
	453	星野被告訊問調書抜萃 満洲ノ産業経済, 企画院ノ任務	"	LF/E/453
	454	1945.1.1.19,21,28ニ互ル米国戦略爆専調査団ノ星野氏ニ対スル訊問調書抜萃 満洲ノ産業経済, 企画院任務, 対米戦ノ見通シ	"	LF/E/454
対支 経 済 侵 略 (中 国)	455	興亜院官制(1938.1.2.16 勅令第758号)	"	LF/E/455
	456	1942年情報局「外交問題ニ関スル公式声明」	"	
	" A	同上抜萃 1942.1.1.1 大東亜省設置当日ノ大東亜大臣ノ声明	"	LF/E/456A
	457	書証番号58号抜萃 1938.10.6「グレー」大使ヨリ近衛首相宛書翰(支那ノ門戸開放ニ関スル申入レト之ニ対スル回答) 1938.1.1.18 外務大臣ヨリ「グレー」大使宛書翰	"	LF/E/457
	458	1939.2 東京「ガゼット」	21. 9. 10 (65)	
	" A	同上抜萃 1938.1.2.22 興亜院設置ニ関スル近衛首相ノ演説	"	LF/E/458A
	459	1937.8 東京「ガゼット」	"	
" A	同上抜萃 北支那開発株式会社及中支那振興株式会社法ノ解説記事	"	LF/E/459A	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年・月・日(公判日次)	請求記号
対支経済侵略(中国)	460	1938.12 東京「ガゼット」	21. 9.10 (65)	
	// A	同上抜萃 1938.9.3 近衛首相ノラジオ演説(漢口陥落ニ当リソノ国民ノ決意, 蔣政権ノ打倒, 東洋永遠平和確立ノ新使命ノ認識)	//	LF/E/460A
	461	1939.1 東京「ガゼット」	//	
	// A	同上抜萃 企画院ノ支那経済開発ニ関スル計画第2部	//	LF/E/461A
	462	1940.11~12 東京「ガゼット」	//	
	// A	同上抜萃 内閣情報部述「工業ノ建設ニ関スル歩ミ」「日滿支三国共同経済建設要綱」	//	LF/E/462A
	463	北京ニ於ケル臨時政府, 南京ニ於ケル維新政府設立ニ関スル報告書(第5部)	//	LF/E/463
	464	1941.1 東京「ガゼット」	//	
// A	同上抜萃 1940.11.30 「日華基本条約」 外務省情報部長ノ日華基本条約及日滿華共同宣言ニ関スル声明	//	LF/E/464A	
対支経済侵略(泰)	465	日華基本条約附属秘密協定(附属秘密協定及附属秘密協約)	//	LF/E/465
	// A	汪兆銘ヨリ阿部大使宛書翰(日本ノ戦争遂行ニ積極的援助ヲ約セルモノ)	//	LF/E/465A
	466	1943.10.30 日華同盟条約(情報局発表並ニ帝国政府声添付)	//	LF/E/466
	467	日本, 満洲, 中国間ノ貿易ニ関スル調書(SCAPニヨリ日本政府ノ作成セルモノ) 及比島, 印度支那等トノ貿易調書(1932~1946)	//	LF/E/467
	468	同上輸出入一覧表	//	LF/E/468
	469	中支那振興株式会社及北支那開発株式会社ノ払込済社債及投資並負債明細書	//	LF/E/469
	470	滿鉄, 中支那振興, 北支那開発, 満洲重工業各会社ニ対スル日本政府ノ株式投資額明細表	//	LF/E/470

立証段階	証書番号	証書名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
対支(泰)侵略	471	日本ノ支那及満洲ヘノ投資額明細表	21. 9.10 (65)	LF/E/471
シンガポール 俘虜待	472	泰緬鉄道建設地区及俘虜収容所位置ヲ示ス地図	21. 9.12 (67)	LF/E/472
	473	泰「ビルマ」ニ於ケル俘虜取扱ニ関スル電報(7通)	〃	LF/E/473
対支(泰)侵略	474	書証番号469号追加説明書	21. 9.13 (68)	LF/E/474
シンガポール 俘虜待	475	泰緬鉄道建設ニ関スル報告書(俘虜関係中央調査委員会作成)	〃	
	476	「シンガポール」ニ於ケル華僑処断状況調書(手記、日記等抜萃ヲ含ム)	21. 9.16 (69)	
日独伊関係 (防共協定)	477	大島浩訊問調書(防共協定締結関係)	21. 9.19 (72)	LF/E/477
	478	同上(日本政府ト陸軍ノ関係, 大使ト武官トノ関係)	〃	LF/E/478
	479	1936.11.15 日独防共協定締結ニ関スル枢密院審査委員会報告抜萃	21. 9.20 (73)	LF/E/479
	480	日独防共協定附属秘密協定及之ニ伴フ交換公文	〃	
	481	ニュルンベルグ合衆国首席検察官事務局文書調査部長「シェファー」少佐宣誓口述書(独ヨリ押収セル文書ノ保管取扱ニ関スル事項)	〃	LF/E/481
	482	1936.10.23 駐独武者小路大使→有田外相電(防共協定締結ニ関スル件) 武者小路大使ヨリ外相宛上記電報ヲ発電セル旨ノ書翰	〃	LF/E/482
	483	1937.1.26 東京「ガゼット」	〃	LF/E/483
	〃 A	同上抜萃 共産インターナショナルニ対スル日独防共協定締結ニ関スル外務省公表	〃	LF/E/483A
	484	1936.11.20 日独防共協定締結ニ関スル枢密院審査委員会報告抜萃	〃	LF/E/484
485	1936.11.25 日独防共協定締結ニ関スル枢密院会議々事録抜萃	〃	LF/E/485	

立証 段階	証 書 番 号	書 証 名 (内 容 要 旨)	法廷提出 年 月 日 (公判日次)	請 求 記 号
日 独 伊 関 係 (「 ト ラ ウ ト マ ン 」 居 中 調 停)	486	防共協定下ニ於ケル日独協力ニ関スル独ヨリ押収ノ電報及報告綴	21. 9.20 (73)	LF/E/486
	" A	1937.7.28 「ヴァイツゼッカー」→「ディルクスン」駐日大使電(支那事変ニ対スル独ノ立場,防共協定ハ第三国ニ於ケル共産党ヲ対照トセルモノニ非ズ) 1937.7.28 「ヴァイツゼッカー」→「ディルクスン」駐日大使報告(武者小路大使ノ独逸外務省訪問時ノ会談ニ関スル件)	"	LF/E/486A
	" B	1938.1.13 「トラウトマン」駐華大使→「ノイラート」外相電(日本政府ノ中国側ニ提示セル和平案ニ対スル中国側ノ回答ニ関スルモノ)	"	LF/E/486B
	" J	同上署名証明	"	LF/E/486J
	" C	1938.1.14 「ディルクスン」大使→「ノイラート」外相電(中国ヨリノ和平案回答ヲ日本側ニ提示ノ際ノ広田外相トノ会談要領)	"	LF/E/486C
	" D	1938.1.11 「トラウトマン」大使→「ノイラート」外相電(東京ヨリ入手セル日本側ノ声明ハ独ヲ瞞着シアリ)	"	LF/E/486D
	" E	1938.1.12 「ノイラート」外相→「トラウトマン」大使電(上記ニ対スル独外務省ノ見解並「トラウトマン」大使ノ善処ニ対スル希望)	"	LF/E/486E
	" D	1938.1.10 「ノイラート」外相ノ覚書抜萃 東郷大使トノ会談(蒋介石ヲ對手トセズ,満洲国承認ニ対スル独政府ノ立場)	"	LF/E/486D-2
	" F	1938.1.10 「ディルクスン」駐日大使→「ノイラート」独外相電(広田外相トノ会談 日本ガ和平案,回答期限ヲ1.10トセル,関連セル新聞報道)	"	LF/E/486F
	" D	1938.1.4 同 上(日支和平交渉ガ米国ニモレタルコトニ関スルモノ)	"	LF/E/486D-3
	" D	1938.1.11 同 上(枢密院会議ニ於テ日本ノ和平案ガ拒絶サレシ場合ノ日本政府ノ対支方策ノ決定)	"	LF/E/486D-4
	" B	1938.1.16 同 上(独政府ノ努力ニ対スル広田外相ノ感謝,日本政府声明ノ中国側ヘノ伝達依頼)	"	LF/E/486B-2
	" G	1938.1.17 同 上(日本声明ニ対スル独政府ノ遺憾ノ意表明,今後ノ日本ノ採ルベキ手段)	"	LF/E/486G
	" H	1938.1.26 同 上(又ハ文書報告) (居中調停失敗ニ関連スル独ノ政策変更ニ関スル意見)	"	LF/E/486H
" I	1938.1.25 「ノイラート」外相ノ覚書抜萃及1938.1.28「ヴァイツゼッカー」ノ覚書(日独経済提携ニ関スル東郷大使トノ会談)	"	LF/E/486I	

立証段階	証書番号	証書名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
日(「居独伊関係」ト中間停止トマン係)	487	大島被告訊問調書抜萃 白系露人使用ニヨル「ソ」聯ヨリ情報入手	21. 9.23 (74)	LF/E/487
	488	同上	〃	
	489	大島大使「ヒムラー」会談ニ関スル「ヒムラー」ノ覚書(1939「スターリン」暗殺計画, 気球使用ニヨル宣伝文ノ「ソ」聯領土ヘ送付)	〃	LF/E/489
日(「枢軸諸国ノ防共協定参加」ト係)	490	大島被告訊問調書抜萃 伊ノ防共協定参加ニツキテハ詳細シラズ	〃	LF/E/490
	491	1939.2.22 枢密院会議々事録(満洲国, ハンガリーヲ防共協定ニ参加セシムル件)	〃	LF/E/491
	492	1937.1.16 日独伊防共協定締結ニ関スル枢密院会議々事録	〃	LF/E/492
	493	1939.2.24 満洲国ノ防共協定参加ニ関スル議定書	〃	LF/E/493
	494	1939.3.27 「スペイン」同上	〃	LF/E/494
	495	1941.1.1.25 防共協定期限更新ニ関スル議定書	〃	LF/E/495
	496	1941.1.1.25 枢軸七ヶ国ノ防共協定参加ニ関スル情報局発表	〃	LF/E/496
日(「第一次伊軍事同盟」ト係)	497	大島被告訊問調書(1938.1 軍事同盟ニ関スル大島「リップントロップ」会談及爾後ノ交渉)	〃	LF/E/497
	498	1939.9.20 「オット」大使→独外務省書記官長電(日独伊同盟締結ニ白鳥大使関与シアル件)	〃	LF/E/498
	499	「チアノ」伯日記2巻 (識別証拠)	〃	LF/E/499
	〃 A	1939.1.7 「チアノ」伯日記抜萃 有田外相同盟ニ冷淡, 白鳥大使大賛成, 「リップントロップ」外相ヨリ同盟関係書類送附	〃	LF/E/499A
	500	1939.2.18 「オット」大使→「リップントロップ」外相電(親英米派ノ同盟反対伊藤委員以下派遣陸軍将校ノ枢軸強化歓迎)	〃	LF/E/500
	501	「チアノ」伯日記抜萃 1939.2~3 三国同盟ニ関スル見解	〃	LF/E/501

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
日(第一次伊軍事同盟係)	502	1939.4.26 「リップントロップ」外相→「オット」大使電(「リップントロップ」外相ノ本国ニ於ケル軍事同盟締結ニ関スル交渉経過)	21. 9.23 (74)	LF/E/502
	503	1939.5.4 「オット」大使→「リップントロップ」外相電(平沼首相ヨリ「ヒトラー」総統宛明文ヲ送レルモノ)	〃	LF/E/503
	504	1939.5.6 同上(海軍ノ同盟反対ハ山本次官ヨリ出ズ、陸軍ハ不成立ノ場合ハ内閣打倒ヲ策ス)	〃	LF/E/504
	505	1939.4.16 「ゲーリング」「ムッソリーニ」会談ニ関スル「チアノ」伯爵書(枢軸国ノ軍備強化ノ為茲2~3年ハ戦争ヲ行ハサルヲ要ス)	〃	LF/E/505
	(486 K)	1939.5.15 「リップントロップ」外相→「オット」大使電(三国同盟締結遅延セバ独伊協約ヲ結バザルベカラズ)	〃	LF/E/486K
	(486 L)	1939.8.25 「オット」大使→「リップントロップ」外相電(独ソ不可侵条約締結ニ関スル説明ニ対スル日本側ノ抗議)	〃	LF/E/486L
	506	1939.9.18 「ヴァイツェッカー」→「オット」大使電(大島大使ガ独「ソ」不可侵条約締結ニ対スル日本ノ抗議ヲ本日手交セルコトニ関スルモノ)	〃	LF/E/506
507	1939.9.9 「リップントロップ」外相→「オット」大使電(独ノ日独提携ニ対スル努力ヲ閑院宮ニ伝達セヨ、大島大使ノ更迭行ハザル如ク運動セヨ)	〃	LF/E/507	
日(三国同盟準備係)	508	1939.10.27 「ヴェールン」→「オット」大使電(「リップントロップ」外相ハ大島大使ノ支援ヲ要求ス)	〃	LF/E/508
	509	1939.9.25 寺内大将ト「リップントロップ」外相「ヒトラー」総統トノ会談ニ関スル「クノル」ノ覚書(日独共存共栄軍国的精神ノ結合、大島ハ日本海軍香港進駐ノ用意アル旨語ル)	〃	LF/E/509
	510	1939.9.23 寺内大将ト「ブロックドルフ」陸軍トノ会談ニ関スル「クノル」ノ覚書(日本ハ支那事変アル程度我慢シ南方ニノビル方宜シカラズヤトノ質問ニ寺内大将肯定ス)	〃	LF/E/510
	511	1940.2.23 「スターマー」「オット」両大使ヨリ独外務省書記官長宛電報(スターマー着任時ノ日本ハ軍部ノ勢力増強親独輿論大トナル)	〃	LF/E/511
	512	1939.3.31 新南群島ノ行政管轄決定ニ関スル外務省発表(台湾総督府ノ行政管轄ニ入レ仏政府ニコノ旨通知ス)	〃	LF/E/512
	513	1940.6.12 日泰間友好領土主権相互尊重条約	〃	LF/E/513

立証段階	証書番号	証書名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
日(三)独国同盟伊準関備係)	514	1940.3.23 「オット」大使→独外務省電(日本ノ政治動向ハ米英ニ対シ硬化, 日本ノ中国ヘノ進展ハ九ヶ国条約違反ナラズト陸海兩相言明)	21. 9.23 (74)	LF/E/514
	515	1940.5.10 同 上(米内, 有田ノ米英トノ和解策ハ実現セズ近衛内閣出現スベシ)	〃	LF/E/515
	516	1940.6.12. 同 上(近衛, 末次, 久原トノ会談 日米衝突ハ不可避ナリ)	〃	LF/E/516
	517	1940.5 「リップントロップ」外相→「オット」大使電(日本ノ蘭印発展ニ関シ独ハ無関心ヲ表明スベキコトヲ含メル意向ノ通知)	21. 9.24 (75)	LF/E/517
	518	1940.5.22 「オット」大使→「リップントロップ」外相電(独ノ蘭印無関心ノ通達ニ対スル外務大臣ノ感謝 新聞発表)	〃	LF/E/518
	519	1940.5.23 同 上(沖ノ蘭印無関心ニ関スル新聞報道ノ内容)	〃	LF/E/519
	520	1940.6.19 「オット」大使→独外務省書記局電(日本ノ仏印ニ於ケル自由行動許可ニ関スル独ノ声明ヲ期待スル件)	〃	LF/E/520
	521	同上電報ニ関スル「ウォール」経済局長ノ覚書(日本ノ申出ニ関スル不備ヲ表明セルモノ)	〃	LF/E/521
	522	1940.6.19 栗栖「クノル」会談ニ関スル「クノル」ノ覚書(栗栖談 日独ノ経済提携, 日本ノ将来ハ南方ニアリ, 日独ノ密接ナル関係ノ必要)	〃	LF/E/522
	523	1940.6.24 「オット」大使→「リップントロップ」外相電(武藤ノ仏印ニ対スル日本ノ関心説明, 日本ノ仏印蘭印行動ニ対スル独ノ態度ニ関スル小磯ノ質問)	〃	
	524	1940.7.8 佐藤「リップントロップ」会談ニ関スル「シュミット」ノ覚書(日本ノ輿論仏印蘭印ニ尖鋭, 「ワシントン」体制ノ打破, 日米関係深甚考慮)	〃	LF/E/524
	525	1940.7.13 有田外相→佐藤大使電(栗栖大使経由)(佐藤「リップントロップ」会談中「リップントロップ」外相ノ言明ニ関スル質問)	〃	LF/E/525
	526	1940.7.15 佐藤大使→有田外相電(同 上)(同上ニ対スル返電)	〃	LF/E/526
	527	1940.7.12 日独伊提携強化ニ関スル陸海外三省協議々事録	〃	LF/E/527
528	1940.7.16 日独伊提携強化ニ関スル陸海外三省係官会議々事録	〃	LF/E/528	
529	1940.6.29 有田外相ノ「ラヂオ」放送(国際情勢ト帝国ノ立場)	〃	LF/E/529	

立証段階	証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
日(三独国同盟準備係)	530	1940.7.1 「オット」大使→「リップントロップ」外相電(有田外相演説ニ関聯,結局日本内閣ハ更迭スベシ)	21. 9.24 (75)	LF/E/530
	531	1940.7.3 同上(有田外相演説ニ関スル朝日新聞ノ社説ニ関聯,陸軍猛烈ニ反対)	〃	LF/E/531
	532	木戸日記抜萃 1940.7.5,7,8,16,17 米内々閣更迭事情	〃	LF/E/532
	533	1940.7.17 「オット」大使→独参謀本部電(内閣ノ更迭ニ関聯シ香港攻撃ニ備エ攻囲砲兵中隊動員サル)	〃	LF/E/533
	534	木戸日記抜萃 1941.7.14 砲兵動員下令ニ関スル件,米内々閣御信任ノ件	〃	LF/E/534
	535	1940.7.18 「オット」大使→「リップントロップ」外相電(松岡外相ニ就任好意アル協力ヲ求メアリ)	〃	LF/E/535
	536	1940.7.20 同上(近衛首相ノ組閣要領松岡ノ新外交政策ニ関スル新聞紙ノ報道)	〃	LF/E/536
	537	1940.7.22 「ヴェールマン」ノ覚書(四相會議ニテ日本内閣ノ外交政策樹立之ニハ枢軸国家トノ強調ヲ含ム)	〃	LF/E/537
	538	1940.8.2 「オット」大使→「リップントロップ」外相電(大橋外務次官ノ任命ニ関スル大使ノ見解)	〃	LF/E/538
	539	木戸日記抜萃 1940.7.18 畑陸相ノ東条陸相内奏ニ関スル陛下ノ御思召	〃	LF/E/539
	540	1940.7.26 閣議決定 1940.9.4 四相會議決定 1940.9.19 連絡會議決定	〃	
	541	1940.7.26 閣議決定抜萃 基本国策要綱	〃	LF/E/541
	542	1940.8.1 来栖「ヴァイツェッカー」會談ニ関スル「ヴァイツェッカー」ノ覚書(栗栖大使ノ日独關係調整意見ニ関スル「ヴァイツェッカー」ノ見解)	〃	LF/E/542
	543	1940.8.2 「ヴァイツェッカー」ノ覚書(8.1 會談覚書追加事項)	〃	LF/E/543
	544	1940.8.7 「リップントロップ」外相宛電報(発信者不明)(栗栖大使ノ語レル大東亜新秩序ニ関スル件)	〃	LF/E/544
545	1940.8.2 松岡外相「オット」大使會談録(日独關係,対「ソ」対「米」問題,日本ノ南方進出問題)	〃	LF/E/545	

立証段階	書証番号	書証名 (内容要旨)	法廷ニ提出年月日 (公判日次)	請求記号
日(三国同盟関係)	546	1940.7.31 「オット」大使→「リップントロップ」外相電(東条陸相下ニ於ケル英国諜報網ノ檢舉)	21. 9.24 (75)	LF/E/546
	547	1940.8.15 同上(仏大使ヨリノ日本政府ヘノ回答ニ関聯シ日本ハ独ガ仏ヲ抑エルコトヲ希望シアリ)	〃	LF/E/547
	548	1940.8.23 同上(松岡外相ニヨル外交人事ノ大刷新, 指導委員会ノ構成)	〃	LF/E/548
	549	1940.9.9,10 松岡「スターマー」非公式会談要旨(米国ノ参戦防止ト対「ソ」親善関係ノ確立, 「スターマー」ノ三国同盟締結ノ基礎条件提示)	21. 9.25 (76)	LF/E/549
	550	1940.9.10.~26 間ノ御前会議ニ於ケル松岡外相ノ三国同盟締結ニ関スル説明(「日独伊三国条約要綱」甲. 松岡外相説明「乙. 要綱ノ説明」結言)	〃	LF/E/550
	551	1940.9.16 枢密院ニ於ケル同盟条約締結ノ際ノ質問要旨(支那事変処理, 日「ソ」関係ニ及ボス影響, 対米戦争必至ニ対スル政府ノ所信)	〃	LF/E/551
	552	1940.9.26 三国同盟条約締結ニ関スル枢密院審査委員会々議々事録(各顧問官ノ質疑関係各大臣ノ答弁)	〃	LF/E/552
	553	1940.9.26 三国同盟条約締結ニ関スル枢密院会議々事録	〃	LF/E/553
	554	1940.9.27 発布ノ詔書	〃	LF/E/554
	555A	1940.9.27 「オット」大使ヨリ松岡外相宛書翰(条約締結ニ関スル謝意, 条約文ノ実行ニツキ確信)	〃	LF/E/555A
〃 B	1940.9.27 同上(松岡外相ヨリノ書翰受領ノ旨通知)	〃	LF/E/555B	
〃 C	1940.9.27 同上(松岡外相ヨリノ口頭宣言確認ノ書翰ヲ受領シ口頭宣言ノ強行実行ヲ通知セルモノ)	〃	LF/E/555C	
日(三国同盟下ノ提携関係)	556	松岡外相ヨリ「オット」大使宛書翰(年月日ナシ)(独ノ口頭宣言ニ南洋旧独領地ノ日本統治下ノ承認ノ確認ヲ望メルモノ)	〃	LF/E/556
	557	1940.12 「Contemporary Japan」第9巻	〃	
	〃, A	同上抜萃 白鳥敏夫述「三国条約ト明日ノ世界」	〃	LF/E/557A
	558	1941.9.26 三国同盟締結一周年記念日ニ行エル伊藤情報局総裁ノ「ラヂオ」放送原稿	〃	LF/E/558

立証 段階	書証 番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出 年月日 (公判日次)	請求記号
日 三 独 同 盟 伊 下 ノ 関 提 携 係	559	1940.1.220 混合委員会設立ニ関スル覚書(岡委員)	21. 925 (76)	LF/E/559
	560	1940.1.213 「オット」大使発電(宛名ナキモ「リップントロップ」外相ナラン)(栗栖大使ニ代リ大島大使派遣ノ件)	〃	LF/E/560
	561	1940.1.129 栗栖「ヴァイツゼッカー」会談ニ関スル「ヴァイツゼッカー」ノ覚書(日支,日「ソ」協定ナクテ日本ハ南方地域ノ進出「シンガポール」陥落ハ出来ズ)	〃	LF/E/561
	562	1941.1.31 「オット」大使→「リップントロップ」外相電(行動派ノ「シンガポール」ノ防御ノ攻撃要求,独大使館ノ同攻撃ニ関スル研究ノ結論)	〃	LF/E/562
	563	1940.1.121 「オット」大使発電(宛先ナシ)(外務次官ノ泰仏国境紛争仲介ニ関スル申出,示威ノ為ノ「サイゴン」ヘノ軍艦派遣)	21. 926 (77)	LF/E/563
	564	1941.2.6 同上(外務次官語ル泰仏印紛争調停ニ当リ両国ニ秘密協定ヲ結バセル意向)	〃	LF/E/564
	565	1941.2.17 「オット」大使→「リップントロップ」外相電(泰仏印国境紛争調停ニ日本ノ妥協案作成中,仏政府ヘノ伝達ニ独ノ仲介ヲ依頼ス)	〃	LF/E/565
	566	1941.3.12 在京独大使館員「ボルツェ」氏発電(宛名ナシ)(泰仏印国境紛争調停ニ対スル独ノ援助ニ対スル日本ノ感謝)	〃	LF/E/566
	567	1940.1.219 「オット」大使→「リップントロップ」外相電(松岡ノ訪欧旅行計画,松岡外相ノ抱負ト之ニ関聯スル大使ノ見解)	〃	LF/E/567
	568	1940.1.231 同上(松岡外相ノ訪欧旅行ニ関スル件)	〃	LF/E/568
	569	1941.2.10 同上(松岡外相ノ訪欧旅行裁可,松岡外相ノベルリン会談ニ関スル抱負説明.....シンガポール攻撃)	〃	LF/E/569
	570	1941.2.22 「ヴァイツゼッカー」→「リップントロップ」外相電(日本大使ノ日本外交政策説明ヲ外相ニ報告セルモノ)	〃	LF/E/570
	571	1941.2.28 「リップントロップ」外相→「オット」大使電(大島「リップントロップ」会談ノ内容.....大島ニ「シンガポール」無警告攻撃ヲ懲罰之ニ対スル大島ノ返答)	〃	LF/E/571
572	1941.2.27 同上(日本ノ「シンガポール」攻撃ノ急速実現ニ努力スベク訓令セルモノ)	〃	LF/E/572	
573	1941.3.5 「ヒトラー」総統ノ発セル「日本トノ協力ニ関スル第24号訓令」(日本ノ極東ニ於ケル参戦ヲ速ヤカナラシム「シンガポール」征服)	〃	LF/E/573	

立証段階	証書番号	証書名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
日 三 独 同 盟 伊 下 ノ 関 提 携 係	574	1941.3.18 独海軍最高指令ヨリ「ヒトラー」総統宛報告書(日本ノ「シンガポール」攻撃ノ即時開始,松岡ハ対「ソ」問題危惧シアリ)	21. 9.26 (77)	LF/E/574
	575	1941.3.24 松岡外相ノ訪独ニ関スル「ヴァイツゼッカー」ノ覚書(日本ノ対英戦参加,独「ソ」問題ニツキ明瞭ニ陳述シオク要アリ)	〃	
	576	1941.3.25 「オット」大使→「リップントロップ」外相電(近藤次長ノ「シンガポール」攻撃談 独急降下爆撃機ノ日本軍配属)	〃	LF/E/576
	577	1941.3.27 松岡「ヒトラー」会談(「オット」大島陪席)ニ関スル「シュミット」ノ覚書(松岡「シンガポール」攻撃主張)	〃	LF/E/577
	578	1941.3.27 松岡「リップントロップ」会談(「オット」大島出席)ニ関スル「シュミット」ノ覚書(「リップントロップ」日本ノ「シンガポール」攻撃ハ英ノ敗北ト米ノ参戦防止ニ役立つコトヲ強調)	〃	LF/E/578
	579	1941.3.28 同 上 日「ソ」中立条約締結ニ関スル「リップントロップ」外相ノ意見(「リップントロップ」日ク大東亜新秩序建設ノ為ニハ日本ノ「シンガポール」攻撃必要ナリ之ハ米ノ中立ヲ強ムベシ)	〃	LF/E/579
	580	1941.3.29 同 上 (「リップントロップ」日本ノ対英攻撃ハ「シンガポール」ヲ第一トス「ソ」聯トハ話セザルヲ可トス)	〃	LF/E/580
	581	1941.3.29 松岡「ゲーリング」会談ニ関スル「シュミット」ノ覚書(独ノ経験ノ成果ノ日本ヘノ供与(特ニ急降下爆撃機))	〃	LF/E/581
	582	1941.4.4 松岡「ヒトラー」会談(「リップントロップ」同席ニ関スル「シュミット」ノ覚書(潜水艦技術援助要請,松岡ノ日本政情ニ関スル意見「シンガポール」問題ニハ電報ヲ使ワズ)	〃	LF/E/582
	583	1941.4.5 松岡「リップントロップ」会談ニ関スル「シュミット」ノ覚書(「リップントロップ」外相日本参戦ノ一日モ速ナランコトヲ強調ス)	〃	LF/E/583
584	1941.4.14 「ボルツェ」氏発電(宛名ナシ)(日「ソ」中立条約締結ニ関スル日本ノ謝意,外務次官日ク本条約ハ「シンガポール」進撃ヲ容易ナラシム)	〃	LF/E/584	
585	1941.5.24 在京独陸軍武官→独陸軍最高指令部電(日本ハ「シンガポール」「マニラ」ヘノ奇襲ハ依然準備シアリ)	〃	LF/E/585	
586	1941.6.10 「ヴェールマン」ノ秘密覚書(大島日ク日本ハ南部仏印ニ海軍基地ヲ獲得シタキ希望ヲ有ス)	〃	LF/E/586	

立証段階	証書番号	証書名 (内容要旨)	法廷ニ提出年月日 (公判日次)	請求記号
日(三国同盟下ノ提携係)	587	1941.6.28 「リッベントロップ」外相→「オット」大使電(独「ソ」開戦ニ伴ヒ日本ニ対シ積極的ニ働キカケルコトヲ訓令セルモノ)	21. 9.26 (77)	LF/E/587
	588	日米交渉関係ニテ御前会議ヲ経テ決定シタル諸決定(識別ノミ)	〃	LF/E/588
	(588)	同上中1941.7.2 御前会議決定「情勢ノ推移ニ伴フ帝国々策要綱」	〃	LF/E/588
	589	1938.11.22 日独文化協定締結ニ関スル枢密院会議々事録	〃	LF/E/589
日(独經濟提携係)	590	1940.4.3 日独文化委員会開催時ノ会次第ト同席上ニオケル「ヴァイツゼッカー」ノ演説	〃	LF/E/590
	591	1938.6.29 東郷「リッベントロップ」会谈覚書(中国ニ於ケル經濟建設)	21. 9.27 (78)	LF/E/591
	592	1938.6.29 同上会谈ニ関スル「リッベントロップ」ノ覚書(日本政府ノ覚書ニ関スル「リッベントロップ」外相ノ不満)	〃	
	593	1938.7.6 東郷「ウィール」会谈ニ関スル「ウィール」ノ覚書(中国ニ於ケル經濟提携)	〃	LF/E/593
	594	1938.7.27 同上	〃	LF/E/594
	595	1938.7.24 「ウィール」局長ニ提出サレシ「支那ノ日本占領地区ニ於ケル独經濟權益ノ状況」ニ関スル覚書(作成者不明)	〃	LF/E/595
	596	1939.3.15 「オット」大使ヨリ「ウィール」局長宛書翰抜萃 中国ニ於ケル日独經濟提携ニ関セルモノ	〃	LF/E/596
	597	1940.1.08 「ウィール」局長ノ覚書(日独通商ニ関スル件)	〃	LF/E/597
	598	1941.4.28 「ベルリン」ニ於ケル「三国協定經濟分科委員会ノ事業計画草案」	〃	LF/E/598
	599	1938.4.5 「ヒトラー」総統ヨリ天皇陛下宛「メッセーヂ」(ディルクスン大使ト「オット」大使ト交代ニ関スルモノ)	〃	LF/E/599
	600	1941.3.5 「オット」大使ヨリ外務次官宛書翰(「オット」大使帰国中「ホルツェ」氏代理ヲ通知セルモノ)	〃	LF/E/600
日(独經濟提携係)	601	1941.1.21 「リッベントロップ」外相→「オット」大使電(单独ノ講和ノ件ヲ日本軍部ニ通告スベキ旨ノ訓令)	〃	LF/E/601

立証段階	書証番号	書証名 (内容要旨)	法廷ニ提出年 月 日 (公判日次)	請求記号
日 (単独不講和伊講和協定係)	602	1941.1.23 「オット」大使→「リップントロップ」外相電 (前電主旨ヲ日本軍部ニ傳達セルニ關聯シ大使ノウケン印象)	21. 9.27 (78)	LF/E/602
	603	米陸軍省ニ於テ傍受セル電報綴込 (識別ノミ)	〃	
	// A	1941.1.29 「ベルリン」発 (日本大使) 東京宛 (外相) 電 (大使ト「リップントロップ」外相トノ米ノ參戰問題, 単独不講和問題ニ關スル會議ノ報告)	〃	LF/E/603A
	604	大島被告訊問調書抜萃 単独不講和協定締結ニ關スル件	〃	LF/E/604
	605	1941.1.2 大島大使→東郷外相電 (単独不講和協定ニ關スル大島「リップントロップ」外相會談報告)	〃	LF/E/605
	606	書証番号603号抜萃 1941.1.23 「ローマ」発 (日本大使) 東京宛 (外相) 電 (大使「ムッソリーニ」ノ米參戰時伊ノ對米戰參加ニ關スル會談ノ報告)	〃	LF/E/606
	607	「チアノ」伯日誌抜萃 1941.1.2,3,4,5 伊ノ對米戰參加, 単独不講和協定	〃	LF/E/607
	608	1941.1.25 「オット」大使→「リップントロップ」外相電 (日本ノ對米戰參加ノ事情, 南部仏印兵力増強ニ對スル米ヘノ回答要領)	〃	LF/E/608
	(607)	「チアノ」伯日誌抜萃 1941.1.2,8,11 日本對米開戰ニ關スル「リップントロップ」外相「ムッソリーニ」首相ノ狂喜ブリ	〃	
	609	1941.1.2.14 大島大使歓迎會席上ニ於ケル大島「ヒトラー」會談記録 (日本ノ對米參戰以後ノ日独協力ニ關スル事項)	〃	LF/E/609
(49)	1942.1.18 日独伊三国軍事協定 (朗読)	〃		
滿洲ニ於ケル殘虐行為	610	1932.1.25 「Chicago Tribune」抜萃 「パウエル」氏ノ引用セル部分: 日本ノ滿洲ニ於ケル殘虐行為	21. 9.30 (79)	LF/E/610
	611	1932.1.23 同上 日本軍ノ滿洲ニ於ケル殘虐行為ニ關シ「シカゴ」日本領事ノ説明ノ部分	〃	LF/E/611
仏印關係 (北部仏印進駐)	612	1938.11.25 五相會議々案 (海軍提案) (海南島ハ必要ニヨリ軍事行動ニヨリ占領ス)	〃	LF/E/612
	613	1940.4 東京「ガゼット」第3卷第10号 (識別証拠)	〃	
	// A	同上抜萃 海南島占領ニ關スル記事	〃	LF/E/613A

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
仏(北)	614	1939.6.5 在京独大使→独外相電(日本ハ或ル種ノ留保ノ下ニ対英仏參戰ヲ希望シアリ)	21.10.2(81)	LF/E/614
	615	1940.8 東京「ガゼット」(識別証拠)	〃	
	31〃A	同上抜萃 仏印關係記事(援蔣行為ニ関スル日本側ノ抗議ヨリ西原監視団派遣迄)	〃	LF/E/615A
	616	1939年度外務省南洋局執務報告抜萃 仏印援蔣行為停止ニ関スル交渉,雲南鉄道爆撃,海軍機ノ印支国境誤爆	〃	LF/E/616
	617	1937.10.6 国際連盟総会決議抜萃 中国ニ対スル援助ヲ内容トスルモノ	〃	LF/E/617
	618	1940年度外務省南洋局第二課執務報告(識別証拠)	〃	LF/E/618
	619	木戸日記抜萃(1940.6.19)(6.18四相會議ニヨル対仏印行動決定ノ件)	〃	LF/E/619
	620	書証番号618号抜萃「昭和15年7月乃至9月ノ日本軍仏印進駐ニ関スル日本仏印間交渉経緯」(識別証拠)	〃	LF/E/620
	621	1940.9.23 外務省公表(922北仏印進駐交渉成立) 1940.9.23 外務省「スポークスマン」談(国境ニ於ケル局部的紛争ノ仏印側ノ誤解ニ基クモノナリ)	〃	LF/E/621
	(618)	証明書後刻受理ヲ条件トシテ受理(1940年間ニ於ケル仏印問題ニ関スル日仏印間交渉)	〃	
(620)	同上	〃		
仏(係)	622	1940.8.2 「オット」大使→「リップントロップ」外相電(日本ノ北部仏印進駐ニ関シ松岡外相ヨリ告ゲラレ独ノ援助ヲ要求セラレシ旨報告セルモノ)	21.10.3(82)	LF/E/622
	623	1940.9.20 米「ウエルズ」国際次官ノ覚書(駐米日本大使ト仏印ヘノ最後通牒ニ関シ会談セルコトヲ内容トセルモノ)	〃	
	624	1940.9.20 「グルー」駐日米大使ノ覚書(松岡外相ヨリ日本ノ仏印ヘノ要求ヲ内示セラレシニ関スル大使ノ見解)	〃	LF/E/624
	625	1940.9.20 休戦委員会ニ派遣サレシ独仏委員間ノ日本ノ対仏印最後通牒ニ関聯スル電話会談要旨	〃	LF/E/625

立証段階	証書番号	証書名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
仏(北印係)	626	1940.9.9 木戸日記抜萃 仏印一大隊越境事件	21.10.3(82)	LF/E/626
	627	1940.9.14 同上 仏印進駐ニ関スル陛下ノ御下問ニ対スル奉答ノ内容	〃	LF/E/627
	628	日本対外政策声明(識別証拠) (識別証拠)	〃	LF/E/628
	〃	同上抜萃 「1940.9.28 帝国外交方針要綱」	〃	LF/E/628-2
	〃	同上抜萃 「1940.10.4 対南方策私察」	〃	LF/E/628-3
	629	1941.1.23 来栖「ヴァイツェッカー」会談ニ関スル「ヴァイツェッカー」覚書(独ノ仏側圧迫ヲ要求セルモノ)	〃	LF/E/629
	630	1941.1.28 「リーシー」駐仏米大使→米國務長官電(独ハ如何ナル軍隊モ仏印ニ移動スルコトヲ拒否セリ)	〃	LF/E/630
	631	1941.2.9 「オット」大使→独外務省電(外務次官ヨリ独ヘノ生ゴム輸送ニ関スル覚書ヲ手交サレシコトニ関スル報告)	〃	LF/E/631
	632	1941.2.23 大島「リップントロップ」会談記録抜萃「リップントロップ」日ク東亜ノ仏勢力落ち英勢力衰ヘ日本ハ「シンガポール」ニ益々近クナレリ	〃	LF/E/632
	633	1941.3.11 松岡外相ヨリ「アンリー」大使宛書翰(泰仏印国境紛解決居中調停案、無条件受諾要求)	〃	LF/E/633
〃	1941.3.11 「アンリー」大使ヨリ松岡外相宛書翰(同上案受諾ノ旨回答)	〃	LF/E/633-2	
仏(南印係)	634	1941.5.10 仏印派遣軍參謀長ヨリ木村陸軍次官宛仏印兵ノ日本軍属傷害事件ニ関スル報告書	〃	LF/E/634
	635	1941.6.21 「オット」大使→「リップントロップ」外相電(松岡日ク日本ハ大島ヲ通シ独政府ニ対シ日本ガ仏印ニ海軍基地ヲ必要トスル旨ノ希望ヲ伝達センメタリ)	〃	LF/E/635
	636	1941.7.3 同上(松岡日ク英米ヘノ圧力強化ノ為ニ仏印ニ拠点獲得ニ決定ス)	〃	LF/E/636
	637	1941.7.3 保障及政治的了解ニ関スル日本仏印間協定及日本泰国間協定ニ関スル枢密院会議々事録	〃	LF/E/637
	638	1941.7.4 「オット」大使宛電宛名ナシ(日本ノ「サイゴン」占領近キニアリ、夫以上ノ南進ニツキテハ不明)	21.10.4(83)	LF/E/638

立証段階	証書番号	証書名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
仏南印仏印関進駐係)	639	独外務省ヨリノ押収文書綴(識別証拠)	21.10.4 (83)	
	" A	同上抜萃 1941.7.4 「トマス」(在バンコック)→独本国電(日本ハ蘭印交渉失敗ノ結果石油ノ実力ノ獲得ノ為仏印ニ進出スベシ)	"	LF/E/639A
	" B	同上抜萃 1941.7.10 「オット」大使→独本国電(日本ノ仏印行動時機切迫, 独ノ背後ヨリノ援助希望)	"	LF/E/639B
	640	1941.7.12 外務大臣→加藤駐仏大使電(仏印派兵ノ閣議決定ニ基ク仏政府トノ交渉開始ノ訓令)	"	LF/E/640
	641	書証番号603号抜萃 1941.7.14 広東発東京宛電(仏印進駐ニ対スル現地陸軍ノ見通シ, 「シンガポール」攻撃ニハ海軍ガ主役ヲ努ムベシ)	"	LF/E/641
	642	1941.7.19 「リントレン」→「リップントロップ」外相電(大島ヨリ日本ガ仏印進駐ノ交渉ヲ開始シ独ノ仏ニ対スル働キカケ要請セルコトノ報告)	"	LF/E/642
	643	1940.9.26 木戸日記抜萃 陸軍ノ「サイゴン」爆撃ニ関スル木戸侯ノ憤慨	"	LF/E/643
	644	1941.7.20 「オット」大使→「リップントロップ」外相電(日本内閣更迭ニヨリ仏印ヘノ行動ニハ変化ナキコトヲ報告セルモノ)	"	LF/E/644
	645	1941.7.18 「ショール」(在バンコック)→独本国電(日本ハ「シベリヤ」休戦準備ノ為ニ仏印防衛ヲ策ス)	"	LF/E/645
	646	1941.7.21 「シュライエル」(在バリー)→独本国電(「ダルラン」ガ日本ノ仏印進駐要求ニハ結局屈服ノ外ナキコトヲ述ベシモノ)	"	LF/E/646
	647	外務省条約局編集「仏印ニ関スル日仏間条約集」	"	
	"	同上抜萃 加藤大使「ダルラン」外相間ノ往復書翰	"	
	648	1941.7.22 「オット」大使→独本国電(日本仏ノ仏印側ノ要求無条件受諾ヲ期待シアル旨ノ内容)	"	LF/E/648
	649	1941.7.28 仏印共同防衛ニ関スル日本仏印間議定書締結及軍事上ノ協力ニ関スル公文交換ニ関スル枢密院審査委員会々議々事録	"	LF/E/649
650	同上枢密院本会議々事録	"	LF/E/650	
651	1941.7.29 調印ノ日仏印間共同防衛ニ関スル議定書 加藤大使「ダルラン」外相間交換公文	"	LF/E/651	

立証段階	証書番号	証書名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
仏(南部印仏印関係)	652	1941.9.1 「ノイマン」(在「バンコック」)発独本国宛電(日本ノ南部仏印進駐後ノ情况)	21.10.7(84)	LF/E/652
	653	1941.10.12 「ノイマン」(在「サイゴン」)発独本国宛電(仏印ニ於ケル汎「アジア」聯盟ノ活動ヲ示ス文書)	〃	LF/E/653
	654A	1941.10.1 在「バリ」独休戦経済代表「ヘンメン」ノ独本国宛電(仏印ノ「ゴム」ニ関スル中間報告)	〃	LF/E/654A
	〃	1941.10.6 「アベツ」(在「バリ」)→独本国電	〃	LF/E/654A-2
	〃	1941.10.15 「オット」大使→独本国電(日仏印協定ニ関スル日本ノ解釈 日仏印出先軍ニ関スル大使ノ見解)	〃	LF/E/654A-3
	655	1941.11.17 「エルドマンストルフ」→独外相電(北方又ハ南方ニ於ケル日本ノ行動ニ関スル大島大使ノ個人的意見)	〃	LF/E/655
	656	書証番号647号抜萃 仏印共同防衛ニ関スル日本軍「フランス」当局間現地軍事協定基礎要綱及細目規定	〃	
	657	北部仏印進駐ニ関スル諸外国ノ干渉ニ対スル日本外務省ノ公式声明	〃	LF/E/657
〃	同上抜萃 「皇軍ノ北部仏印進駐問題ニ対スル英米ノ干渉」	〃		
仏(経済協定係)	658	書証番号647号抜萃 1941.5.6 日本仏印間関税制度貿易及其ノ決済ノ様式ニ関スル日仏協定	〃	LF/E/658
	659	1943.1.10 附日本仏印間決済ニ関スル三谷駐仏大使「ラバル」仏外相官ノ交換公文	〃	
	660	1941.6.16 「仏印ニ関スル日仏居住航海条約並ニ日本仏印間関税制度貿易及其ノ決済ノ様式ニ関スル日仏協定批准ノ件」ニ関スル枢密院審査委員会々議々事録	〃	LF/E/660
仏(武力処理係)	661	1945.2.1 最高戦争指導会議決定第16号「情勢ノ変化ニ応ズル仏印処理ニ関スル件」	〃	LF/E/661
	662	1945.3.3 松本大使(在「サイゴン」)→重光大東亜大臣電(仏印処理問題ニ関スル仏印トノ交渉ノ件)	〃	LF/E/662
	663	1946.1.31 日本南方軍司令部作成「仏印ニ於ケル降伏前ノ日本軍行動」(仏印ニ対スル武力処理ノ件)	〃	LF/E/663

立証段階	証書番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
仏印関係	664	1945.3.10 仏印進駐日本軍司令官ノ発セル布告(10通)(武力処理関係)	21.10.7(84)	LF/E/664
	665	1946.4.11 仏国臨時政府ヨリ日本政府ニ対スル仏印武力処理問題ニ関スル警告	〃	LF/E/665
日ソ関係	666	「ソ」聯極東及北滿地図	21.10.8(85)	LF/E/666
	667	1941.8.14 国民新軍記事抜萃 荒木,石津間ニオケル1922年極東「ソ」聯ノ占領工作失敗ニ関スル荒木被告ノ述懐	〃	LF/E/667
	668	「ゼミョノフ」將軍宣誓口述書(1918~1922ニ於ケル極東「ソ」聯ノ独立問題)	〃	LF/E/668
	669	「大正11年ノ軍備縮少會議」 (識別証換)	〃	LF/E/669
	〃A	華府軍縮會議ニ於ケル幣原代表ノ声明抜萃 「ソ」聯領土不可侵 内政不干渉	〃	LF/E/669A
	670	前滿洲国総務長官武部六藏宣誓口述書(1933,34時代ニ於ケル荒木陸相ノ沿海州占領必要ノ演説)	〃	LF/E/670
	671	1938.7.11 「ジャバン・アドバタイザー」 (識別証換)	〃	
	〃A	同上抜萃 荒木被告ノ対中国対「ソ」継戦ニ関スル演説	〃	
	672	東条閣東軍參謀長→中央電(「ソ」聯ノ後方ヨリノ脅威除去ノ為ニハ中国ニ一撃ヲ加ヘザルベカラズ)	〃	LF/E/672
	673	今藤茂樹著 「日英支戦争」 (識別証換)	21.10.9(86)	
〃A	同上抜萃 近世歐洲ハ没落シ「アジア」諸国勃興ス	〃	LF/E/673A	
係	674	1941.1.1 「改造」 (識別証換)	〃	
	〃A	同上抜萃 田中香苗述「独ソ戦ノ新段階ト日本」	〃	LF/E/674A
	675	1942.1.5附 「太陽大日本」 (識別証換)	〃	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
日	675A	同上抜萃 橋本欣五郎述「大東亜皇化圏」	21.10.9 (86)	LF/E/675A
	676	1942.1.31附 「大阪時事新聞」 (識別証拠)	〃	
	〃A	同上抜萃 立命館大学教授田中道吉著「アジヤ大同」	〃	LF/E/676A
	677	1942.1 南方産業調査会発行「泰国」 (識別証拠)	〃	
	〃A	同上抜萃 表紙地図及記事(新東亜建設)	〃	LF/E/677A
	678	矢次一夫宣誓口述書(国策研究会及下記書証ノ確認)	〃	LF/E/678
	679	大東亜戦争ニヨル南方占領諸地域前後処理方策大綱	〃	LF/E/679
	〃	大東亜共栄圏ニ於ケル土地処分案	〃	LF/E/679-2
	〃	統治対策委員会報告書(1941.10 国策委員会)	〃	LF/E/679-3
	関	680	大東亜共栄圏建設対策案	〃
681		国策研究会々員名簿並要覧	〃	
682		大東亜共栄圏ノ範囲及其ノ構成ニ関スル試案	〃	LF/E/682
683		書証番号681号抜萃 国際研究会々員名簿抜萃	〃	LF/E/683
684		書証番号679号B抜萃 大東亜共栄圏ノ領土処分案	〃	
係	〃	欧露ヲ追ハレシ「スラブ」人ノ「シベリヤ」移動防止対策	〃	
	685	書証番号680号抜萃 大東亜共栄圏建設対策案基本構想総論	〃	LF/E/685

立証段階	証書番号	証書名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
日	686	1941年総力戦研究所第1回軍事演習ニ関スル討論会記事	21.10.9 (86)	LF/E/686
	687	1942.10.9~24 大東亜省設置ニ関スル枢密院審査委員会議事録	〃	LF/E/687
	〃 A	1942.10.12 大東亜省設置ニ関スル枢密院審査委員会議事録抜萃	〃	LF/E/687A
	688	大東亜共栄圏建設原案草稿 (1942.1.27 総力戦研究所作成)	〃	LF/E/688
	689	東亜建設第一期総力戦方路 (1942.2.18 総力戦研究所作成)	〃	LF/E/689
	690	「シベリヤ」統治方案 (1942年総力戦研究所総合研究記事)	〃	LF/E/690
	691	鈴木重康陸軍大佐著「満鮮地方旅行視察報告」 (1931.5 参謀本部ニ提出)	〃	
	692	笠原幸雄中将宣誓口述書 (広田大使・原田少将会談記録確認ノ件)	21.10.10 (87)	LF/E/692
	693	同上 (広田大使・原田少将会談記録)	〃	LF/E/693
	関	694	1931.2.9 日「ソ」漁業問題ニ関スル参謀本部ノ提案	〃
695		笠原幸雄中将宣誓口述書 (識別証拠)	〃	LF/E/695
696		同上 (同上)	〃	LF/E/696
697		同上 (同上)	〃	LF/E/697
係		698	同上 (同上)	〃
	(696)	証拠トシテ受理 (1931年笠原中佐ノ原田少将ニ対スル講話「ソ」聯国情一般)	〃	LF/E/696
	(695)	同上 (広田・原田会談及原田少将ヘノ講話内容確認ノ件)	〃	LF/E/695

立証段階	書証番号	書証名（内容要旨）	法廷ニ提出年月日（公判日次）	請求記号
日	699	三宅光治中将（1928～1931 関東軍参謀長） 宣誓口述書（「ソ」聯侵略計画ト満洲占領ノ関係）	21.10.10 （87）	LF/E/699
	700	1931.11.7 大島「ハルビン」総領事→幣原外相 電（満洲独立計画ヨリハ寧口堂々ト保障占領ヲ行ヒ 更ニ「ソ」聯進撃ヲ示竣セルモノ）	〃	LF/E/700
	701	1932.7.12 附 在「モスコウ」陸軍武官河辺虎四 郎作成報告書「ソ聯ヘノ日本軍々事の攻撃計画」	〃	LF/E/701
	702	1932.7.16 「トルコ」駐在武官神田中佐ガ「モ スコウ」經由「イスタンブール」ヘノ赴任ノ途次 河辺中佐ニ対シ笠原中佐ヨリノ伝言トシテ依頼セン ト情報（昭和9年迄ニ対「ソ」戦備完成）	〃	LF/E/702
	703	後宮淳大將（1934,35年当時参謀本部第二部長， 終戦時関東軍第三方面軍司令官） 訊問調書 （1935年当時ノ参謀本部ノ対「ソ」作戰計画）	〃	LF/E/703
	704	1936.8.7 四相會議決定「帝国外交方針」 （広田，永野）	〃	LF/E/704
	705	富永恭次中将（1940年参謀本部第一部長，終戦 時関東軍一三九師団長） 訊問調書（1940年参 謀本部対「ソ」作戰計画）	〃	LF/E/705
ノ	706	1932～1945年ノ関東軍及全日本陸軍ノ兵力 増強表	〃	LF/E/706
	707	関東軍師団編成表（赤軍参謀本部発刊）	21.10.11 （88）	
	708	1932～1945 関東軍ノ技術装備一覧表	〃	LF/E/708
	709	赤軍参謀本部ノ提出書証作成ニ関スル証明書（一部 終戦時入手資料，一部謀報部入手資料）	〃	LF/E/709
	710	1932年以降満洲国軍及蒙古軍増強一覧表	〃	LF/E/710
関	711	1931～1945 松花江河川艦隊増強一覧表	〃	LF/E/711
	712	1931～1945 満洲鉄道及自動車道路建設状 況（地図添付）	〃	LF/E/712
	713	1931～1945 満洲ニ於ケル飛行場組織発達 表（同上）	〃	LF/E/713
係				

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
日	714	1934~1945 満洲ニ於ケル設堡地区ニ関スル情報(地図添付)	21.10.11(88)	LF/E/714
	715	1931~1945 満洲ニ於ケル軍用倉庫建設状況(同上)	〃	LF/E/715
	716	1931~1945 満洲ニ於ケル兵營建設状況	〃	LF/E/716
	717	満洲ニ於ケル日本ノ移民所設置状況	〃	LF/E/717
	718	1931~1945 満洲ニ於ケル港湾ノ状況	〃	LF/E/718
	719	1938年度満密大日記	〃	
ソ	719A	同上抜萃 1938.12 関東軍司令部作成「察綏気象観測配置計画」	〃	LF/E/719A
	〃	同上抜萃 1938.12 東条関東軍参謀長→梅津陸軍次官電(気象網設置ニ関シ配慮サレタキ件)	〃	LF/E/719A-2
	〃	同上抜萃 1938.1.11 同上(関東軍配属下士官兵ノ服役延期ニ関スル件)	〃	LF/E/719A-3
	〃	同上抜萃 1938.1.25 梅津陸軍次官ヨリ多田参謀次長宛書翰(同上)	〃	LF/E/719A-4
	〃	同上抜萃 1938.1.27 多田参謀次長ヨリ梅津陸軍次官書翰(同上差支エナキ旨ノ返書)	〃	LF/E/719A-5
関	〃	同上抜萃 1938.1.29 梅津陸軍次官→東条関東軍参謀長電(書証番号719号Cニ対スル返電)	〃	LF/E/719A-6
	〃	同上抜萃 1938.2.11 東条関東軍参謀長→梅津陸軍次官電(対「ソ」作戰準備設堡ノ為ニ関東軍ニ人員臨増ノ件)	〃	LF/E/719A-7
	720	1938.5.11 関東軍参謀長→軍務局長電(満鉄ヲ対「ソ」作戰準備ニ使用ノ件)	〃	LF/E/720
	721	上陸作戰ノ為ニ北洋方面兵要地誌情報(1941.3 日本船舶運航部発行)	〃	LF/E/721
係	722	村上啓作中將(関東軍第三軍司令官)訊問調書(満洲ニ於ケル対「ソ」作戰準備)	〃	LF/E/722

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年 月 日 (公判日次)	請求記号
日	723	柳田元三中将(関東州防衛司令官) 訊問調書(満洲ニ於ケル軍事基地ノ構築)	21.10.11 (88)	LF/E/723
	724	1931~1945 朝鮮ニ於ケル日本軍隊ノ増強表	〃	LF/E/724
	725	1931~1945 朝鮮ニ於ケル鉄道及自動車道路進展状況(地図添附)	〃	LF/E/725
	726	1931~1945 朝鮮ニ於ケル飛行場増加状況	〃	LF/E/726
	727	1931~1945 朝鮮ニ於ケル要塞地帯建設状況	〃	LF/E/727
	728	1931~1945 朝鮮ニ於ケル軍需品倉庫建設状況	〃	LF/E/728
	729	1931~1945 朝鮮ニ於ケル兵営施設建設状況	〃	LF/E/729
	730	「ロザイフスキー」(ロシヤ・ファシスト同盟指揮白系露人)ノ宣誓口述書(協和会)	〃	LF/E/730
	(698)	証拠トシテ提出(1928「ハルビン」特務機関附神田正種少佐著「対ソ作戰資料」)	〃	
関	731	1942年満洲国協和会白系露人事務総局発行「大満洲帝国」	〃	LF/E/731
	732	1929.4 「ベルリン」ニ於ケル在欧武官會議録「露国關係事項」	〃	LF/E/732
	733	松井被告訊問調書	21.10.14 (89)	
	〃 A	同上抜萃 1929.4 「ベルリン」ニ於ケル在欧武官會議	〃	LF/E/733A
係	734	1929.11.15 「トルコ」駐在武官橋本欣五郎少佐ヨリ參謀次長宛ノ報告書「コーカサスノ事情及之ガ謀略の使用」	〃	LF/E/734
	〃 A	同上抜萃 「コーカサス」ハ対「ソ」謀略ニ使用容易、但シ強制的ニヤラザレバ一致行動困難	〃	
	(732A)	書証番号732号抜萃 対「ソ」謀略ニ関スル研究ノ所見	〃	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
日	735	満洲ニ於ケル日本ノ行動ニ対スル「ソ」聯ノ抗議	21.10.14 (89)	LF/E/735
	736	1940.2.16~17 「ハルビン」ニテ開催ノ北満日本特務機関長会議記録	〃	
	〃 A	同上抜萃 対「ソ」謀略ノ為極東反共自治政権ノ樹立ノ白系露人ノ使用	〃	LF/E/736A
	737	1943.6.16 関東軍情報部長作成(関東軍情報部第2回会議々事録(1943年度威力謀略ノ教育ニ関スル件))	〃	LF/E/737
	738	関東軍情報部第2回会議々事録抜萃 白系露人指導ニ関スル主旨	〃	LF/E/738
	739	同上 特殊移民地白系露人青年訓練計画	〃	LF/E/739
	740	同上 対外蒙宣伝指針	〃	LF/E/740
	741	河辺虎四郎中将(1932年「モスコウ」駐在陸軍武官)宣誓口述書(書証番号701号 書証番号902号ノ確認)	〃	LF/E/741
	742	同上(終戦時参謀次長) (終戦時参謀本部ニ於ケル重要書類ノ焼却)	〃	LF/E/742
	関	(730)	「ロザイフスキー」宣誓口述書抜萃 日本特務機関ノ対「ソ」謀略ノ為ノ白系露人使用	〃
743		秋草 俊少将(関東軍情報部長)宣誓口述書(対「ソ」謀略ノ為ノ白系露人使用, 威力謀略ノ為ノ部隊編成)	〃	LF/E/743
744		1931.1.23 「リトヴィノフ」芳沢会談記録(日「ソ」不可侵条約締結ニ関スル「ソ」聯ヨリノ提案)	〃	LF/E/744
745		1932.1.2.1.3 内田外相ヨリ「トロヤノフスキー」駐日「ソ」聯大使宛外交文書(日「ソ」不可侵条約締結提案ノ拒絶)	〃	LF/E/745
746		1933.1.4 「ソ」聯政府ヨリ日本政府宛外交文書(不可侵条約締結拒絶ニ対スル「ソ」聯側ノ不満)	〃	LF/E/746
747		1933.2.1.3 日本政府ヨリ「ソ」聯政府宛外交文書(「ソ」聯側ノ不満ニ対スル日本側ノ見解表明)	〃	LF/E/747
748		1934.10.23 在「ハルビン」ソ聯総領事ヨリ日本側宛公式声明文(東支鉄道「ソ」聯従業員ノ不法検束ニ関スル抗議)	21.10.15 (90)	LF/E/748
係				

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
日	749	1934.1.2.15 東支鉄道副総督ヨリ管理局長宛報告(東支鉄道ニ対スル建物ノ不法接收)	21.10.15(90)	LF/E/749
	750	「ソ」聯内務人民委員国境警備局作成「1932~1945年ノ「ソ」聯国境ニ対スル日本軍ノ侵犯一覽表)	〃	LF/E/750
	751	1936.10.26 国境警備司令官ヨリノ報告書(日本軍ノ「ソ」滿国境越境)	〃	LF/E/751
	752	1933.1.1.20 朝鮮軍司令官ヨリ柳川陸軍次官宛報告書(「ソ」滿国境附近ノ調査)	〃	LF/E/752
	753	1946.3.21 「ソ」聯内務人民委員国境警備隊本部作成「ハサン湖地区ニ対スル日本軍ノ挑戦ニ関スル報告)	〃	LF/E/753
	754	1938.7.20 「リトヴィノフ」重光会談ニ関スル「リトヴィノフ」日記抜萃(国境紛争ニ関スル会談)	〃	LF/E/754
	755	「チェルノビアトコ」中佐宣誓口述書(張鼓峰事件)	〃	LF/E/755
	756	「ヴァタルシン」中佐宣誓口述書(同上)	〃	LF/E/756
	757	赤軍参謀本部発行「ハサン」湖地区戦斗日誌抜萃	〃	LF/E/757
	関	758	1938.8.7 「リトヴィノフ」重光会談ニ関スル「リトヴィノフ」ノ日記抜萃 張鼓峰事件停戦ニ関スル会談	〃
759		1938.8.31 同上 上 日本ガ露清協定ノ条文ヲ認メタルコトニ関スル「リトヴィノフ」ノ所見	21.10.16(91)	LF/E/759
760		荒木貞夫述「昭和8年ノ使命」(昭和8年民衆文庫)	〃	
〃 A		同上抜萃 蒙古ヲ東洋ノ蒙古タラシムル為ニハ他国ノ侵略ヲ防止スルヲ要ス	〃	LF/E/760A
係	761	1936.3.28 板垣・有田会談記録(識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 蒙古ニ対スル軍ノ施策	〃	LF/E/761A
	762	1938.1.24 植田関東軍司令官ヨリ杉山陸相宛意見具申書「新興支那建設方策大綱」	〃	LF/E/762

立証 段階	書証 番号	書証名 (内容要旨)	法廷ニ提出 年月日 (公判日次)	請求記号
日 ノ	763	1919年中国郵便庁発行ノ満洲, 外蒙地図	21.10.16 (91)	LF/E/763
	764	1934年関東庁発行ノ満洲国地図 (識別証拠)	〃	LF/E/764
	〃 A	1935年 同 上	〃	
	765	1939.7 東京「ガゼット」中ノ「ノモンハン」附 近ヲ示ス地図	〃	LF/E/765
	766	1946.3.12 赤軍参謀本部作成「1939年ノ日 本人ノ挑発的戦斗ニ関スル覚書」	〃	LF/E/766
	767	1940.6.9 「モロトフ」東郷間ノ協定(ノモンハ ン事件)	〃	LF/E/767
	768	1946.4.24 平沼被告訊問調書 (識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 ノモンハン事件ニ対スル平沼首相ノ責 任問題	〃	LF/E/768A
	769	1941.2.23 大島「リップントロップ」会談記録 抜萃 書証番号632号関連(防共協定締結ニヨリ 独ノ武装可能 大陸活動容易トナレリ)	〃	LF/E/769
	関 係	770	1939.1.17 関東軍司令官一陸軍次官電(日独特 別航空路設定ニ関スル件)	〃
771		1941.7.10 「オット」大使→「リップントロップ」外 相電(独米開戦ノ場合ハ米ガ侵略者ナリトノ考ヲ日 本人ガ有シアルコト疑ナシ)	〃	LF/E/771
772		多数ノ文書ニ対スル証明書	〃	
773		1943.1.2 作成「外務省公表集」	〃	
〃 A		同上抜萃 1943.1.2.12 三国同盟締結三周年記念 日ニオケル重光外相ノ「ラジオ」演説	〃	LF/E/773A
774		1935.11.4 及 11.12 白鳥瑞典公使ヨリ有田ベルギ 一大使宛書翰(対「ソ」外交政策ニ関スル白鳥ノ見 解)	〃	LF/E/774
775		1939.8.22 木戸日記抜萃 独「ソ」不可侵条約ノ 締結ハ防共協定秘密協定ヨリ見テ背信の行為ナリ	〃	LF/E/775

立証段階	証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
日	788A	1941.10.4 「オット」大使→「リップントロップ」外相電抜萃 三国条約ト軍部ノ意図	21.10.16 (91)	LF/E/788A
	789	1941.3.29 松岡「リップントロップ」会談(「シュミット」覚書)(「リップントロップ」独「ソ」開戦ノ場合ノ独ノ威力説明, 松岡日ク日本ノ常ニ忠実ナル同盟国タルベシ)	21.10.17 (92)	LF/E/789
	790	1941.3.27 松岡「ヒトラー」会談(同上), (「ヒトラー」独ソ開戦ニ対スル独ノ威力説明)	〃	LF/E/790
	791	1941.4.4 同上(同上), (「ムッソリーニ」日ク日本ノ第一ノ敵ハ米英 第二ハ「ソ」聯ナリ, 「ヒトラー」ハコレヲ了解, 「ソ」ヲ挑発スルナ松岡同意)	〃	LF/E/791
	792	1941.7.5 「リップントロップ」外相→「オット」大使電(独「ソ」開戦ノ場合日「ソ」中立条約ハ廃棄サル, 日本ハ独側ニツクベキコトヲ内容トセルモノ)	〃	LF/E/792
	793	1941.6.25 「スメターニン」駐日「ソ」聯大使ノ日記抜萃 松岡外相ニ(独「ソ」開戦ノ場合中立条約トノ関係ニツキ質問セル場合ノ松岡ノ返答, 三国同盟基調ナリ)	〃	LF/E/793
	関	794	1941.7.15 「オット」大使→独本国電(松岡日ク中立条約ハ独「ソ」戦ニハ適用セズ)	〃
795		1941.6.22 「オット」大使→「リップントロップ」外相電(松岡ハ個人的ニ日本ハ結局独「ソ」ノ衝突ニ中立ニアリ得ズトノ見解ナリ)	〃	LF/E/795
796		1941.7.3 同上(松岡外相ヨリ松岡「スメターニン」会談ニツキ聞キタル内容ニ関聯スル報告)	〃	LF/E/796
797		1941.7.1 「マッケンゼン」駐伊独大使→「ベルリン」電(日本ガ対「ソ」攻撃ニ轉換スルニハ数週間ヲ要シ松岡ハ一時政界ヨリ引退スルヲ要ス)(中立条約ニ鑑ミ)	〃	LF/E/797
係	798	1941.7.6 独外務省書記「クラコリッツ」ノ覚書(陸軍武官ヨリ日本参謀本部ガ蒙古バイカル湖附近ニ「サボ」攻撃ヲ行フベク準備中ナルコトヲ伝ヘタルモノ)	〃	LF/E/798

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷に提出年月日(公判日次)	請求記号
日	799	1941.7.12 「オット」大使→独総統部電(日本ノ戦争準備ニ関スル印象)	21.10.17(92)	LF/E/799
	800	1941.8.1 「オット」大使→「ベルリン」電(日本ノ武力増強ノ為「ソ」聯ハ東部ヨリ西部ニ兵力移動出来ズ)	〃	
	801	1941.9.4 同上(日本ハ冬季戦ニ自信ナク参謀本部ハ対「ソ」攻撃延期ヲ決定セリ)	〃	LF/E/801
	802	書証番号603号抜萃 1941.11.30 東京外務大臣→「ベルリン」駐独大使電(日本ノ対「ソ」聯態度ニ対スル独伊ニ対スル説明ニ関スル訓令電報)	〃	LF/E/802
ソ	803	「ワシントン」ニテ発行ノ「政府公文書真珠湾論集」ヨリ抜萃 1941.8.15 東京発ベルリン着電報(日本ノ対「ソ」政策ニ関スル松岡「スメターニン」会談ニ関スルモノ)	〃	LF/E/803
	804	同上 1941.8.15 東京発「ベルリン」着電報(松岡「オット」会談ニ於テ松岡「スメターニン」会談ニツキ言及シ日本ノ対「ソ」政策ニ関シ独ノ理解ヲ求メタル件ニ関スルモノ)	〃	LF/E/804
	805	1941.1.26 東京発ベルリン着電報(外相ヨリ駐独大使宛ナルベシ)(戦略的ニ現在「ソ」聯トノ衝突ヲサケタキニ付独側ノ了解ヲ求メタルモノ)	〃	LF/E/805
関	806	1942.1.29 「オット」大使→「ベルリン」電(満洲ニ於ケル陸軍ノ対「ソ」攻撃準備中止ニ関聯スルモノ)	〃	LF/E/806
	807	1942.5.15 「リップントロップ」外相→「オット」大使電(日本ノ極東ニ於ケル対「ソ」攻撃ヲ懲瀆セルモノ)	〃	LF/E/807
係	808	書証番号603号抜萃 1941.7.31 東京発ワシントン着電報(独「ソ」戦ノ現状ヨリ見テ北方問題解決ノ好機ナルコトヲ内容トセルモノ)	〃	LF/E/808
	809	1945.1.21 「マッカーサー」司令部発行「日本ノ開戦決定ヨリ」抜萃セル1941.11.1機密GF命令作第1号抜萃 対「ソ」関係ノ部分	〃	LF/E/809
	810	書証番号689号東亜建設第一期総力戦方略ヨリノ抜萃 独「ソ」間ノ媾和斡旋ニ関スル部分	〃	LF/E/810
	811	野原駒吉(ベルリン日本大使館雇員)訊問調書(本人ハ日独混血児反ファシスト的)(独大使館ガ秘密情報ヲモスコウ大使館ヨリ入手シアリシ件)	〃	LF/E/811
	812	1943.3.6 大島「リップントロップ」会談記録	〃	LF/E/812

立段	証階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年 月日 (公判日次)	請求記号
日		812A	1943.3.6 大島「リップントロップ」会談記録抜萃 日本ノ現状ヨリ見テ対ソ戦ノ即時参加不可能ニ関スル件	21.10.17 (92)	LF/E/812A
		813	1946.2.20 「ソ」聯海軍々令部長官ノ報告(通商用船舶ニ対スル妨害, 海峡封鎖, 抑留, 撃沈)	〃	LF/E/813
		814	1941.8.20 東京発ワシントン着電報(「真珠湾論集」中ヨリノ抜萃) 米ノ「ソ」聯ヘノ物資輸送中止ヲ勧告スベク外務省ヨリ駐米大使ニ訓令セルモノ	〃	LF/E/814
		815	1946.3.20 太平洋地区「ソ」聯軍事檢察官ノ報告(「ソ」聯船「セリゲイ・キローフ」号ノ駆逐艦ニヨル東京湾ヘノ不法抑留 1942.4.17)	〃	LF/E/815
		816	1946.3.22 同 上 1943.7.16 「ラベルズ」海峡ニオケル「ドビナ」号ノ不法抑留大泊二連行)	〃	LF/E/816
		817	1945.4.4 同 上 1943.4.29 ラベルズ海峡ニオケル「イングル」号ノ抑留大泊二連行)	〃	LF/E/817
		818	1941.1.2.14 香港々内ニオケル「クレチュート」号ノ撃沈(1946.3.20 報告)(0.5 哩ノ距離ニ於テ沿岸ヨリ 3 4 発発砲乗員数ヶ月苦シメラレル)	〃	LF/E/818
		819	1941.1.2.8 以後香港々内ニオケル「スウィリストロイ」号ノ爆撃, 砲撃(1ヶ月後乗員帰リシトキハ戦利品番号ツクラレアリ)	〃	LF/E/819
		820	1941.1.2.11 香港々内ニオケル「セルゲイ・ラゾ」号ノ爆撃, 接收(日本国旗ヲ掲ゲアリ, 物品掠奪)	〃	LF/E/820
	関		821	「シムフェロポリー」号ニ対スル破壊, 掠奪ニ関スル同号船長ノ口述書抜萃(香港)	〃
		822	1941.1.2.18 「ベレコブ」号撃沈ニ関スル同船一等運転士「ブダリン」ノ宣誓口述書	〃	LF/E/822
		823	1941.1.2.14 発動機船「マイコープ」号爆撃ニ関スル同船々長ノ抗議書写(「ジャバ」ヨリ「ウラジオ」航行中ザランカ島南 3 3 哩ノ地点ニテ東方ヨリ日本機接近)	〃	LF/E/823
		824	1943.1.1.14 「マリウポリ」号遭難ニ関スル「ソ」聯海河川艦隊軍事檢察官ノ報告(占守島ユダシリ岬ニ坐礁「トアクセ」号ガ救助許可通知ヲウケシ 3 5 日後救助絶望)	〃	LF/E/824
係		825	日独伊経済協定締結ニ関スル 1943.1.21 情報局発表(官報告示録抜萃)(本協定ハ三国同盟ヲ拡大強化セルモノナリ.....)	〃	LF/E/825
		826	1941.12.12 附朝日新聞	21.10.18 (93)	

立証段階	証番号	書証名(内容要旨)	法廷に提出年月日(公判日次)	請求記号
日	826A	1941.12.12附朝日新聞記事 東条首相演説(単独不媾和協定締結ニ際シ枢軸ノ強化ヲ強調セルモノ)	21.10.18(93)	LF/E/826A
	827	1944.4 朝日新聞	〃	
	〃 A	1944.4.15 各界代表者ニ対スル東条首相ノ演説(枢軸ノ同盟強化ヲ説ケルモノ)	〃	LF/E/827A
	828	1944.12.12附「Japan Times」	〃	
	〃 A	同上記事 単独不媾和協定締結三周年記念日ニ当リ重光外相→「リップントロップ」外相「ムッソリーニ」首相祝賀電	〃	LF/E/828A
ソ	829	1945.1.22 官報	〃	
	〃 A	同上記事 1945.1.21第八十六議会ニ於ケル重光外相ノ外交方針演説	〃	LF/E/829A
	830	1941.7.25 「オット」大使「クレチメル」武官→本国電(日本国内ノ対「ソ」作戦準備ト之ニ対スル兩人ノ見解)	〃	LF/E/830
	831	1946.8.8 第一復員局文書課長ノ証明書(対「ソ」作戦計画関係書類ハ全部焼却セリ)	〃	LF/E/831
	関	832	1941.9.16 関東軍司令官ノ発セル命令「関東軍陸軍通訳補再教育要領」	〃
833		松浦九州夫少佐(内蒙陸軍暗号課長)宣誓口述書(内蒙古軍ノ対「ソ」作戦準備)	〃	LF/E/833
834		瀬島竜三中佐(参本一部二課部員, 関東軍作戦課参謀)宣誓口述書(昭和14年対ソ作戦計画, 関特演計画)	〃	LF/E/834
835		喜多誠一大将(元関東軍第六軍司令官)宣誓口述書(1942年度対「ソ」作戦計画)	〃	LF/E/835
係		836	松村知勝少将(参本二部五課長, 関東軍一課長, 参謀副長)宣誓口述書(1942年度対「ソ」作戦計画「ソ」情報ノ独側提供)	〃
	837	大坪一馬少将(関東軍第三方面軍参謀長)宣誓口述書(第六軍ノ防御作戦計画……1943.8)	〃	LF/E/837
	838	草場辰己中将宣誓口述書並死亡証明書(1941年度関東軍第四軍対「ソ」作戦計画関特演, 満洲ニ於ケル鉄道ノ建設)	〃	LF/E/838

立証 段階	書証 番号	書証名 (内容要旨)	法廷ニ提出 年月日 (公判日次)	請求記号
日 関 係	839	1943.4.18 大島「リップントロップ」会談記録	21.10.21 (94)	LF/E/839
経 済 及 財 政 ノ 準 備	840	G H Q 経済科学部法律顧問「J. G. リバート」氏作成 Statement「戦争ニ対スル一般生産及財政準備」	〃	LF/E/840
	841	1937.6.23 陸軍省作成「軍需品製造五年計画要 綱」	〃	
	842	1937.5.29 「重要産業拡充計画要綱」	〃	
	843	書証番号840号中ノ附表「日本々国ニ於ケル産業 ニヨル電力消費量」	〃	
	844	同 上「日本々国ニ於ケル原油ノ消費量及貯蔵量」	〃	
	845	同 上「1926~1941 日本々土ニ於ケル鋼鉄ノ 生産量及輸入量」	21.10.22 (95)	
	846	同 上「1926~1941 日本帝国ニ於ケルアルミ ニウムノ生産量」	〃	
	847	同 上「1930~1941 日本々土ニ於ケル工作機 械ノ生産及純輸入」	〃	
	848	同 上「1931~1941 日本々土ニ於ケル精密軸 受工業ノ発展」	〃	
	849	1942.3 産業統制ニ関スル佐藤賢了軍務局長ノ演説	〃	
	850	1935.7.3 「日満共同経済委員会提携ニ関スル件 ノ審議ニ関スル枢密院会議々事録」	〃	LF/E/850
	851	1935.7.17 日満共同経済委員会設置ニ関スル議 定書	〃	LF/E/851
	852	軍票準備ニ関スル陸軍省大蔵省間ノ往復文書 (10通)	〃	LF/E/852
	853	1941.12.1 大蔵大臣ヨリ日本銀行宛南方外貨表 示軍票取扱手続制定ニ関スル通牒	21.10.23 (96)	LF/E/853
854	日本銀行ノ軍票登録台帳	〃	LF/E/854	

立証 段階	書証 番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出 年月日 (公判日次)	請求記号
経 済 及 財 政 ノ 準 備	855	軍票印刷ノ原型24個 軍票17枚 原型ニ関スル証明書	21.10.23 (96)	LF/E/855
	856	1938.6.23 風見内閣書記長ヨリ板垣陸軍大臣宛 通牒(貿易ト関連スル民需経済ノ厳格ナル制限ニ対 スル内閣ノ決意)	〃	LF/E/856
	857	1938.6.23 同上兩者間ノ往復文書	〃	LF/E/857
	858	書証番号840号中ノ表「1931~1941日本帝国 ニ於ケル金ノ生産額」	〃	LF/E/858
	859	同 上「1931~1941陸海軍ノ予算総額表」	〃	LF/E/859
	860	書証番号840号中ノ表「1931~1941日本々土 ニオケル工業ノ発展」	〃	
	861	1940.10.3 閣議決定「日滿支経済建設要綱」	〃	LF/E/861
	862	1938.5.19 「Japan Advertiser」	21.10.29 (100)	
戦 争 ノ 準 備	〃 A	同上抜萃 国家総動員法ニ関スル説明	〃	LF/E/862A
	863	1938.5.20 「Japan Advertiser」	〃	
	〃	同上抜萃 国家総動員法及其ノ目的ニ対スル陸軍省 ノ説明	〃	LF/E/863A
	864	昭和16年版日本年鑑抜萃 1939.3.8,1941.4.1, 1941.5.10 兵役法改正国防保安法	〃	LF/E/864
	865	1941.4 内閣発行「パンフレット」基本国策要綱	〃	LF/E/865
	866	橋本被告著「革新ノ必然性」抜萃	〃	LF/E/866
	867	1941.7.13 「ネット」→「リッペントロップ」 電(日本ノ対「ソ」開戦ニ備エル為ノ動員)	〃	LF/E/867
	868	昭和15年官報 第4122号(15.9.30 総力戦研 究所ノ設置ニ関スルモノ)	〃	LF/E/868

立証段階	証書番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号	
戦	869	堀場一雄宣誓口述書(総力戦研究所)	21.10.29 (100)	LF/E/869	
	870	第1回総力戦机上演習	21.10.30 (101)		
	" A	同上抜萃 総力戦研究所机上演習経過記録 (1941.8上中旬)	"	LF/E/870A	
	871	同上 (1942年)	"	LF/E/871	
	872	1941.11.10~15 陸軍省副官→16D,55D,56D 電 1941.10 仏印陸軍→東京電(各師団ノ受領スベキ 兵器,需品ノ連絡電)	"	LF/E/872	
	873	1941.11.14 南京第三集団長→次官次長電 (戦斗司令部ヲ南京→サイゴン移動報告)	"	LF/E/873	
	874	1941.11 波集団月報	"	LF/E/874	
	875	南方総軍参謀長→次官電(南方軍司令部ノ行動報 告)	"	LF/E/875	
	876	帝国参戦ニ際シ採ルベキ措置 条約局第二課	"		
	" A	同上抜萃 占領地ニ於ケル軍政施行ニ関スル先例	"	LF/E/876A	
争	877	1941.11.20 連絡会議決定(南方占領地行政要 領)	"	LF/E/877	
	878	1941.11.13 同上(外交施策)	"	LF/E/878	
	879	東京「ガゼット」	21.10.31 (102)		
	"	同上抜萃 東条演説 陸軍々備	"	LF/E/879A	
	880	日本陸軍総兵力概見表(一復調)	"	LF/E/880	
	881	1941, 1942 日本年鑑抜萃 南洋概説	"	LF/E/881	
	備				

立証段階	書証番号	書証名 (内容要旨)	法廷ニ提出年 月 日 (公判日次)	請求記号
戦	882	南洋諸島総図 (判事ト弁護団ノ参考用)	21.10.31 (102)	
	883~ 893	南洋諸島土人口述書 (マリアナ関係)	〃	LF/E/883~ 893
	894~ 896	同 上 (パラオ関係)	〃	LF/E/894~ 896
	897~ 900	同 上 (トラック関係)	〃	LF/E/897~ 900
	901~ 907	同 上 (マーシャル関係)	〃	LF/E/901~ 907
争	908	往復文書 1.N.Y.K 関係7通 (南洋航路ト外人関係) 2.日米間文書4通 (駆逐艦アルデン号南洋巡航ニ関シ)	〃	LF/E/908
	909	1937.1.20 枢密院議事録	〃	
	〃 A	同上抜萃 海軍武官ヲ南洋庁事務官ニ任用ノ件	〃	LF/E/909A
準	910	1930.8.20 「ロンドン」条約審査委員会記録	〃	
	〃 A	同 上 抜 萃	〃	LF/E/910A
	911	1930.10.1 「ロンドン」条約批准会議記録	〃	
	〃 A	同 上 抜 萃	〃	LF/E/911A
備	912	輿論ノ指導 (海軍省発見文書)	21.11. 1 (103)	LF/E/912
	913	主力艦表 (二復調)	〃	LF/E/913
	914	外交協会議演表	〃	
	〃 A	同上抜萃 豊田軍務局長ノ海軍予算ニ関スル説明	〃	LF/E/914A

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
戦争準備	915	1934~1944 海軍々人総員数表(二復調)	21.11.1 (103)	LF/E/915
	916	1931~1945 主要日本軍艦保有量及建艦表(二復調)	〃	LF/E/916
	917	日本海軍保有艦表(軽巡ヲラビニ重巡)	〃	LF/E/917
	918	同上(空母)	〃	LF/E/918
	919	連絡会議決定(戦争方針)	〃	LF/E/919
日英米関係	920	「日米外交関係文書」(書証番号58号ヨリノ抜萃) 1931.9.22 國務長官備忘録(出洲大使ニ対スル滿洲事変勃発ニ対スル見解表明)	21.11.4 (104)	LF/E/920
	921	同上 1931.9.22 國務長官「スチムソン」→出洲大使覚書(滿洲事変ニ関スル抗議)	〃	LF/E/921
	922	同上 1931.9.24 「スチムソン」→「ネビーユ」(駐日代理公使)電(滿洲事変解決申入ノ訓令)	〃	LF/E/922
	923	同上 1931.9.24 日本大使→國務長官声明(領土の野心ナキ旨ノ保証)	〃	LF/E/923
	924	同上 1931.9.28 日外相→米大使覚書(日本ハ事変拡大防止ニ努力シアリ)	〃	LF/E/924
	925	同上 1931.9.30 聯盟理事会決議(日本軍ノ鉄道附属地ヘノ撤退, 日支両国ノ平和ヘノ努力ヲ要望ス)	〃	LF/E/925
	926	同上 1931.10.19 「スチムソン」→「ギルバート」ジュネーブ公使電(米ノ態度ニツキ聯盟ニ取次ヲ訓令セルモノ)	〃	LF/E/926
	927	同上 1931.11.0.30 聯盟理事会決議(日本軍隊ノ撤退, 支那側ノ日本權益保全)	〃	LF/E/927
	928	同上 1931.11.2.10 同上(戰鬥行為ノ中止五名ノ調査委員会ノ決定)	〃	LF/E/928
	929	同上 1931.11.2.11 「スチムソン」→「ジョンソン」駐支公使電(米ハ12.10 聯盟決議ニ賛成ス)	〃	LF/E/929
930	同上 1932.1.7 「スチムソン」→「フォールス」駐日大使電(米ハ聯盟決議ニ賛成ナル旨申入レノ訓令)	〃	LF/E/930	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
日	931	「日米外交関係文書」(書証番号58号ヨリノ抜萃) 1932.1.16 「フォールス」→「スチムソン」 電(満洲ニ領土ノ野心ナシ)	21.1.1. 4 (104)	LF/E/931
	932	同 上 1932.2.24 「スチムソン」→「カニンガム」 上海総領事電(米ノ原則ノ明示)	〃	LF/E/932
	933	同 上 1933.2.25 「スチムソン」→「ウイリソン」スイス公 使電(米ノ聯盟決議ニ同意ナル旨ノ再表明)	〃	LF/E/933
	934	同 上 1933.1.1.14 「グルー」→國務長官電(満洲 国建国ニ関スル報告)	〃	LF/E/934
	935	同 上 1934.4.17 日外務省非公式声明(日本ノ満洲 ニ於ケル権利ノ主張, 聯盟脱退示唆)	〃	LF/E/935
英	936	同 上 1934.4.25 「グルー」→國務長官電(広田外 相トノ会談報告)	〃	LF/E/936
	937	同 上 1934.5.19 「ハル」覚書(日本大使ハ支那ニ オケル日本ノ優越性ヲ主張, 米ノ平等ヲ要求)	〃	LF/E/937
米	938	同 上 1935.1.2.6 「ハル」ノ声明(米ハ北支ノ事態 ヲ嚴重監視ス)	〃	LF/E/938
	939	同 上 1934.1.1.30 米大使→日外相覚書(満洲ノ石 油統制ニ関スル抗議)	〃	LF/E/939
	940	同 上 1937.10.30 奉天領事→駐支大使電(大橋領 事米國ノ輿論悪化通告ノ報告)	〃	LF/E/940
関	941	同 上 1935.4.16 「グルー」→広田外相口頭声明 (満洲ノ石油統制ハ米ノ輿論ヲ悪化セリ)	〃	LF/E/941
	942	同 上 1934.1.2.29 斎藤大使→「ハル」通告(華府 条約廃棄通告)	〃	LF/E/942
係	943	同 上 1936.1.1.15 「デービス」→「ハル」電(日本 ノ共通最大限ニハ米國ハ賛成シ得ズ)	〃	LF/E/943
	944	同 上 1937.1.2.1 「グルー」→広田外相覚書(満洲 ノ治外法権撤廃ニ米國ハ従ヒ得ズ)	〃	LF/E/944
	945	同 上 1936.1.1.15 永野全權→「ロンドン」会議々長 書(ロンドン軍縮會議脱退通告)	〃	LF/E/945
	946	同 上 1937.6.18 「グルー」→「ハル」電(備砲口 徑制限ニ日本ハ参加セズ)	〃	LF/E/946

立証段階	証書番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
日	947	「日米外交関係文書」(書証番号58号ヨリノ抜萃) 1937.7.16 「ハル」声明(米国ハ国際紛争調停ノ責任及権利ヲ有ス)	21.11. 4 (104)	LF/E/947
	948	同 上 1936.6.12 「ハル」覚書(米国ハ国際平和ヲ希望ス)	〃	LF/E/948
	949	同 上 1937.7.21 同 上(日本大使トノ会谈:米ノ紛争調停意向申入, 日本ハ事変不拡大防止ノ言明)	〃	LF/E/949
	950	同 上 1937.8.10 「グルー」覚書(日支事変解決交渉ニ協力ノ旨外相ニ申入)	〃	LF/E/950
英	951	同 上 1937.8.13 日本大使館→米國務省文書(極東ノ特殊事情理解ニ関スル申入レ)	〃	LF/E/951
	952	同 上 1937.8.23 國務省新聞発表(米ハ日支平和解決ヲ要望ス)	〃	LF/E/952
	953	同 上 1937.9.28 「ハル」→駐「スイス」公使電(日支事変ハ不戦条約九ヶ国条約違反)	〃	LF/E/953
米	954	支那事変ニ対スル日本ノ声明集	〃	
	〃 A	「ブラッセル」会議 招聘文	〃	LF/E/954A
	〃 B	同 上 拒絶文	〃	LF/E/954B
関	〃 C	「レディバード」号抗議文(英)	〃	LF/E/954C
	955	支那事変関係日英交換公文書 1937.9.17 「グルー」→広田外相通牒(「ミッション」病院爆撃ノ抗議文)	〃	LF/E/955
係	956	同 上 1937.9.22 同 上 (南京ヨリ米人引揚勧告ニ対スル抗議)	〃	LF/E/956
	957	同 上 1937.9.25 備忘録 米極東局長→日本大使館 参事館覚書(非戦斗員爆撃ニ関スル抗議)	〃	LF/E/957
	958	同 上 1937.9.27 聯盟委員会決議(日支ノ非武装都市爆撃ハ犯罪ナリ)	〃	LF/E/958
	959	同 上 1937.9.28 國務省新聞発表(日本ノ非武装都市爆撃ハ不法ナリ)	〃	LF/E/959

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
日	960	支那事変関係日英交換公文書 1938.1.31 国務省新聞発表(日本兵ノ「アリソン」毆打事件)	21.11.4 (104)	LF/E/960
	961	同上 1937.10.5 「ルーズベルト」演説(日本ノ行動非難)	〃	LF/E/961
	962	同上 1937.10.6 聯盟総会第1回報告(日本ノ行動ハ自衛權ノ発動ニハ非ズ)	〃	LF/E/962
	963	同上 1937.10.6 国務省新聞発表(日本ノ行動ハ九ヶ国条約・不戦条約違反)	〃	LF/E/963
	964	同上 1937.12.23 「ヤーネル」「アジア」艦隊長官→海軍大佐電(パネー号事件ニ対スル委員会報告)	〃	LF/E/964
	965	同上 1934.8.31 米大使館→日外務省非公式声明(満州ノ石油統制ニ関スル非公式覚書)	〃	LF/E/965
	966	同上 1933.15 「スチムソン」覚書(日本ハ長城線以南ニ領土ノ野心ナントノ保証ヲ与フ)	〃	LF/E/966
	967	同上 1938.3.17 国務長官演説(米ノ努力日本ニ対スル警告)	21.11.5 (105)	LF/E/967
	968	同上 1938.1.31 「グルー」大使→広田外相通告(北支ニ於ケル関税率改正ニ関スル抗議)	〃	LF/E/968
	969	同上 1938.2.4 同上(米權益侵害ニ対スル抗議)	〃	LF/E/969
英	970	同上 1938.4.4 米大使館→外務省補助覚書(南京在住米人權益侵害ニ対スル抗議)	〃	LF/E/970
	971	同上 1938.3.26 米大使館→外務省覚書(上海米布教団權益侵害ニ対スル抗議)	〃	LF/E/971
	972	日本外務省提出「支那事変関係外務省声明集 第3巻」 (識別証拠)	〃	
米	〃 A	同上 抜萃 1938.1.16 帝国政府声明(国民政府ヲ對手トセズ)	〃	LF/E/972A
	〃 B	同上 抜萃 1938.1.31 「アリソン」事件ニ関スル外務省情報部長談	〃	LF/E/972B
	〃 C	書証番号972号抜萃 1938.9.22 宇垣外相→「アブノール」聯盟事務総長(聯盟理事会出席拒否状)	〃	LF/E/972C

立証段階	証書番号	証書名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
日	972D	書証番号972号抜萃 1938.10.12 南支作戦=関スル外務省情報部長談(第三国權益尊重ノ方針ニハ変化ナシ)	21.1.5 (105)	LF/E/972D
	" E	同上 1938.11.18 日本政府→米国政府回答文(中国ニ於ケル米商業妨害ノ抗議ニ対スル回答)	"	LF/E/972E
	" F	同上 1938.1.22 第七十三議會=於ケル近衛首相ノ演説	"	LF/E/972F
	" G	同上 1938.1.22 第七十三議會=於ケル広田外相ノ演説	"	LF/E/972G
英	" H	同上 1938.1.22 近衛首相談(抗日国民政府ノ昂蕩更生支那政府トニ提携,日滿支三国提携ノ強調)	"	LF/E/972H
	973	書証番号58号抜萃 1938.10.3 「グルー」大使→近衛首相口頭申入(中国ニ於ケル米權益尊重門戸開放機會均等ノ申入)	"	LF/E/973
	974	同上 1938.5.30 米大使館→外務省(南通洲ニオケル米教会ニ対スル日本水上機4機ノ爆撃ニ関スル抗議)	"	LF/E/974
	975	同上 1938.5.31 同上(上海米教会,学校ニ対スル日本機ノ爆撃ニ関スル抗議)	"	LF/E/975
米	976	同上 1938.6.10 同上(蘇州ノ米病院兵舎ノ不法接收ニ関スル抗議)	"	LF/E/976
	977	外務省押収文書 1936.6.30 「国策大綱」	"	LF/E/977
関	978	同上 1936.6.30 「国策大綱ニ関スル件」(五相會議記録)	"	LF/E/978
	979	同上 1936.8.11 「国策ノ基準」(五相會議記録)	"	LF/E/979
係	980	書証番号58号抜萃 1938.6.28 「グルー」大使→字垣外相申入(山東省ノ教会爆撃)	"	LF/E/980
	981	同上 1938.8.16 同上(武昌米教会爆撃)	"	LF/E/981
	982	同上 1938.8.26 同上(厦門爆撃)	"	LF/E/982
	983	同上 1938.10.31 「グルー」大使→有田外相申入(河南省ノ米教会爆撃)	"	LF/E/983

立証 段階	証 書 番 号	資 料 名 (内 容 要 旨)	法 廷 に 提 出 年 月 日 (公 判 日 次)	請 求 記 号
日	984	書証番号58号抜萃 1938.11.7 「グルー」大使→有田外相申入 (米船舶ノ航行制限, 商品ニ対スル侵害ヘノ抗議)	21.11.5 (105)	LF/E/984
	985	同 上 1939.3.3. 同 上 (米人ノ生命財産 權益侵害ニ対スル抗議)	//	LF/E/985
	986	同 上 1938.11.21 「グルー」大使→有田外相口頭声 明 (權益尊重, 米ノ対支政策)	//	LF/E/986
	987	同 上 1938.11.19 「ドウマン」米大使館 参事館ノ覚書 (米ノ対支政策ヲ日本大使ニ申入レタル件)	//	LF/E/987
英	988	同 上 1937.9.1 米大使館→外務省補助覚書 (南京爆 撃ノ抗議, 無防備都市等ノ爆撃中止申入レ)	//	LF/E/988
	989	日本外務省押収文書 1938.11.12~1939.7 有田外相「グルー」大使 会谈記録	//	LF/E/989
	990	書証番号58号抜萃 1938.11.24 「グルー」大使→有田外相口頭声 明 (広東ノ海關不法接收ニ関スル抗議)	//	LF/E/990
米	991	同 上 1938.12.30 同 上 (在支米人ノ経済 活動制限ニ関スル抗議)	//	LF/E/991
	992	同 上 1939.3.11 同 上 (芝罘天津ノ物品 出荷制限撤廃ノ申入)	//	LF/E/992
関	993	同 上 1939.9.1 「ドウマン」参事官→有田外相声明 (仙 頭海關不法占拠ニ対スル抗議)	//	LF/E/993
	994	日本外務省押収 1939.7.26 「ハル」国務長官→堀内大使通告 (日米航海通商条約破棄)	//	LF/E/994
	995	書証番号58号抜萃 1939.5.11 「グルー」大使→有田外相口頭声明 (無差別爆撃ニ対スル抗議)	//	LF/E/995
係	996	同 上 1939.5.22 「ドウマン」参事官→「ハル」国務長官 (河南省米教会爆撃ニ対スル抗議)	//	LF/E/996
	997	同 上 1939.5.18 「グルー」大使→ 「ハル」国務長官 (日本ノ南方進出ニ関スル危惧ニ対シ テハ米側ト会谈 スバシトノ外相ノ言明ニ関スル報告)	//	LF/E/997
	998	同 上 1939.7.6 「ハル」国務長官→ 「グルー」大使電 (須摩参事官ニ在支米教会爆撃ニ対 スル覚書ヲ手交セル旨ノ通知書)	//	LF/E/998
	999	同 上 1939.7.10 「ハル」国務長官覚書抜萃 (日本機ノ 重慶爆撃ニ関スル日本側ヘノ申入レニ関スル件)	//	LF/E/999

立証段階	書証番号	資料名(内容要旨)	法廷に提出年月日(公判日次)	請求記号
日 英 米 関 係	1000	書証番号58号抜萃 1939.1.25 「グルー」大使→野村外相文書(河南省ノ教会爆撃ニ関スル抗議)	21.11.5 (105)	LF/E/1000
	1001	同上 1940.2.6 「グルー」大使→有田外相書(仙頭ニ於ケル輸入物資ニ対スル重課税ニ対スル抗議)	〃	LF/E/1001
	1002	同上 1940.4.28 米大使館→外務省覚書(天津ニ於ケル日本軍ノ米権益ニ対スル不当干渉ニ対スル抗議)	〃	LF/E/1002
	1003	同上 1939.6.15 及 6.25 「クレーギー」大使→有田外相書(天津事件ニ関スル抗議)(添書3通共)	〃	LF/E/1003
	1004	同上 1940.3.20 「グルー」大使→有田外相書(南支那海軍部隊ノ米会社灯油輸出拒絶ニ対スル抗議)	〃	LF/E/1004
	1005	同上 1940.7.15 米大使館→外務省補助覚書(北支ニ於ケル米国貿易ノ差別待遇ニ関スル抗議)	〃	LF/E/1005
	1006	外務省ヨリ入手セル34通ノ文書ニ対スル証明書	〃	LF/E/1006
	1007	外務省押収文書 1940.3.3 「対米外交ニ関聯シトルベキ経済政策」	〃	LF/E/1007
	1008	同上 1941.1.22 松岡外相→野村大使訓令	〃	LF/E/1008
	1009	同上 1941.2.7 松岡外相→野村大使電(米朝野啓発ニ関スル件)	〃	LF/E/1009
	1010	書証番号58号抜萃 1940.6.13 米國務省新聞発表抜萃(日本機ノ重慶爆撃ニ関スル國務長官ノ声明)	21.11.6 (106)	LF/E/1010
	1011	同上 1940.9.13 「グルー」大使→松岡外相書(重慶爆撃ニ対スル抗議)	〃	LF/E/1011
	1012	1940.4.15 日本大使館新聞発表抜萃(蘭印ノ現状ニ影響ヲ及ボス如キ歐洲大戦ノ変化ニ日本ハ無關心タリ得ズトノ有田外相声明)	〃	LF/E/1012
	1013	書証番号58号抜萃 1940.4.17 米國務省新聞発表抜萃(蘭印ノ内政干渉、現状変化ハ条約違反ナリ)	〃	LF/E/1013
	1014	同上 1940.6.10 「グルー」大使覚書(米艦隊ノ「ハワイ」駐留ハ日本ニトリ大ナル關心事タルコト外相トノ会見ニヨリ印象ツケラル)	〃	LF/E/1014
1015	1940.2.13 重光大使→有田外相電(英次官ガ日英同盟ニ言及セルコトノ報告)	〃	LF/E/1015	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
日	1016	1940.3.23 重光大使→有田外相電(バトラー次官トノ会見報告)	21.11.6 (106)	LF/E/1016
	1017	1940.5.13 同 上 (欧州戦ノ進展ヨリ日本ノ準備ヲ從シ、且日支融和ヲ第一トスル旨ノ意見具申)	〃	LF/E/1017
	1018	1940.5.25 同 上 (対支和平ノ強調、対外的ニ日本ノ意図ヲ明カナラシムル要アリトノ進言)	〃	LF/E/1018
	1019	1940.6.19 同 上 (仏印進駐ニ対スル見解、欧州戦ニ対スル態度)	〃	LF/E/1019
	1020	1940.7.10 佐藤大使→有田外相電(来栖大使經由)(「リップントロップ」トノ会談ニ関スル報告)	〃	LF/E/1020
	1021	1940.7.10 来栖大使→有田外相電(同上)	〃	LF/E/1021
	1022	書証番号58号抜萃 1940.8.9 国務長官代理「グルー」大使電(7月中ニ於ケル日本ノ各種不法行為ニ関スル通知)	〃	LF/E/1022
	1023	1940.8.5 重光大使→松岡外相電(日本ノ大東亜政策実行ニ関スル進言)	〃	LF/E/1023
	1024	書証番号58号抜萃 1940.9.18 「グルー」大使→松岡外相書(中国ニ於ケル米石油製品ノ貿易妨害ニ対スル抗議)	〃	LF/E/1024
	1025	同 上 1940.9.3 「ハル」国務長官→「グルー」大使電(米ガ日本ノ仏印進駐要求ニ関スル情報入手ヲ申入ルベシトノ訓令)	〃	LF/E/1025
米	1026	同 上 1940.9.19 「グルー」大使→松岡外相書(仏印進駐ニ対スル米ノ見解表明)	〃	LF/E/1026
	1027	同 上 1940.10.7 日本大使館→米国務省書(屑鉄其ノ他原料ノ日本ヘノ輸送ニ関スル処置ニ対スル申入)	〃	LF/E/1027
	1028	外務省押収文書 「中国ニ於ケル日英事件覚書」	〃	LF/E/1028
英	1029	1940.9.20 国策研究会作成「東亜各民族対策ビルマ対策」	〃	LF/E/1029
	1030	外務省押収文書 1940.9.26 枢密院会議々事録(三国同盟条約締結)	〃	LF/E/1030
	1031	書証番号58号抜萃 1940.10.11 「グルー」大使→松岡外相書(北支ニ於ケル米ノ經濟妨害ニ対スル抗議)	〃	LF/E/1031

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
日	1032	書証番号58号抜萃 1940.10.24 「グルー」大使→松岡外相書(北支ニ於ケル日本軍ノ輕工業原料検査及積出検査開始ニ関スル申入レ)	21.11.6 (106)	LF/E/1032
	1033	同 上 1940.9.19 同 上 (仏印ヨリノ物品積出制限ニ対スル抗議)	〃	LF/E/1033
	1034	同 上 1940.11.26 同 上 (「ハノイ」ニ於ケル「リンデン」副領事監禁ニ対スル抗議)	〃	LF/E/1034
	1035	外務省押収文書 1940.1.29 加藤外務省秘書官→太田欧州局長覚書 (識別証拠)	〃	LF/E/1035
英	1036	書証番号58号抜萃 1940.12.7 「グルー」大使→松岡外相書(「ハノイ」ニ於ケル米商品ノ輸出拒絶ニ対スル抗議)	〃	LF/E/1036
	1037	同 上 1940.1.27 「グルー」大使→松岡外相口頭申入(仏印ヨリノ医療品積出拒絶ニ対スル抗議)	〃	LF/E/1037
	1038	1941.5.10 東京日日新聞記事抜萃 国防保安法	〃	LF/E/1038
米	1039	1941.2.7 「イーデン」外相→重光大使申入(「スパイ」嫌疑ニヨル英人逮捕、松岡演説(三国同盟、泰仏印国境調停)ニ対スル申入レ、日本ノ南建ニ対スル危惧ノ表明、対独戦ニ対スル英ノ決意表明)	〃	LF/E/1039
関	1040	外務省押収文書 1941.1.初頭 日英外交関係電報抜萃	〃	LF/E/1040
	1041	同 上 1941.2.13 松岡外相→重光大使電(「イーデン」覚書ニ対スル回答文)	〃	LF/E/1041
	1042	書証番号58号抜萃 1941.2.13 「グルー」大使→松岡外相電(仏印ヨリノ米商品積出拒絶ニ対スル抗議)	〃	LF/E/1042
	1043	同 上 1941.2.14 「ハル」國務長官覚書抜萃(野村「ルーズベルト」会談時ノ「ルーズベルト」ノ強調点)	〃	LF/E/1043
	1044	外務省押収文書 1941.2.14 松岡外相→重光大使電(泰仏印国境調停ニ関スル「イーデン」覚書ニ対スル回答文手交ノ訓令)	〃	LF/E/1044
係	1045	同 上 「太平洋情勢ノ転換点」(海底電信集録)	〃	LF/E/1045
	1046	1941.2.18 松岡外相→重光大使電(松岡「クレギー」会談経過)	21.11.7 (107)	LF/E/1046

立証 段階	書証 番号	書証名 (内容要旨)	法廷ニ提出 年月日 (公判日次)	請求記号
日	1047	1941.2.21 「クレーギー」→松岡外相書(「タイ」「マレー」間ニ英軍隊活動トノ日本新聞ノ誤報ニ対スル抗議)	21.11.7 (107)	LF/E/1047
	1048	1941.2.24 重光大使→松岡外相電(重光「チャーチル」会談報告)	〃	LF/E/1048
	1049	1941.2.24 日英両外務省交換文	〃	LF/E/1049
	1050	1941.2.25 大島大使→松岡外相電(「ヒトラー」「リップントロップ」ハ日本ニ信頼感ヲモチアリ)	〃	LF/E/1050
英	1051	1941.2.26 重光大使→松岡外相電(日本ハ英国ニ対シ侵略ノ意向ナキ旨「チャーチル」ニノブ)	〃	LF/E/1051
	1052	1941.2.27 「グルー」→「ハル」電(松岡ハ「シンガポール」其他英国ノ行動ヲ非難シアリ)	〃	LF/E/1052
	1053	1941.2.27 重光大使→「チャーチル」提案(三国同盟ハ世界平和ヲ目的トス)	〃	LF/E/1053
米	1054	1941.3.4 松岡外相→野村大使電(米国ニ対スル返答ハ本国トノ歩調ヲアハスベキ旨ノ通知)	〃	LF/E/1054
	1055	1941.3.8 東京日日ヨリノ抜萃 国家総動員法	〃	LF/E/1055
	1056	1941.3.8 「ハル」覚書(日独伊ノ行動ハ武力侵略ナリ)	〃	LF/E/1056
関	1057	1941.3.14 「ハル」覚書(独伊ハ「スイス」ヲ、日本ハ「シンガポール」ヲ攻撃スベキト聞キ米国民ハ驚ケリ)	〃	LF/E/1057
	1058	1941.4.3 木戸日記(豊田次官ヲ商相ニ親任ノ件近衛首相ハ賛成ナリ)	〃	LF/E/1058
	1059	1941.4.9 私的日米人ニヨル対国務省提案(日米諒解案ノ原案)	〃	LF/E/1059
係	1060	1941.4.14 「ハル」覚書(日米関係改善ニ関スル日本大使トノ会談)	〃	LF/E/1060
	1061	1941.4.16 「ハル」覚書(国家ノ平等ヲ主張)	〃	LF/E/1061
	1062	1941.4.12 「チャーチル」→松岡書簡(「チャーチル」ヨリ松岡外相ヘノ質問書)	〃	LF/E/1062

立証 段階	書証 番号	書証名(内容要旨)	法廷提出 年月日 (公判日次)	請求記号
日	1063	1941.4.22 松岡外相→「チャーチル」電(同上ニ対スル返事 日本ハ八紘一字ヲ基礎トス)	21.11.7 (107)	LF/E/1063
	1064	1941.4.14 「グルー」→近衛外相代理申入(在支米国権益爆撃ニ関スル抗議)	〃	LF/E/1064
	1065	1941.4.19 木戸日記抜萃 近衛首相ト共ニ野村大使ヨリノ請訓ヲ協議ス	〃	LF/E/1065
	1066	1941.4.28 木戸日記抜萃 陛下ヨリ日米交渉ニ関シ御下問アリ	〃	LF/E/1066
英	1067	1941.1.23 Japan Times 抜萃 人口政策	〃	LF/E/1067
	1068	1941.5.6 「オット」→「リップントロップ」電(日本ノ独米戦, 独「ソ」戦ニ対スル態度ニ関スル松岡ノ言明)	〃	LF/E/1068
	1069	1941.5.6 「グルー」→松岡外相申入(在支米国領事館爆撃ニ対スル抗議)	〃	LF/E/1069
米	1070	1941.5.12 野村大使→「ハル」提案(日本側第一次対案)	〃	LF/E/1070
	1071	1941.5.16 「ハル」→野村大使提案	〃	LF/E/1071
	1072	1941.5.17 「グルー」→松岡外相申入(在支米国権益侵害ノ抗議)	〃	LF/E/1072
関	1073	1941.5.18 「オット」→「リップントロップ」電(松岡トノ会談報告)	〃	LF/E/1073
	1074	1942.5.19 日米会談説明抜萃 日本ノ態度攻撃	〃	LF/E/1074
係	1075	1941.5.20 大島大使→松岡外相電(独首脳部ノ日米交渉ニ対スル不満)	〃	LF/E/1075
	1076	1941.5.21 同上(日米交渉ハ重大ナル国策変更ナリト考エラルル旨意見具申)	〃	LF/E/1076
	1077	1941.5.28 野村大使「ハル」会談覚書(日米一般事項ニ関スル討議)	〃	LF/E/1077
	1078	1941.5.31 「ハル」→野村大使(米側非公式対策)	〃	LF/E/1078

立証段階	証番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
日	1079	1941.5.31 米国側非公式申入 (5.12 日本対案ニ対スル修正案)	21.11.7 (107)	LF/E/1079
	1080	1941.5.31 「ハル」→野村非公式申入 (支那ニ関スル事項ハ極裡ニ支那政府ト相談)	〃	LF/E/1080
	1081	1941.6.2 「ハル」覚書 (日本ノ真意ニ対スル疑問)	〃	LF/E/1081
	1082	1941.6.4 「グルー」→松岡外相申入 (重慶ノ米権益爆撃ニ対スル抗議)	〃	LF/E/1082
英	1083	1941.6.4 「バルトン」若杉, 松平, 岩畔氏会談記録	〃	LF/E/1083
	1084	1941.6.6 木戸日記抜萃 大島大使ヨリ独「ソ」戦開戦ノ徴アル旨ノ電アリ奏上 松岡外相モ奏上セリ	〃	LF/E/1084
	1085	1941.6.6 「ハル」→野村非公式申入 (米国ハ日本側対案ニ失望ス)	〃	LF/E/1085
米	1086	1941.6.11 「オット」大使→「リップントロップ」外相電 (日「ソ」中立条約ト三国同盟トノ関係ニオケル日独「ソ」ノ関係)	21.11.8 (108)	LF/E/1086
	1087	書証番号58号抜萃 1941.6.15 野村大使→「ハル」国務長官非公式草案	〃	LF/E/1087
	1088	同上 1941.6.16 「グルー」大使→「ハル」国務長官電 (重慶爆撃ニ関シ日本ニ申入レタルコトノ報告)	〃	LF/E/1088
関	1089	1941.6.18 木戸日記抜萃 (松岡外相ヨリ仏印問題ニツキ聴取セルコトヲ奏上ス)	〃	LF/E/1089
	1090	1941.6.20 同上 (独「ソ」ノ噂ニ関シ近衛首相ヨリ内閣ノ責任論ノ話アリ, 責任論ハ問題ニ非ズト答フ)	〃	LF/E/1090
係	1091	書証番号58号抜萃 1941.6.21 「ハル」国務長官→野村大使口頭声明	〃	LF/E/1091
	1092	同上 同上 米側対策	〃	LF/E/1092
	1093	1941.6.22 木戸日記抜萃 独「ソ」開戦ニ伴ヒ松岡外相ノ上奏ニ対スル工作	〃	LF/E/1093
	1094	1941.6.23 同上 独「ソ」戦ニ関スル会談 松岡奏上ノ真意ニツキ奏上	〃	LF/E/1094

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
日	1095	1941.6.25 木戸日記抜萃 日支和平ニ関スル近衛首相ヨリノ談	21.11.8 (108)	LF/E/1095
	1096	1941.6.28 「リップントロップ」外相→「オット」大使電(独「ソ」戦勃発ニ伴ヒ日本ニ働キケルコトノ訓令)	〃	LF/E/1096
	1097	1941.6.28 「オット」大使→「リップントロップ」外相電(独「ソ」戦勃発後ノ日本ノ首脳意向未決定ニ関聯スル同上電報)	〃	LF/E/1097
	1098	1941.6.28 木戸日記抜萃 東条陸相ト独「ソ」戦其ノ他ニ関スル会談	〃	LF/E/1098
英	1099	書証番号58号抜萃 1941.7.8 「グルー」大使→松岡外相申入レ(重慶爆撃ニ対スル抗議)	〃	LF/E/1099
	1100	同上 1941.7.8 (ハノイ、ハイフォンニ於ケル米商品差押へ解除ノ申入レ)	〃	LF/E/1100
	1101	1941.2.17 松岡外相→重光大使電(「イーデン」ノ覚書ニ対スル松岡外相ノ回答文)	〃	LF/E/1101
米	1102	書証番号58号抜萃 1941.7.24 国務省新聞発表抜萃(日本ノ南部仏印進駐ニ対スル米ノ見解)	〃	LF/E/1102
	1103	外務省押収文書 朝日新聞抄 1941年政府統帥部連絡会議一覽表	〃	LF/E/1103
	1104	「ステムソン」元国務長官ノ宣誓口述書	〃	LF/E/1104
	1105	「グルー」元駐日大使ノ宣誓口述書	〃	LF/E/1105
係	1106	真珠湾事件両院調査委員会ニ於ケル「ハル」国務長官ノ陳述書	〃	LF/E/1106
	1107	1941年度御前会議出席者氏名一覽表	21.11.2 (109)	LF/E/1107
	1108	1941.7.2 木戸日記抜萃 近衛首相, 松岡外相ノ心中判ラズト洩ラス	〃	LF/E/1108
	1109	東条被告訊問調書ニ関スル証明書	〃	
	1110	1946.2.13 東条被告訊問調書	〃	

立証 段階	証 番 号	書 証 名 (内 容 要 旨)	法廷提出 年 月 日 (公判日次)	請 求 記 号	
日	1110A	1946.2.13 東条被告訊問調書抜萃 7.2 御前会議奏請者ハ陸相ナリ	21.11.12 (109)	LF/E/1110A	
	1111	1941.7.3 「ヴァイツェッカー」→「リップントロップ」外相(大島大使トノ会談報告)	〃	LF/E/1111	
	1112	1941.7.5 木戸日記抜萃 仏印進駐問題ガ外部ニ洩レタルタメ之ノ外交々渉ハ5日間位延期スベキ旨松岡外相ヨリ説明アリ	〃	LF/E/1112	
	1113	1941.7.7 「オット」大使→「リップントロップ」外相電(白鳥氏ニ関スル件)	〃	LF/E/1113	
	1114	1941.7.15 同 上 (外務次官ト仏印進駐ニ関シ会談セル件ノ報告)	〃	LF/E/1114	
	英	1115	1941.7.15 木戸日記抜萃 近衛,松岡間ノ日本提案提示ニ関スル意見ノ衝突ニヨル辞職説之ニ対スル内府ノ見解	〃	
		1116	1941.7.16 同 上 近衛内閣総辞職ノ件	〃	LF/E/1116
		1117	1941.7.17 同 上 重臣会議近衛公ニ大命再降下	〃	LF/E/1117
		1118	1941.7.20 「オット」大使→「リップントロップ」外相電(豊田外相ノ外交方針ヲ本国ニ伝達セルモノ)	〃	LF/E/1118
	米	1119	1946.3.15 東条被告訊問調書	〃	
		〃 A	同上抜萃 (連絡会議ノ決定権,御前会議ト連絡会議トノ決定)	〃	LF/E/1119A
1120		1941.7.23 野村大使→豊田外相電(情勢報告)	〃	LF/E/1120	
1121		1941.7.24 「オット」大使→「リップントロップ」外相電(日本外相トノ会見ニ於テ仏印進駐ニ対スル独ノ努力ニ対シ感謝ヲ表明セラレタルコトノ報告)	〃		
1122		1941.7.29 情報局発表(仏印進駐)	〃	LF/E/1122	
係	1123	1946.2.13 東条被告訊問調書抜萃 仏印進駐軍隊ノ開戦時ノ役割	〃		
	1124A	1946.2.15 同 上 仏印進駐軍隊ノ開戦時ノ行動	〃		

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
日	1125	1941.7.31 木戸日記抜萃 永野総長ノ対米施策ニ関スル意見	21.11.12(109)	LF/E/1125
	1126	1946.3.21 永野被告訊問調書	〃	
	〃 A	同上 抜萃 真珠湾攻撃計画	〃	LF/E/1126A
	1127	1946.3.27 永野被告訊問調書	〃	
英	〃 A	同上 抜萃 真珠湾攻撃ノ訓練, 演習, 大学校函演	〃	LF/E/1127A
	1128	1946.1.23 嶋田被告訊問調書	〃	LF/E/1128〔説明書〕
	〃 A	同上 抜萃 真珠湾攻撃ノ計画, 訓練	〃	LF/E/1128A
米	1129	1941.8.2 木戸日記抜萃 海軍部内ニ対米強硬論現ハルトノ近衛首相談	〃	LF/E/1129
	1130	1941.8.7 同上 現下時局ニ対スル木戸内相ノ見解ヲ近衛公ニ語ル	〃	LF/E/1130
	1131	1941.8.16 及 1941.9.13 野村大使→豊田外相電	〃	LF/E/1131
関	1132	1941.8.23 新軍記事抜萃 物資動員計画	〃	LF/E/1132
	1133	1941.9.7 東京日日抜萃 陸上海上輸送計画	〃	LF/E/1133
	1134	1941.9.5 木戸日記抜萃 御前会議前ノ両総長御召シノ件	〃	LF/E/1134
係	1135	1941.9.6 同上 御前会議ノ件	〃	LF/E/1135
	1136	1946.2.23 東条被告訊問調書	〃	
	〃 A	同上 抜萃 9.6 御前会議ノ目的	〃	LF/E/1136A

立証段階	証書番号	証書名 (内容要旨)	法廷提出年・月・日 (公判日次)	請求記号
日	1137	1946.3.11 東条被告訊問調書	21.11.12 (109)	
	" A	同上 抜萃 9.6~10 中旬間ノ戦争準備	"	LF/E/1137A
	1138	1941.9.11 木戸日記抜萃 東条陸相ヨリ対米戦準備ニ関スル調査ノ結果ヲ聞ク	"	LF/E/1138
	1139	1941.9.11 野村大使→豊田外相電 (駐兵問題ニ関スル件)	"	LF/E/1139
英	1140	1941.9.13 東京日日新聞抜萃 9.12 閣議決定ノ勞務動員計画	"	LF/E/1140
	1141	1941.9.26 木戸日記抜萃 近衛公トノ会談, 軍部ガ10~15迄ニ開戦ヲ主張スルナラバ自信ナン	"	LF/E/1141
	1142	1941.9.29 同上 米国ノゴム保有量, 錫ノ保有量ノ調査御下命, 原枢相ヨリ重要国策決定ノ形式ニ関スル意見ノ開陳アリ	"	LF/E/1142
	1143	1941.10.7 同上 東条対米強硬論ヲ主張, 海軍ノ若干分子之ニ合流ス	"	LF/E/1143
米	1144	1941.10.8 野村大使→豊田外相電 (米側ノ日米交渉ニ対スル態度)	"	LF/E/1144
	1145	同上	"	LF/E/1145
関	1146	1941.10.9 木戸日記抜萃 直ニ対米戦ヲ決意セズ 支那事変処理ニ全力ヲ注グヲ要ス	"	LF/E/1146
	1147	1941.10.12 同上 荻外荘ニ於ケル四相会議ノ模様	"	LF/E/1147
	1148	第三次近衛内閣総辞職ニ関スル近衛首相ノ顛末書	"	LF/E/1148
係	1149	1941.10.13 木戸日記抜萃 鈴木総裁ト局面打開ニツキ会談ス	"	LF/E/1149
	1150	1941.10.15 同上 東条陸相ノ東久遜宮内閣説 之ニ対スル木戸内府ノ反対意見	"	LF/E/1150
	1151	1941.10.16 同上 近衛内閣総辞職	21.11.13 (110)	LF/E/1151

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
日	1152	1941.10.16 第三次近衛内閣総辞職ノ際ノ近衛首相上奏文	21.11.13(110)	LF/E/1152
	1153	1946.2.11 東条被告訊問調書	〃	
	〃 A	同上 拔萃 近衛内閣総辞職ト陸相トノ関係 対米開戦主張撤兵反対	〃	LF/E/1153A
	1154	1941.10.17 木戸日記抜萃 重臣会議, 東条陸相ニ大命降下	〃	LF/E/1154
英	1155	1941.10.18 同上 東条中将, 大将ニ進級, 現役ニ止ル	〃	LF/E/1155
	1156	1941.10.20 同上 東条首相奏請ノ経緯 奏上	〃	LF/E/1156
	1157	1946.1.28 東条被告訊問調書	〃	
米	〃 A	同上 拔萃 新秩序建設ニ関スル件	〃	LF/E/1157A
	〃 B	同上 新秩序建設上ノ日独伊ノ分野	〃	LF/E/1157B
	〃 C	同上 新秩序ニ関スル東条氏ノ意見	〃	LF/E/1157C
関	1158	1946.3.12 東条被告訊問調書	〃	
	〃 A	同上 拔萃 戦争準備ノ続行(11.15 御前会議)	〃	LF/E/1158A
係	1159	1941.10.16 豊田外相→野村大使電(米独関係緩和ノ希望)	〃	LF/E/1159
	1160	外務省ヨリ入手セル文書ニ対スル証明書	〃	
	1161	1941.10.22 野村大使→東郷外相電(近衛内閣更迭ニ伴フ大使更迭ノ請訓)	〃	LF/E/1161
	1162	1941.10.29 木戸日記抜萃 東条首相ト連絡会議ニ付協議ス	〃	LF/E/1162

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年 月 日 (公判日次)	請求記号	
日	1163	1941.1.12 本郷外相→野村大使電(国交調整方策審議ノ件)	21.1.1.13 (110)	LF/E/1163	
	1164	1941.1.14 同上(傍受電)(甲・乙案 発出ニ関スル訓令)	〃	LF/E/1164	
	1165	1941.1.14 同上(同上)(甲案)	〃	LF/E/1165	
	1166	1941.1.14 同上(来栖大使派遣ノ件)	〃	LF/E/1166	
	1167	1941.1.14 情報局極秘文書「対米英問題ニ関スル 輿論指導方針」	〃	LF/E/1167	
	英	1168	1941.1.15 木戸日記抜萃 御前会議開催	〃	LF/E/1168
		1169	月日不明 外務省入手(11.5 御前会議決定対外国 策遂行要領, 対英米蘭蔣戦争終末促進要領)	〃	LF/E/1169
1170		1941.1.15 東郷外相→野村大使電(甲案提示ノ訓 令)	〃	LF/E/1170	
米	1171	1941.1.15 本郷外相→野村大使電(交渉期限ヲ 11.25迄トス)	〃	LF/E/1171	
	1172	1941.1.18 ベルリン→ワシントン, ローマ電(東郷ハ 来栖ニ日本ノ対米強硬態度ヲ指令ス)	〃	LF/E/1172	
	1173	1941.1.1.1.2 東京日々新聞記事抜萃 「チャーチル」 演説(日米戦ハバ英ハ一時間ヲ出デズ参戦セン)	〃	LF/E/1173	
関 係	1174	1941.1.1.1.1 東郷外相→野村大使電(「グルー」 大使トノ会談ニ関スル件)	〃		
	1175	1941.1.1.1.1 対英米開戦名目骨子案(連絡会議決 定)	〃		
	1176	1941.1.1.1.2 対英米蘭戦終結促進要領	〃	LF/E/1176	
	1177	1941.1.1.1.4 野村大使→東郷外相電(交渉見通シ ニ関スル件)	〃	LF/E/1177	
	1178	1941.1.1.1.6 東郷外相→野村大使電(交渉督促ノ 件)	〃	LF/E/1178	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
日	1179	1941.1.1.18 野村大使→東郷外相電(来栖大使ノ意見具申)	21.1.1.3 (110)	LF/E/1179
	1180	1941.1.1.19 東郷外相→野村大使電(乙案提示ノ訓令)	〃	LF/E/1180
	1181	1941.1.1.19 木戸日記抜萃 対米英戦ノ切迫ニ伴フ意見	〃	LF/E/1181
英	1182	1941.1.1.21 枢密院審査委員会議事録(防共協定更新)	〃	LF/E/1182
	1183	1941.1.1.22 東郷外相→野村大使電(交渉期日ヲ11.29迄延期ス)	〃	LF/E/1183
	1184	1941.1.1.23 野村大使→東郷外相電(野村来栖「ハル」会談ノ件)	〃	LF/E/1184
	1185	1941.1.1.24 東郷外相→野村大使電(「グルー」大使トノ会談ノ件)	〃	LF/E/1185
	1186	1941.1.1.24 同 上 (11.29ハ日本時間ナリ)	〃	LF/E/1186
米	1187	1941.1.1.25 ハノイ→東京外務電(ハノイ当局者ノ日米交渉ニ対スル予見)	〃	LF/E/1187
	1188	1941.1.1.25 泰大使→東京電(泰ヲ日本陣営ニ引込ム意見具申)	〃	LF/E/1188
関	1189	1941.1.1.26 野村大使→東郷外相電(日米関係打開策ノ具申)	〃	LF/E/1189
	1190	1941.1.1.26 木戸日記抜萃 日米英開戦ニ関シテハ重臣会議ヲ更ニ行ヒタキ旨御言葉アリ充分御発言アリタキ旨奏上ス	〃	LF/E/1190
	1191	真珠湾抜萃 来栖大使→山本「アメリカ」局長電話	〃	LF/E/1191
係	1192	1941.1.1.29 東京日日ヨリ抜萃 新聞ノ戦時体制ヘノ切換ヘ	〃	LF/E/1192
	1193	1941.1.1.28 東郷外相→野村大使電(米側対策ニ対スル措置振リノ件)	21.1.1.4 (111)	LF/E/1193
	1194	1941.1.1.29 東京→ワシントン電(傍受電)	〃	LF/E/1194

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
日	1195	1941.1.130 東郷外相→野村大使電	21.1.14 (111)	LF/E/1195
	1196	1941.1.129 木戸日記抜萃 陛下重臣ノ意見ヲ御聴取	//	LF/E/1196
	1197	1946.3.26 永野被告訊問調書	//	
	// A	同上 抜萃 真珠湾攻撃計画ニ賛成ノ時機11末	//	LF/E/1197A
	1198	1941.1.130 木戸日記抜萃 日米開戦ニ関スル総長海相ノ所信奉答ノ件	//	LF/E/1198
英	1199	1941.1.130 東郷外相→大島大使電	//	LF/E/1199
	1200	1941.1.130 来栖大使・山本局長間電話会談(傍受電)	//	LF/E/1200
	1201	1946.2.20 東条被告訊問調書	//	
米	// A	同上 抜萃 11末, 最後通牒手交ト攻撃実施ノ先後ニ対スル陛下ノ御懸念	//	LF/E/1201A
	1202	1946.3.18 東条被告訊問調書	//	
関	// A	同上 抜萃 最後通牒承認ニ関スル責任	//	LF/E/1202A
	1203	1946.2.21 東条被告訊問調書	//	
	// A	同上 抜萃 最後通牒発出ノ時機	//	LF/E/1203A
係	1204	1946.2.19 東条被告訊問調書	//	
	// A	同上 抜萃 最後通牒ト国際条約	//	LF/E/1204A
	1205	1946.2.18 東条被告訊問調書	//	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
日	1205A	1946.2.18 東条被告訊問調書抜萃 最後通牒ト自衛権	21.1.14 (111)	LF/E/1205A
	1206	1946.3.26 東郷被告訊問調書	〃	
	〃 A	同上 抜萃 最後通牒ニ対スル責任局面打開ノ請訓ニ対スル外相ノ見解	〃	LF/E/1206A
	1207	1946.3.11 東郷被告訊問調書	〃	
英	〃 A	同上 抜萃 最後通牒作成ノ責任	〃	LF/E/1207A
	1208	1941.1.21 東京→ワシントン電(傍受信)(「ルーズベルト」大統領ノ急速帰還ノ真情調査ノ訓令)	〃	LF/E/1208
	1209	1946.2.8 東条被告訊問調書	〃	
	〃 A	同上 抜萃 12.1 御前会議出席者ノ件	〃	LF/E/1209A
米	1210	1941.1.21 木戸日記抜萃 御前会議	〃	LF/E/1210
	1211	1941.1.22 東京→ハバナ電(傍受信)(暗号書焼却訓令)	〃	LF/E/1211
	1212	1941.1.23 東郷外相→野村大使電(米ノ覚書ニ対スル回答振りノ件)	〃	LF/E/1212
	1213	1941.1.23 ワシントン→東京電(傍受信)(米ノ覚書ニ対スル請訓ノ件)	〃	LF/E/1213
関	1214	1941.1.24 東京→新京電(同上)(日米開戦時満洲国ノ執ルベキ態度)	〃	
	1215	書証番号58号抜萃 1941.1.25 野村大使→「ハル」國務長官声明(仏印ニ於ケル軍隊移動ニ関スル覚書ニ対スル回答)	〃	LF/E/1215
	1216	1941.1.26 東郷外相→野村大使電(対米覚書発出ノ件)	〃	LF/E/1216
	1217	同上 (枢密保持ノ件)	〃	LF/E/1217
係				

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
日	1218	1941.1.27 東京→ワシントン電(傍受信)(覚書手交時刻指示ノ件)	21.1.14(111)	LF/E/1218
	1219	1941.1.27 東京→回電(同上)(日米開戦時中国ニ於テトルベキ処置)	〃	LF/E/1219
	1220	1941.1.27 木戸日記抜萃 星野書記官長ト対米英戦ニツキ打合ス	〃	LF/E/1220
	1221	書証番号58号抜萃 1941.1.26 「ルーズベルト」大統領→「ハル」長官書(視電発出ノ訓令)	〃	LF/E/1221
英	1222	1941.1.26,7,8 間ノ重要事件発生時間表	〃	LF/E/1222
	1223	1941.1.2,7,8 ノ東京規準東方ヘ向ッテノ比較時間表	〃	LF/E/1223
	1224	1946.6.23 「グルー」元大使ノ宣誓口述書(親電ヲ外相ヲ通ジ奉呈セントセル経緯)	〃	LF/E/1224
米	1225	1946.8.18 白尾干城ノ宣誓口述書(「ルーズベルト」親電遅配ノ事情)	〃	LF/E/1225
	1226	1941.1.26,7 白尾干城ノ日記抜萃	21.1.15(112)	LF/E/1226
	1227	1946.3.27 「フレデリックス・チャールズ・パーハ」宣誓口述書(ベトレル撃沈)	〃	LF/E/1227
	1228	「エドワード」オースチン・グラウダー少佐宣誓口述書(同上ニヨル死亡者ノ件)	〃	LF/E/1228
関係	1229	「バーンバル」將軍ノ宣誓口述書(マライ上陸)	〃	LF/E/1229
	1230	英空軍中佐「ウィリアム・フランクリン」宣誓口述書(同上ニヨル戦死者ノ件)	〃	LF/E/1230
	1231	英外務次官「O.G.サージェント」宣誓口述書(開戦前ノ日英外交関係)	〃	LF/E/1231
	1232	書証番号58号抜萃 1941.1.27 国務省会談記録(日本大使ノ対米覚書手交ノ情况)	〃	LF/E/1232
	1233	「バーンズ」国務長官宣誓口述書(開戦前ノ日米外交関係)	〃	LF/E/1233

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
日	1234	館野守男宣誓口述書(128朝ノ大本営発表ノ件)	21.1.15 (112)	LF/E/1234
	1235	1941.1.28 放送録音盤(大本営発表)	〃	
	〃 A	同上ノ翻訳文(同上)	〃	LF/E/1235A
	〃 B	1941.1.28 日本放送協会ノ放送記録(128ノ放送セル内容)	〃	
	〃 C	同上抜萃(同上中ノ抜萃)	〃	LF/E/1235C
英	1236	「クレーギー」口供書(128朝覚書受領時ノ情况)	21.1.18 (113)	LF/E/1236
	1237	米水兵長属「ソーダース」口供書(グァム攻撃)	〃	LF/E/1237
	1238	英陸軍少将「モルトビ」口供書(香港攻撃)	〃	LF/E/1238
	1239	1941.1.28 木戸日記抜萃「ルーズベルト」親電 対策詔書漁発	〃	LF/E/1239
米	1240	開戦詔書	〃	LF/E/1240
	1241	1941.1.28 枢密院審査委員会記録(開戦決定ノ件)	〃	LF/E/1241
	1242	1941.1.28 「ベルリン」→東京電(独ノ対米参戦ノ件)	〃	LF/E/1242
	1243	1946.1.2.2 東条被告訊問調書	〃	
関	〃 A	同上抜萃 真珠湾攻撃ノ責任者	〃	LF/E/1243A
	1244	1946.3.1 東条被告訊問調書	〃	
	〃 A	同上抜萃 真珠湾攻撃其ノ他ヲ知レル時期	〃	LF/E/1244A

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号		
日	1245	「バレンタイン」口供書(日米交渉経緯)	21.11.18 (113)	LF/E/1245		
	" A	1941.6.21 米国側対案全文 1941.5.12 日本側提案 } 相異点表 1941.6.21 米国側対案	"	LF/E/1245A		
	" B	1941.8.27 近衛首相→「ルーズベルト」覚書	"	LF/E/1245B		
	" C	1941.9.3 「ルーズベルト」→近衛首相覚書	"	LF/E/1245C		
	" D	1941.9.6 日本側提案	"	LF/E/1245D		
	英	" E	1941.9.25 同上	"	LF/E/1245E	
		" F	1941.9.22 日華和平基礎条件	"	LF/E/1245F	
		" G	1941.1.02 「ハル」野村大使口頭覚書(米基本四原則)	"	LF/E/1245G	
	米	" H	1941.1.120 野村大使→「ハル」長官 日本側提案乙案	21.11.19 (114)	LF/E/1245H	
		" I	1941.1.126 「ハル」長官→野村大使 米側提案	"	LF/E/1245I	
		関	" J	1941.1.26 「ルーズベルト」大統領ノ陛下宛親電	"	LF/E/1245J
			" K	1941.1.27 対米通牒覚書	"	LF/E/1245K
			1246	1941.1.17 野村大使→「ハル」日本軍隊処理案(甲案中ノ駐兵問題ノミヲ取上ゲタルモノ)	21.11.20 (115)	
係	1247	1941.1.28 真珠湾調査委員会報告書抜萃 「グルー」ト東郷トノ会見「ルーズベルト」大統領ノ親電ニ対スル思召シ	21.11.21 (116)			
	1248	1934.4.28 天羽非公式声明ヲ含ム天羽氏ノ手帖(識別証拠)	"			
	1249	「リチャードソン」大将陳述書(艦船(特ニ空母)ノ建造, 南洋防備諜報, 真珠湾攻撃)	21.11.25 (118)	LF/E/1249		

立証 段階	書証 番号	書証名(内容要旨)	法廷提出 年月日 (公判日次)	請求記号
日	1250	1934.10.29 日米代表会談記録(ロンドン会議ニ 関スル米海軍記録)	211125 (118)	LF/E/1250
	1251	国務省会議記録第29号「1935年ロンドン軍縮 会議」	〃	LF/E/1251
	〃 A	同上 抜萃 永野全権ノ声明	〃	LF/E/1251A
	1252	機密GF 命令作第1,2,7号	〃	
英	1253A	1942.1.30 「ヴォッジェ」島偵察写真	〃	LF/E/1253A
	〃 B	同上	〃	LF/E/1253B
	〃 C	1940.8.30 「ヴォッジェ」島青写真	〃	LF/E/1253C
米	1254	軍施設及航船ノ行動ニ関スル日本ノ通報	〃	
	〃 A	同上抜萃 1941.9.24 東京→ホノルル電(艦船行 動通報ノ件)	〃	LF/E/1254A
	1255	1941.1.27 攻撃後ノ真珠湾見取図	〃	LF/E/1255
関 係	1256	書証番号1254号抜萃 1941.1.15 東京→ホ ノルル電(艦船行動通報ノ件)	〃	LF/E/1256
	1257	同上 1941.1.18 ホノルル →東京電	〃	LF/E/1257
	1258	同上 1941.1.22 東京→ホ ノルル電	〃	LF/E/1258
	1259	1942.1.1 「オッター・キューン」ノ口述書 (艦船行動通報ノ件)	〃	LF/E/1259
	1260	1942.1.3 同上 (同上)	〃	LF/E/1260
	1261	1941.1.23 ホノルル→東京電(同上)	〃	LF/E/1261

立証 段階	証 書 番 号	書 証 名 (内 容 要 旨)	法廷ニ提出 年 月 日 (公判日次)	請 求 記 号
日	1262	1941.1.25 ホノルル→東京電(艦船行動通報ノ件)	21.1.25 (118)	LF/E/1262
	1263	1941.1.26 同 上 (同 上)	//	LF/E/1263
	1264	同 上	//	LF/E/1264
	1265	1945.12.1 SCAP作成「真珠湾作成」	//	LF/E/1265
英	1266	1941.12.10 枢密院審査委員会議事録(単独不媾和協定)	21.1.26 (119)	LF/E/1266
	1267	同 上 本会議々事録(同上)	//	LF/E/1267
	1268	1941.1.2.16 木戸日記抜萃 近衛公トノ会談	//	LF/E/1268
米	1269	1941.1.2.18 同 上 東条首相トノ会談	//	LF/E/1269
	1270	国際法協会編「大東亜戦争関係国際法問題」	//	
	" A	同上抜萃 国際法ト開戦通告トノ関係……自衛権	//	LF/E/1270A
関	1271	1942.1.29 「オット」→ベルリン電(東条,本郷,鈴木,三大臣ノ議會演説ニ関聯)	//	LF/E/1271
	1272	1942.5.17 「オット」→ベルリン電(日独伊同盟功勞者ニ勲章贈与ノ件)	//	LF/E/1272
係	1273	1942.9.1 木戸日記抜萃 大東亜省設置ニ関シ東条東郷ノ衝突	21.1.27 (120)	LF/E/1273
	1274	1943.5.13 同 上 重光「スターマー」会見独ニ連絡員派遣ノ要アリ	//	LF/E/1274
	1275	1943.8.18 日泰条約締結ニ関スル枢密院審査委員会議事録	//	LF/E/1275
	1276	1944.1.6 木戸日記抜萃 対米英媾和ニ対スル見通シ	//	LF/E/1276

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
日英米関係	1277	1944.7.17 木戸日記抜萃 東条内閣崩壊前ノ事情	21.1.27 (120)	LF/E/1277
	1278	1944.7.18 同上 東条内閣総辞職	〃	LF/E/1278
	1279	1944.7.19 同上 近衛ヨリ小磯,米内聯立案ノ具申アリ	〃	LF/E/1279
	1280	1944.7.20 同上 重臣会議小磯氏ニ大命降下	〃	LF/E/1280
	1281	1945.4.4 同上 小磯首相ノ辞意表明	〃	LF/E/1281
	1282	1945.4.5 同上 鈴木大将ニ大命降下	〃	LF/E/1282
	1283	1945.8.9 同上 ポツダム宣言受諾ニ関スル最高戦争指導会議ノ決定	〃	LF/E/1283
日蘭関係	1284	1940 有田外相 新聞記者ニ回答(蘭印ノ現状維持希望)	21.12.3 (123)	LF/E/1284
	1285	1940.5.11 日本政府公式声明(蘭印現状維持希望)	〃	LF/E/1285
	1286	1940.5.13,15,16 情報部発表(英,仏,日本声明ニ賛成)	〃	LF/E/1286
	1287	1940.5.11 米國務省新聞発表(日本声明ニ賛成)	〃	LF/E/1287
	1288	1940.5.16 「ハル」覚書(日本大使トノ会談)	〃	LF/E/1288
	1289	1941.3.24 駐ソ米大使→ハル電(松岡ハ南方ニ領土的野心ナシト云ヘリ)	〃	LF/E/1289
	1290	橋本著「青年ニ贈ル」	〃	
	〃 A	同上 抜萃	〃	LF/E/1290A
1291	1938.1.13 日本政府公式声明(大東亜安定ニ関シ)	〃	LF/E/1291	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
日	1292	1940.6.22 「ハル」→「グルー」電(大平洋現状維持条約)	21.12.3(123)	LF/E/1292
	1293	1940.6.24 「グルー」覚書(有田外相ト会談)	〃	LF/E/1293
	1294	1940.6.27 木戸日記抜萃 日米条約=関シ	〃	LF/E/1294
	1295	1940.7.1 同 上 同 上	〃	LF/E/1295
	1296	1940.6.28 有田外相→「グルー」口頭声明 同 上	〃	LF/E/1296
	1297	第二次近衛内閣基本国策要綱	〃	LF/E/1297
蘭	1298	1940.8.10 木戸日記抜萃 伏見総長談話	〃	LF/E/1298
	1299	1940.10.27 読売新聞	〃	
	〃 A	同 上 抜萃 大島論文	〃	LF/E/1299A
関	1300	1941.1.22 松岡外相ノ演説(蘭印ハ共栄圈内)	〃	LF/E/1300
	1301	附 属 証 明 書	〃	
係	1302	1941.1.28 松岡外相→吉沢使節長電(共栄圏ハ日本ガ指導ス)	〃	LF/E/1302
	1303	1941.2.1 木戸日記抜萃 両総長南方施策奏上	〃	LF/E/1303
	1304	1941.3.21 「ウィーブル」→「リップントロップ」松岡外相トノ会談覚書(ドイツ文)	〃	LF/E/1304
	1305	1941.4 上旬(大本営決定)南方施策=関スル陸海軍決定骨子	〃	LF/E/1305
	1306	1941.6.25 (同 上)南方施策促進=関スル件	〃	LF/E/1306

立証段階	書証番号	書証名（内容要旨）	法廷ニ提出年月日（公判日次）	請求記号
日 蘭 関 係	1307	日蘭仲裁条約ニ関スル常設調定委員会ニ関スル件	21.12. 4 (124)	LF/E/1307
	1308	蘭印副総督「モーク」博士口供書	〃	LF/E/1308
	1309	「モーク」著「日蘭印紙上戦」	〃	LF/E/1309
	1310	世界情勢ノ推移ニ伴フ時局処理要綱骨子（1940.7.27 連絡会議決定）	〃	LF/E/1310
	1311	1940.8.中旬 対蘭印要求草案	〃	LF/E/1311
	1312	1940.9.13 小林経済使節団長→松岡外相電（総督トノ会見報告）	〃	LF/E/1312
	1313	1940.10.18 同 上（経済勢力ヲ植エヨ）	〃	LF/E/1313
	1314	1940.9.3 松岡外相→斎藤バタバヤ総領事電（買油問題）	〃	LF/E/1314
	1315	1940.9.18 小林使節団長→松岡外相電（同 上）	〃	LF/E/1315
	1316	1940.10.25 斎藤代表→松岡外相電（油田ハ軍事的ニセヨ）	〃	LF/E/1316
	1317	1940.10.25 閣議決定 対蘭印経済進出ニ対スル施策	〃	LF/E/1317
	1318	1941.1.27 芳沢代表→松岡外相電（蘭印共栄圏ヲ否定）	〃	LF/E/1318
	1319	1941.2.6 同 上（武力行為必要）	〃	LF/E/1319
	1320	1941.3.28 近衛首相→芳沢代表電（交渉継続セヨ）	〃	LF/E/1320
1321	1941.5.23 松岡外相→芳沢代表駐英米大使電（独ニ「ゴム」ヲ送ラズ）	〃	LF/E/1321	
1322	1941.6.7 芳沢代表→松岡外相電（交渉決裂止ムヲ得ズ）	〃	LF/E/1322	

立証段階	書証番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
日 蘭	1323	1941.6.14 松岡外相→芳沢代表電(交渉終止)	21.12.4 (124)	LF/E/1323
	1324	昭18年 日本年鑑	//	
	// A	同上 抜萃 蘭印発表	//	LF/E/1324A
	1325	1941.10.27 蘭印ニ於ケル日本牒報組織	//	LF/E/1325
	1326	蘭印ニ於ケル日本ノ破壊工作	//	
	// A	1938.5.30 日本人書翰	//	LF/E/1326A
	// B	1938.1.22.4 同上	//	LF/E/1326B
	// C	1935.3.15 同上	//	LF/E/1326C
	// D	1939.5.20 同上	//	LF/E/1326D
	// E	1940.5.30 同上	//	LF/E/1326E
関 係	1327	1941.9.2 在「バタビヤ」総領事→東京(傍受電) (蘭印ハ反日的)	//	LF/E/1327
	1328	1941.10 下旬 連絡会議質問一覧表(外務省)	//	LF/E/1328
	1329	同上 返答	//	LF/E/1329
	1330	1941.1.1.29 在「バタビヤ」総領事→在蘭各領事 電(各国船舶行動調査)	//	LF/E/1330
	1331	企画院 第六委員会規定	21.12.5 (125)	LF/E/1331
	1332	1941.1.2.1.2 同上 第1回報告(南方経 済対策要綱)	//	LF/E/1332

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
日	1333	1941.1.2.14 中立国ニ対スル政策其ノ他ノ問題(外務省)	21.12. 5 (125)	
	〃 A	同上 抜萃 南方地域処理要綱案	〃	LF/E/1333A
	1334	書証番号679号抜萃 1942.2.3 大東亜戦争ニ於ケル占領地域処理要綱案	〃	LF/E/1334
	1335	書証番号689号抜萃 東亜建設第一期方策案(総力戦研究所)	〃	LF/E/1335
	1336	書証番号688号抜萃 大東亜共栄圏建設原案草稿(同上)	〃	LF/E/1336
	1337	1942.1.1.2 帝国政府声明(蘭印上陸)	〃	LF/E/1337
蘭	1338	帝国議会議事速記録(識別証拠)	〃	
	〃 A	1942.1.2.2 同上抜萃 東郷外相演説(共栄圏ニ就キ)	〃	LF/E/1338A
	〃 B	同上抜萃 東条首相演説(同上)	〃	LF/E/1338B
関	1339	蘭陸軍大尉「G.L. デルホフラーイン」口供書(対「バリックバパン」最后通牒)	〃	LF/E/1339
	1340	蘭陸軍大佐「G.L. デン ホーヘンバント」口供書(同上)	〃	LF/E/1340
	1341	「J.T. ハン アステル」口供書(「バリックバパン」虐殺)	〃	LF/E/1341
	1342	蘭予海軍大尉「A.F. ビーヘルセリ」口供書(降伏会議)	〃	LF/E/1342
係	1343	1943.8.11 聯合軍翻訳通訳部報告	〃	
	〃 A	同上抜萃 蘭印降伏会議記事(大阪毎日)	〃	LF/E/1343A
	1344	第二次世界大戦ニ於ケル蘭印ハ統治及帰属(外務省)	〃	LF/E/1344

立証 段階	書証 番号	書証名 (内容要旨)	法廷ニ提出 年月日 (公判日次)	請求記号
日 蘭 関 係	1345	昭和8年日本年鑑抜萃 1943.6.16 東条首相演説 (対蘭印政策)	21.12.5 (125)	LF/E/1345
	1346	1943.1.16 大東亜共同宣言 同会議々事録 (同上)	〃	
	1347	大東亜民族会議各代表演説集(識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 1943.1.15 東条首相演説	〃	LF/E/1347A
	1348	1944.9.2 東印度独立施策ニ関スル件(外務省)	〃	LF/E/1348
	1349	1945.7.17 東印度独立処置ニ関スル件(同上)	〃	LF/E/1349
	1350	1945.7.17 同上(最高戦争指導会議第27号)	〃	LF/E/1350
	1351	蘭予砲兵少佐「クライヌ・フェールト」口供書 (日本ノ蘭印占領)	21.12.6 (126)	LF/E/1351
	1352	1944.9.7 東印度独立許容ニ関スル処置(オサム 集団長)	〃	LF/E/1352
	1353	1944.9.7 東印度独立許容ニ関シテ宣伝強化基本 要領(軍政監部)	〃	LF/E/1353
1354	総力戦研究所発行図書目録	21.12.10 (128)	LF/E/1354	
日 比 関 係 (比島ニ於ケルB・C級犯罪)	1355	法務部報告(比島ノ残虐行為)	〃	LF/E/1355
	1356	比島地図	〃	LF/E/1356
	1357	1946.7.9 於比島死亡人員数(米陸軍法務部)	〃	LF/E/1357
	1358	於比島死亡人員図表(米陸軍省)	〃	LF/E/1358
	1359	法務部報告(1945.2.10「マニラ」ニ於ケル残虐 行為)	〃	LF/E/1359

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
日 比 関 係 (比島ニ於ケルB C級犯罪)	1360	法務部報告(1945.2.17「マニラ」ニ於ケル残虐行為)	21.12.10(128)	LF/E/1360
	1361	同上(1945.2.9 同上)	〃	LF/E/1361
	1362	「バシリオ・ウマガット」口供書(1945.2 同上)	〃	LF/E/1362
	1363	法務部報告(1945.2.7~10 同上)	〃	LF/E/1363
	1364	ニーナ・アルバン証言(本間裁判)(1942.6.7 同上)	〃	LF/E/1364
	1365	法務部報告(1945.2.7~10 同上)	〃	LF/E/1365
	1366	ロザリオ証言(山下裁判)(1945.2.7~10 同上)	〃	LF/E/1366
	1367	アンドイ証言(山下裁判)(1945.2 同上)	〃	LF/E/1367
	1368	法務部報告(1945.2 同上)	〃	LF/E/1368
	1369	同上(1945.2.7 同上)	〃	LF/E/1369
	1370	同上(1945.2末 バタンガス州リパ市ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1370
	1371	同上(1945.3.5 同上)	〃	LF/E/1371
	1372	「アポリナリア・ナヴァロ」口供書(1945.2~3 バタンガス州サント・トマス郡スラク村ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1372
	1373	法務部報告(1945.2.11 バタンガス州「サント・トマス」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1373
	1374	同上(1945.2.28 バタンガス州「ポーアン」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1374
1375	同上(1945.2.16 バタンガス州「タール」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1375	

立証段階	証番号	証名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
日 比 関 係 (比島ニ於ケルB・C級犯罪)	1376	法務部報告 (1941.2.6,13 バタンガス州「エンカ」ニ於ケル残虐行為)	21.1.21.0 (128)	LF/E/1376
	1377	同上 (1945.1.2,3 バタンガス州「サンノゼ」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1377
	1378	同上 (1945.3.13 バタンガス州「ロサリオ」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1378
	1379	同上 (1945.7 カガヤン州ガンサガ郡「タベル」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1379
	1380	同上 (1945.2 ラグナ州カラウアン町ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1380
	1381	「ホセ・ハバナ」証言 (山下裁判) (1945.2.12 ラグナ州「キャランバ」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1381
	1382	法務部報告 (1945.4.15 マウンテン州ナニピル村ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1382
	1383	同上 (1944.11 アブラ州バングエッド郡アングアド部落ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1383
	1384	バスコ市長証言 (山下裁判) (1945.5~9 バタネス島「バスコ」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1384
	1385	法務部報告 (1945.3.19 バンガシナン州「アラミノス」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1385
	1386	同上 (1944.1.29 セブ州「ダブダブ」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1386
	1387	同上 (1945.8 初旬イロコス・スア州セルパンテス残虐行為)	〃	LF/E/1387
	1388	「インドロ・カルバス」口供書 (1944.8.19 セブ島「コルドヴァ」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1388
	1389	法務部報告 (1944.8.11 セブ島「ボゴ」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1389
1390	同上 (1944.8 セブ島「ドマンジャグ」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1390	
1391	同上 (1943.7 サマール島「カルバヨグ」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1391	

立証 段階	書証 番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出 年月日 (公判日次)	請求記号
日 比 関 係 (比島ニ於ケルB・C級犯罪)	1408	法務部報告(1943.3.23頃ザンボンガ市サン・ロケイ、シチオ・ピッテー部落ニ於ケル残虐行為)	21.12.11 (129)	LF/E/1408
	1409	同上(1944.10頃オリエンタル・ミサミス州バリガサグ、マンダムボグ、ウマゴス部落ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1409
	1410	同上(1945.3上旬ミンダナオ島アグサン州「パッワン」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1410
	1411	同上(1944.6.7ミンダナオ島「ピラヤン」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1411
	1412	同上(1941.12.10~1945.4「イロコス・ズル」ノ「ヴィガン」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1412
	1413	同上(1942.1~1945.2サンチャゴ要塞ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1413
	1414	「ジャスティナ・マンリシック」証言(山下裁判)(1945.2.10「バタンガス」ノ「タナウアン」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1414
	1415	法務部報告(1944.6~1945.3「ネグロス・オリエンタル」ノ「ドマゲーテ」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1415
	1416	同上(1945.2~3「ネグロス・オクシデンタル」ノ「パコロド」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1416
	1417	「レオノラ・パラチオ・ヴィラス」口供書(1942.2中旬レイテ島「パロ」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1417
	1418	「タヤンボン・チャグサ」口供書(1943.3.13マウンテン州「カバヨ」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1418
	1419	法務部報告(1942.5イロイロ市地方刑務所ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1419
	1420	「ヘンリー・キーズ」口供書(マニラ残虐行為) (識別証拠)	〃	LF/E/1420
	1421	法務部報告(1945.2.9~11「マニラ」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1421
1422	「エスサー・ガルシヤ・モラス」口供書(同上)	〃	LF/E/1422	
1423	「ネナ・アルバン」証言(本間裁判)(1942.1.3同上)	〃	LF/E/1423	

立証 段階	証 書 番 号	証 書 名 (内 容 要 旨)	法廷提出 年月日 (公判日次)	請求記号
日 比 関 係 (比島ニ於ケルB、C級犯罪)	1424	「アポリナリヤ・ドウエ・トウアゾン」証言(本間裁判) (1942.2.2「マニラ」ニ於ケル残虐行為)	21.12.11 (129)	LF/E/1424
	1425	「セレスティナ・デ・ラ・ローサ」証言(本間裁判)(1942.1 1 バタアン州バンシック村ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1425
	1426	ケソン市警察副署長証言(本間裁判)(1942.1 「マニラ」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1426
	1427	「フワン・エイエラ」証言(山下裁判)(1945.2.7 「カタンガラン・オバンド」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1427
	1428	法務部報告(1945.9「バリリハン」ノ「シカツナ」及ビ 「ホホール」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1428
	1429	「フランシスカ・ベルナルド・デルナ」証言(本間裁判) (1942.1.10 タラベラ市サンパロク部落ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1429
	1430	「ビセンテ・アリアス」証言(山下裁判)(1945.2 2「マニラ」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1430
	1431	法務部報告(1941.12.27 マニラ爆撃)	〃	LF/E/1431
	1432	「ドミナドール・サントス」証言(山下裁判) (1945.2.4「マニラ」ニ於ケル残虐行為)	〃	LF/E/1432
	1433	「アルマンド・アルバレツ」証言(山下裁判) (1945.2 同 上)	〃	LF/E/1433
	1434	「ローザ・カラロンゲ」証言(山下裁判) (1945.2.5 同 上)	〃	LF/E/1434
	1435	「ジュリアン・ビー・ジュアン」証言(山下裁判) (1945.2.14 同 上)	〃	LF/E/1435
	1436	1946.9.27 「マニラ」国勢統計復興局長報告 於 比島有形無形損害	〃	LF/E/1436
	1437	1946.1.8 米陸軍報告 比島市民ノ殺害	〃	LF/E/1437
1438	聯合軍翻訳通訳部報告	〃		
〃 A	同上抜萃1944.11.23~1945.2.14「マニ ラ」海軍防備隊オヨビ南西方面艦隊ノ作戰命令集	〃	LF/E/1438A	

立証段階	証書番号	証書名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
日 比 関 係 (比島ニ於ケルB・C級犯罪)	1438B	聯合軍翻訳通訳部報告抜萃 山口准尉日記	21.12.11 (129)	LF/E/1438B
	1439	陸軍兵ノ日記(虐殺ニ関スルモノ)	〃	LF/E/1439
	1440	同 上	〃	LF/E/1440
	1441	同 上	〃	LF/E/1441
	1442	一部隊ノ報告(同 上)	〃	LF/E/1442
	1443	憲兵隊ノ書類(十四軍)(同 上)	〃	LF/E/1443
	1444	一兵士ノ日記(同 上)	〃	LF/E/1444
	1445	同 上	〃	LF/E/1445
	1446	一部隊命令(1944.1.1.18付通牒 人肉ヲ食セルモノハ死刑トス)	〃	LF/E/1446
	1447	柳沢上等兵口供書(人肉ヲ食スルトモ戦ヘト訓示サル)	〃	LF/E/1447
	1448	「キング」少将口供書(バタン降伏ニ関シ)	〃	LF/E/1448
	1449	本間裁判ノ一証言(バタンニ於ケル比島人ノ死傷)	〃	LF/E/1449
	1450	法務部報告(オダネル収容所関係)	〃	LF/E/1450
	1451	同 上(コレヒドール砲撃ニ関シ)	〃	LF/E/1451
	1452	同 上(コレヒドール捕虜虐待)	〃	LF/E/1452
1453	ストロホーム口供書(ニコルス囚拷問)	〃	LF/E/1453	

立証段階	証号	書証名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
日比関係 (比島ニ於ケルB・C級犯罪)	1454	法務部報告 (1942.7.4 ミンダナオ死ノ行進)	21.12.12 (130)	LF/E/1454
	1455	同上 (1944.10.14 ポートプリンセサ残虐行為)	〃	LF/E/1455
	1456	「チャールズ・ブラウン」少佐口述書 (1942年 タヤバス州ニ於ケル米俘虜病人ニ対スル虐待)	21.12.13 (131)	LF/E/1456
	1457	法務部報告 (1944.6.6~6.24 タバオ→マニラ俘虜輸送船ニ於ケル虐待)	〃	LF/E/1457
	1458	同上 (1942.5~1945.2「ビリビット」監獄ニ於ケル虐待)	〃	LF/E/1458
	1459	同上 (1942.9~1943.5「カバナッツアン」収容所ニ於ケル虐待)	〃	LF/E/1459
	1460	同上 (1942.5~1942.6「カバン」ニ於ケル虐待)	〃	LF/E/1460
	1461	同上 (1945.3.26「セブ」ニ於ケル米塔乗員俘虜殺害)	〃	LF/E/1461
	1462	押収パンフレット (識別証拠)	〃	LF/E/1462
	〃 A	同上抜萃 訪問方法ニ関スル日本軍ノ指令	〃	
	1463	1943.9 陸軍工化学校発行「地雷発見及処理ニ関スル件」	〃	LF/E/1463
	1464	某年2.5 第十六師団長ノ訓示	〃	LF/E/1464
	1465	1944.4.3~24 俘虜取扱ニ関スル訓令 (タクロバン憲兵隊ニテ押収)	〃	LF/E/1465
	1466	鳥井部隊所属隊員ノ手記「ムンテグロッパ」監獄訪問ノ記	〃	LF/E/1466
1467	「センダスキー」氏ノ以下文書ニ対スル証明書	〃	LF/E/1467	
1468	1941.12.18 米政府→日本政府通牒 (寿府条約ノ適用希望)	〃	LF/E/1468	

立証段階	書証番号	書証名 (内容要旨)	法廷ニ提出年 月 日 (公判日次)	請求記号
日比関係 (比島ニ於ケルB・C級犯罪)	1469	1942.2.4 日本政府→米国政府通牒 (寿府条約ノ適用希望ニ対スル回答)	21.1.2.13 (131)	LF/E/1469
	1470	1942.2.14 米国政府→日本政府通牒 (比島抑留者ノ待遇ニ関シ)	〃	LF/E/1470
	1471	1942.2.24 日本政府→米国政府覚書 (同上回答)	〃	LF/E/1471
	1472	1942.2 同 上	〃	LF/E/1472
	1473	1942.3.19 米国政府→日本政府覚書 (米国ニ抑留中ノ日本人ニ対スル給食状況)	〃	LF/E/1473
	1474	1942.4.3 同 上 (赤十字社員比島派遣ノ件)	〃	LF/E/1474
	1475	1942.5.21 同 上 (寿府条約ノ適用要求)	〃	LF/E/1475
	1476	1942.1.1.17 同 上 (比島ニ於ケル婦女子ノ強姦ニ対スル抗議)	〃	LF/E/1476
	1477	1942.12.12 同 上 (俘虜虐待ニ対スル抗議)	〃	LF/E/1477
	1478	1943.4.5 同 上 (戦争法規違反ニ対スル警告)	〃	LF/E/1478
	1479	1944.2.5 同 上 (俘虜, 抑留者虐待ニ対スル協議)	〃	LF/E/1479
	1480	1944.6.21 同 上 (スイス代表ノ日本抑留所訪問希望)	〃	LF/E/1480
	1481	1944.9.11 同 上 (抑留者ニ対スル処置ニ関スル抗議)	〃	LF/E/1481
	1482	1945.3.10 同 上 (俘虜虐待ニ対スル抗議)	〃	LF/E/1482
	1483	1945.4.6 同 上 「サント・トーマス」ニ於ケル米市民4名殺害ニ対スル抗議)	〃	LF/E/1483
1484	1945.5.19 同 上 「ロスバシ」収容所ニ於ケル比島兵虐殺ニ対スル抗議)	〃	LF/E/1484	

立証段階	証号	書証名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
日比関係 (比島ニ於ケルB・C級犯罪)	1485	1945.5.19 米国政府→日本政府覚書(「ポートプリンセサ」ニ於ケル米軍俘虜150名ノ虐殺ニ対スル抗議)	21.12.13 (131)	LF/E/1485
	1486	1945.6.8 同 上 (抑留者虐待ニ対スル警告)	〃	LF/E/1486
	1487	1945.7.31 同 上 (米国ニ抑留中ノ日本人ニ対スル給食状況)	〃	LF/E/1487
	1488	1944.1.24~1944.12.19 俘虜取扱ヒニ関スル聯合國ノ「ラヂオ」放送ノ外務省傍受記録	〃	LF/E/1488
	1489	鈴木九万口供書(米抗議受理方式)	21.12.16 (132)	LF/E/1489
戦争法規違反、人道ニ対スル罪(B 級犯罪)	1490	東郷外相通牒(赤十字協定ヲ準用)	〃	LF/E/1490
	1491	同 上(捕虜ノ国民性ヲ考慮ス)	〃	LF/E/1491
	1492	「スイス」公使→東郷外相(英国宛ノ文書ハ米ニモ適用スルヤ)	〃	LF/E/1492
	1493	東郷外相→「スイス」公使 同上返事	〃	LF/E/1493
	1494	「アルゼンチン」公使→東郷外相(英ハ「ジュネーブ」条約ヲ守ル)	〃	LF/E/1494
	1495	同 上 (英ハ捕虜ノ国民性ヲ考慮ス)	〃	LF/E/1495
	1496	東郷外相→「アルゼンチン」公使(同上ノ件ニ関シ日モ適用)	〃	LF/E/1496
	1497	シンガポール関係書証要約	〃	LF/E/1497
	1498~1554	「シンガポール」「マレー」関係B級犯罪口供書	〃	LF/E/1498~1554
	1555~1558	「ビルマ」方面ニ於ケルB級犯罪口供書	21.12.17 (133)	LF/E/1555~1558
1559~1578	泰緬鉄道建設地区(泰「ビルマ」ニ於ケルB級犯罪口述書)	〃	LF/E/1559~1578	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
戦争法規違反、人道ニ対スル罪(B 級犯罪)	1579~ 1585	ビルマ B級犯罪関係口供書	21.1.2.18 (134)	LF/E/1579~ 1585
	1586~ 1588	泰 同 上	〃	LF/E/1586~ 1588
	1589~ 1608	香 港 同 上	〃	LF/E/1589~ 1608
	1609~ 1622	アンダマン・ニコバル 同 上	〃	LF/E/1609~ 1622
	1623~ 1627	海 南 島 同 上	〃	LF/E/1623~ 1627
	1628~ 1630	台 湾 同 上	〃	LF/E/1628~ 1630
	1631~ 1632	同 上 B級犯罪関係口述書	21.12.19 (135)	LF/E/1631~ 1632
	1633~ 1653	海上輸送 同 上	〃	LF/E/1633~ 1653
	1654~ 1665	北ボルネオ及サラワク 同 上	〃	LF/E/1654~ 1665
	1666~ 1676	北ボルネオ(サンダカン、クチン) 同 上	21.1.2.20 (136)	LF/E/1666~ 1676
	1677	蘭印関係俘虜収容所状況一覧表	〃	LF/E/1677
	1678	1942.9.8 外務省→在京スウェーデン公使(俘虜及一般抑留者ノ取扱ニ関スル通牒)	〃	LF/E/1678
	1679	赤十字社→蘭政府報告(ジャバ捕虜ニ関シ)	21.1.2.23 (137)	LF/E/1679
	1680	斎藤陸軍少将口供書(ジャバ収容所長)	〃	LF/E/1680
	1681	中田陸軍大佐口供書(同 上)	〃	LF/E/1681
1682	1945.1.24 「スイス」公使→日外務省往復文書	〃	LF/E/1682 〔往文書〕	

立証段階	証書番号	証書名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
戦争法規違反、人道ニ対スル罪(B 級犯罪)	1683	1944.2.30 蘭政府→日政府捕虜虐待遇抗議文	21.12.23 (137)	LF/E/1683
	1684	同上回答	〃	LF/E/1684
	1685~ 1702	蘭領「ホルネオ」B級犯罪書証	〃	LF/E/1685~ 1702
	1703	「ジャバ」島B級犯罪ニ関スル証拠要約	21.12.24 (138)	LF/E/1703
	1704~ 1705	「ジャバ」島ニ於ケルB級犯罪口述書	〃	LF/E/1704~ 1705
	1706~ 1707	同上(俘虜ノ殺害)	21.12.26 (139)	LF/E/1706~ 1707
	1708~ 1712	同上(俘虜収容所ニ於ケル虐待)	〃	LF/E/1708~ 1712
	1713~ 1718	同上(逃亡逮捕セラレタル俘虜処刑)	〃	LF/E/1713~ 1718
	1719~ 1725	同上(民間抑留者ノ虐待,強姦)	〃	LF/E/1719~ 1725
	1726~ 1744	同上(各地域派遣ノ苦力ノ虐待)	〃	LF/E/1726~ 1744
	1745	1945.9.19 联合国側撮影「セレーター」附近ノ写真	〃	LF/E/1745
	1746~ 1761	ジャバ島ニ於ケルB級犯罪口述書(日本憲兵隊ニヨル拷問)	〃	LF/E/1746~ 1761
	1762	「ブラックバーン」准将口述書(「Nippon Presents」ノ説明)	〃	LF/E/1762
	1763	蘭印軍「ジム・ファン・デル・レーフ」少佐口述書(同 上)	〃	LF/E/1763
	1764	映画「Nippon Presents」台本	〃	LF/E/1764
1765 (A.B.C.D)	映画「Nippon Presents」4巻	〃		

立証段階	書証番号	書証名（内容要旨）	法廷提出年月日 （公判日次）	請求記号
戦争法規違反、人道ニ対スル罪 （比島ニ於ケルB・C級犯罪）	1766	「スマトラ」島ニ於ケルB級犯罪口述書（要約）	21.12.27 (140)	LF/E/1766
	1767～ 1768	同 上（捕虜殺害）	〃	LF/E/1767～ 1768
	1769～ 1771	同 上（収容所）	〃	LF/E/1769～ 1771
	1772～ 1778	同 上（一般民間人）	〃	LF/E/1772～ 1778
	1779	「チモール」及ピ小「スンダ」ニ於ケルB級犯罪口述書（要約）	〃	LF/E/1779
	1780～ 1784	同 上（捕虜殺害）	〃	LF/E/1780～ 1784
	1785～ 1787	同 上（収容所）	〃	LF/E/1785～ 1787
	1788～ 1795	同 上（一般民間人）	〃	LF/E/1788～ 1795
	1796	「セレベス」島ニ於ケルB級犯罪口述書（要約）	〃	LF/E/1796
	1797～ 1803	同 上（捕虜殺害）	〃	LF/E/1797～ 1803
	1804～ 1805	同 上（収容所）	〃	LF/E/1804～ 1805
	1806～ 1809	同 上（捕虜ノ死刑）	21.12.30 (141)	LF/E/1806～ 1809
	1810～ 1812	同 上（一般民間人収容者）	〃	LF/E/1810～ 1812
	1813～ 1816	同 上（同上非収容者）	〃	LF/E/1813～ 1816
	1817	「アンボン」島ニ於ケルB級犯罪口述書（要約）	〃	LF/E/1817
1818～ 1820	同 上（捕虜殺害）	〃	LF/E/1818～ 1820	

立証段階	証書番号	証書名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
戦争法規違反、人道ニ対スル罪(B 級犯罪)	1821~1831	「アンボン」島ニ於ケル B 級犯罪口述書(捕虜殺害)	22. 1. 2 (143)	LF/E/1821~1831
	1832	「ニューギニヤ」ニ於ケル B 級犯罪証拠要約	〃	LF/E/1832
	1833~1850	「ニューギニヤ」ニ於ケル B 級犯罪口述書報告書手記(俘虜, 殺害, 其他)	〃	LF/E/1833~1850
	1851	「ニューブリテン」島ニ於ケル B 級犯罪証拠要約	〃	LF/E/1851
	1852~1873	「ニューブリテン」島ニ於ケル B 級犯罪口述書裁判記録(俘虜及現地人, 中国人ノ殺害)	〃	LF/E/1852~1873
	1874	「ソロモン」「ギルバート」「ナウル」「オーシャン」ニ於ケル B 級犯罪証拠要約	〃	LF/E/1874
	1875~1879	「ソロモン」群島ニ於ケル B 級犯罪口述書(俘虜及中国人ノ殺害)	〃	LF/E/1875~1879
	1880	「タラワ」ニ於ケル B 級犯罪口述書(俘虜殺害)	〃	LF/E/1880
	1881~1882	「ナウル」ニ於ケル B 級犯罪口述書(同上)	〃	LF/E/1881~1882
	1883~1886	「オーシャン」島ニ於ケル B 級犯罪口述書(俘虜並土人殺害)	〃	LF/E/1883~1886
	1887	支那(含満洲)ニ於ケル書証要約	22. 1. 3 (144)	LF/E/1887
	1888~1915	支那(含満洲)ニ於ケル B 級犯罪書証	〃	LF/E/1888~1909 1911~1915
	1916~1955	日本内地ニ於ケル捕虜虐待書証	〃	LF/E/1916~1955
	1956	1917.1.29 東郷外相→「アルゼンチン」代公使通告(英加新ノ捕虜ニ対シ寿府条約準用)	〃	LF/E/1956
	1957	同上公式発表	〃	LF/E/1957
1958	陸軍省会議記録(1.寿府条約準用 2.捕虜ノ国民的性格尊重 3.非戦士ノ情報伝達ニ同意)	〃	LF/E/1958	

立証段階	書証番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
戦争法規違反、人道ニ対スル罪 (B級犯罪)	1959	永野被告死亡関係証明書	22. 1. 6 (145)	
	1960	1942.5.30 普通寺師団長ニ対スル東条陸相訓示	22. 1. 7 (146)	LF/E/1960
	1961	1942.6.3 捕虜監理部長発関係部隊宛通牒	〃	LF/E/1961
	1962	1942.6.25 新任收容所長ニ対スル東条陸相訓示 (内地, 台湾, 満洲)	〃	LF/E/1962
	1963	1942.7.7 同上 (比島, 東南各地)	〃	LF/E/1963
	1964	捕虜情報局1942年7月月報	〃	LF/E/1964
	1965	捕虜取扱諸法規類集	〃	LF/E/1965
	1966	第八十一議会ニ於ケル「捕虜処罰法」改正ノ説明	〃	LF/E/1966
	1967	1942.1.02 東部軍捕虜就労許可願	〃	LF/E/1967
	1968	9.1 台湾軍司令官→陸軍大臣電	〃	LF/E/1968
	1969	川崎, 横浜收容所就労状況報告 (神奈川県知事)	〃	LF/E/1969
	1970	満洲工作機械株式会社能力増加ニ関スル往復文書 (陸軍省→関東軍)	〃	LF/E/1970
	1971	内務省警事局外務課 1942年9月月報	〃	LF/E/1971
	1972	秘密警察 17年8月月例報告	〃	LF/E/1972
	1973	陸軍省 朝鮮軍往復文書 4通	〃	LF/E/1973
1974	1942.5.16 陸軍大臣ノ南方軍, 台湾軍, 朝鮮軍宛指令	〃	LF/E/1974	

立証 段階	書証 番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出 年月日 (公判日次)	請求記号
戦 争 法 規 違 反 、 人 道 ニ 対 ス ル 罪 (B 級 犯 罪)	1975	1942.10.13 朝鮮軍参謀長→陸軍次官 捕虜関係報告書	22. 1. 7 (146)	LF/E/1975
	1976	1942.9.9 朝鮮軍捕虜収容所諸規程報告	〃	LF/E/1976
	1977	1943.1.2.20 報道部長 検閲注意事項改定ノ件	〃	LF/E/1977
	1978	1945.3.17 次官通牒 情製ノ推移ニ応ズル捕虜処理要領	〃	LF/E/1978
	1979	21.3.14 東条被告訊問調書	22. 1. 8 (147)	LF/E/1979
	1980	21.3.25 同 上	〃	LF/E/1980
	1981	21.3.26 同 上	〃	LF/E/1981
	1982	21.3.27 同 上	〃	LF/E/1982
	1983	21.3.28 同 上	〃	LF/E/1983
	1984	21.3.29 同 上	〃	LF/E/1984
	1985	17.3.13 木戸日記抜萃 (「イーデン」ノ香港暴行事件放送)	〃	LF/E/1985
	1986	17.5.21 同 上 (本土空襲兵士処刑ニ関シ)	〃	LF/E/1986
	1987	17.1.0.3 同 上	〃	LF/E/1987
	1988	泰捕虜収容所長→捕虜情報局長官 月報	〃	LF/E/1988
	1989	若松元陸軍次官口供書	〃	LF/E/1989
1990	石田少将口供書	〃	LF/E/1990	

立証段階	書証番号	書証名（内容要旨）	法廷提出年・月・日（公判日次）	請求記号
戦争法規違反、人道ニ対スル罪（B級犯罪）	1991	捕虜トナレル敵兵士処罰ニ関スル件（支那派遣軍令）	22. 1. 8 (147)	LF/E/1991
	1992	同上（次官通牒）	〃	LF/E/1992
	1993	同上	〃	LF/E/1993
	1994	東海軍管区 敵兵士軍律会議調書	〃	LF/E/1994
	1995	中部軍管区 同上	〃	LF/E/1995
	1996	俘虜軍律処断見合セニ関スル陸軍次官通牒	〃	LF/E/1996
	1997	俘虜釈放ニ関スル陸軍次官通牒	〃	LF/E/1997
	1998	16.1.28~20.8.15 陸軍々法会議処刑俘虜一覧表	〃	LF/E/1998
	1999	1943.7.27 俘虜情報局長官一各部処罰セラレタル俘虜命名表ニ関スル件	22. 1. 9 (148)	LF/E/1999
	2000	終戦時書類焼却命令発布ニ関スル元陸軍省副官ノ証明書	〃	LF/E/2000
	2001	鹿児島憲兵隊発受信綴（識別証拠）	〃	
	〃 A	同上 抜萃（書類焼却ニ関スル命令）	〃	LF/E/2001A
	2002	書証番号2003~2015ニ対スル証明書	〃	
	2003	1942.6.5 俘虜管理部長一台湾軍参謀長（俘虜将校及准士官労役ノ件）	〃	LF/E/2003
	2004	1942.4.2 俘虜情報局長官一台湾軍参謀長（台湾ニ俘虜収容ノ件）	〃	LF/E/2004
2005	同上 台湾軍参謀長一情報局長官（同上返電）	〃	LF/E/2005	

立証段階	書証番号	書証名（内容要旨）	法廷提出年月日（公判日次）	請求記号
戦争法規違反、人道ニ対スル罪（B級犯罪）	2006	1942.4.2 台湾軍参謀長→香港総督府参謀長（台湾ニ俘虜送付ノ件）	22. 1. 9 （148）	LF/E/2006
	2007	1942.4.3 香港総督府参謀長→台湾軍参謀長（同上返電）	〃	LF/E/2007
	2008	1942.4.7 台湾軍参謀長→情報局長官（收容員数増加ノ件）	〃	LF/E/2008
	2009	1942.4.29 管理部長→台湾軍参謀長（同上返電）	〃	LF/E/2009
	2010	1942.5.6 陸軍省副官→台湾軍参謀長（白人俘虜労役使用ノ件）	〃	LF/E/2010
	2011	1945.8.20 東京收容所長→台湾軍参謀長（俘虜虐待ノ転属ノ件）	〃	
	2012	1945.3.17 台湾軍参謀長→各收容所長（俘虜取扱ニ関スル件）	〃	LF/E/2012
	2013	1945.3.17 「情勢ノ推移ニ伴フ俘虜処理要綱」	〃	LF/E/2013
	2014	陸軍省副官→台湾軍参謀長（俘虜ノ労役服務ニ関スル件）	〃	LF/E/2014
	2015	1942～1945 台湾俘虜收容所本部日誌抜萃	〃	LF/E/2015
	2016	1942.2.12～1945.7.31 外務省→スイス公使間往復文書 73通	〃	LF/E/2016
	〃 A	同上要約	〃	
	2017	1943.7.24 重光外相→スイス公使（タイ俘虜收容所訪問不許可ノ回答）	〃	LF/E/2017
	2018	1943.7.7 重光外相→スウェーデン公使（同上）	〃	LF/E/2018
2019	同上（チャンギ抑留所訪問不許可）	〃	LF/E/2019	
2020	1943.6.19 鈴木公使→情報局長官（俘虜ニ対スル質問ニ関スル件）	〃	LF/E/2020	

立証 段階	書証 番号	書証名 (内容要旨)	法廷ニ提出 年月日 (公判日次)	請求記号
戦 争 法 規 違 反 、 人 道 ニ 対 ス ル 罪 、 (B 級 犯 罪)	2021	1943.6.23 情報局長官→鈴木公使(俘虜ニ対スル 質問ノ返答)	22. 1. 9 (148)	LF/E/2021
	2022	1942.7.8~1945.7.5 外務省・スイス公使官往復 文書 22通	〃	LF/E/2022
	2023	1943.7.5~1944.7.20 外務省・スイス公使間往 復文書 8通	〃	LF/E/2023
	〃 A	同上要約	〃	LF/E/2023A
	2024	1942.12.12~1945.3.1 外務省・スイス公使間 往復文書 6通	〃	LF/E/2024
	2025	1942.12.15~1945.8.1 同 上 10通	〃	LF/E/2025
	〃 A	同上要約	〃	LF/E/2025A
	2026	1943.6.16及1943.6.23 外務省・スイス公使間 往復文書 2通	〃	LF/E/2026
	2027	米国務省「ペーリー」口供書(対日抗議関係)	22. 1.10 (149)	LF/E/2027
	2028	極東ニ於ケル濠洲軍捕虜表	〃	LF/E/2028
	2029	極東ニ於ケル「カナダ」軍捕虜表	〃	LF/E/2029
	2030	英国軍兵力及死亡者数表(1939~1945)	〃	LF/E/2030
	2031	極東ニ於ケル英国軍捕虜表	〃	LF/E/2031
	2032	極東ニ於ケル「ニュージランド」人捕虜表	〃	LF/E/2032
2033	枢軸国ニ捕ワレタ英国俘虜数内訳	〃	LF/E/2033	
2034	1942.4.20 東郷外相→スイス公使 抗議返答 (ウェーキ)	〃	LF/E/2034	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
戦争法規違反、人道ニ対スル罪(B 級犯罪)	2035	「ロバート・ランカスター」口述書(ウェーキ)	22. 1.13 (150)	LF/E/2035
	2036	酒井原少将, 橋少佐, 伊藤大尉ノ裁判ニ関スル太平洋軍事委員会記録(同上)(識別証拠)	〃	
	〃 A	酒井原少将口述書(同上)	〃	LF/E/2036A
	〃 B	橋少佐口述書(同上)	〃	LF/E/2036B
	〃 C	伊藤大尉口述書(同上)	〃	LF/E/2036C
	2037	米法務部調査課長「リチャード・ルデシル」中佐報告書(同上)	〃	LF/E/2037
	2038	小原保雄兵曹長口述書(同上)	〃	LF/E/2038
	2039~ 2054	1942.5.26~1945 スイス公使・外務省間往復文書(同上)	〃	LF/E/2039~ 2054
	2055	阿部中将, 小原大佐, 閑木少佐ノ裁判ニ関スル軍事委員会記録(識別証拠)	〃	
	〃 A	小原大佐口述書(クェゼリン)	〃	LF/E/2055A
	〃 B	小原大佐陳述書(同上)	〃	LF/E/2055B
	〃 C	阿部中将訊問調書(同上)	〃	LF/E/2055C
	〃 D	阿部中将陳述書(同上)	〃	LF/E/2055D
	2056	立花少将, 森中将, 的場少佐ノ裁判ニ関スル軍事委員会記録(父島)(識別証拠)	〃	
	〃 A	軍事裁判審理記録(的場少佐ノ証言)(同上)	〃	LF/E/2056A
〃 B	米人飛行士ノ肉ヲ食スルコトニ対スル的場大隊長ノ命令(同上)	〃	LF/E/2056B	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
戦争法規違反、人道ニ対スル罪(B 級 犯 罪)	2057	米太平洋方面戦犯調査部長「ジョン・D・マーフィ」大佐報告書(太平洋諸島)	22. 1.13 (150)	LF/E/2057
	2058~2061	1945.1.29~1945.5.23 スイス公使→外務省(病院船「コンフォート」号)	〃	LF/E/2058~2061
	2062	1945.5.7 ニミッツ長官→合衆国艦隊長官(同上)	〃	LF/E/2062
	2063	「コンフォート」号攻撃ニ関スル報告(同上)	〃	LF/E/2063
	2064	1945.6.23 スイス公使→外務省(同上)	〃	LF/E/2064
	2065	「オブ・テン・ノールト」号二等軍医「W.S.メネコ」ノ陳述書	〃	LF/E/2065
	2066	同上ニ対スル証明書(病院船「オブ・テン・ノールト」)	〃	LF/E/2066
	2067	1943.2.22 「オブ・テン・ノールト」号船長→海軍大臣(同上)	〃	LF/E/2067
	2068	1943.2.23 「オブ・テン・ノールト」号船長→総理大臣(同上)	〃	LF/E/2068
	2069	広島県知事ノ「オブ・テン・ノールト」号乗組員ニスル演説(同上)	〃	LF/E/2069
	2070	1944.6.29 「オブ・テン・ノールト」号船長→総理大臣(同上)	〃	LF/E/2070
	2071~2075	1942.5.28~1945.10.30 スウェーデン公使↔外務省(同上)	〃	LF/E/2071~2075
	2076~2079	1944.6.19~1945.2.21 スイス公使↔外務省(米輸送船「リチャード・ホヴェイ」号)	〃	LF/E/2076~2079
	2080~2086	1944.1.229~1945.5.15 スイス公使↔外務省(米輸送船「ジーン・ニコレット」号)	〃	LF/E/2080~2084, 2086
	2087~2091	印度洋潜水艦残虐事件ニ関スル口供書	22. 1.14 (151)	LF/E/2087~2090
2092~2093	1944.6.5~7.20 同上ニ関スル英国政府抗議	〃	LF/E/2092~2093	

立証 段階	書証 番号	書証名（内容要旨）	法廷提出 年月日 (公判日次)	請求記号
戦 争 法 規 違 反 、 人 道 ニ 対 ス ル 罪 （ B 級 犯 罪 ）	2094～ 2099	1944.6.5～7.20 印度洋潜水艦残虐事件ニ関スル口 供書	22. 1.14 (151)	LF/E/2094～ 2099
	2100	印度洋海図（商船撃沈位置ヲ示ス）	〃	LF/E/2100
	2101～ 2103	1944.9.15～1945.3.19 印度洋潜水艦残虐事件ニ 関スル外交文書	〃	LF/E/2101～ 2103
	2104	「ベハール」号ニ関スル利根副長陳述	〃	LF/E/2104
	2105	1943.3.20 ISS 命令作第 2 号（潜水艦戦強化）	〃	LF/E/2105
	2106	大島被告訊問調書（1946.2.1）	〃	LF/E/2106
	2107～ 2108	1945.6.3～6 「フェルト・プリンセサ」残虐行為 抗議文	〃	LF/E/2107～ 2108
	2109	1944.12.14 「パラワン」, 「ポート・プリンセ サ」収容所図	22. 1.15 (152)	LF/E/2109
	2110～ 2112	「ポート・プリンセサ」残虐事件口供書	〃	LF/E/2110～ 2112
	2113～ 2116	仏印残虐事件口供書, 報告書（一般民）	〃	LF/E/2113～ 2116
	2117～ 2142	同 上（同上）	22. 1.16 (153)	LF/E/2117～ 2142
	2143～ 2157	同 上（捕虜）	〃	LF/E/2143～ 2157
	2158～ 2159	「マニラ」残虐事件書証	22. 1.17 (154)	LF/E/2158～ 2159
	2160～ 2165	「ソ」聯関係残虐事件書証	〃	LF/E/2160～ 2165
	2166～ 2167	泰緬鉄道調査書ニ関スル一復CLDノ証明書	〃	
2168～ 2169	「オーストラリヤ」軍事裁判日本人名簿	〃	LF/E/2168～ 2169	

立段	証階	書証番 号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出 年 月 日 (公判日次)	請求記号
戦争 法規 違反、 人道ニ	対スル 罪(B級 犯罪)	2170~ 2174	外国抗議ニ対スル外務省発各省宛送付書	22. 1.17 (154)	LF/E/2170~ 2174
		2175	「ノモンハン」附近地図(書証753ノ訂正)	〃	LF/E/2175
		2176	溥儀氏書簡鑑定書(中国張教授)	〃	LF/E/2176
個 人 責 任 関 係	大 川 被 告	2177A	東京控訴院調書中「五・一五事件ト大川周明」	22. 1.20 (155)	LF/E/2177A
		2178A	同上「大川被告ニ対スル追加訊問記録」	〃	
		〃 B	同上「東亜経済局理事長大川周明ノ特殊功績調」	〃	LF/E/2178B
		2179A	大川周明著「アジャ、ヨーロッパ、日本」抜萃 上記著作ニ対スル土屋久泰供述書	〃	LF/E/2179A
		2180A	同上「日本及日本人ノ進ムベキ道」抜萃	〃	LF/E/2180A
		2181A	同上「日本二千六百年史」抜萃 上記著作ニ対スル長谷川己之吉供述書	〃	LF/E/2181A
		2182A	同上「大東亜新秩序建設」抜萃	〃	LF/E/2182A
		2183A	同上「佐藤信淵ノ理想国家」抜萃	〃	LF/E/2183A
		2184	1940.7.21 大川→東条書簡(大川訊問調書附随)	〃	LF/E/2184
		2185	「太陽大日本」ヨリ抜萃ノ橋本欣五郎ノ論説	〃	LF/E/2185
		2186	1941.1.11 内務省発行「旬報」 (識別証拠)	〃	
		〃 A	同上抜萃「大日本赤誠会ノ中部並西部大会状況」	〃	LF/E/2186A
		2187A	橋本欣五郎著「第二ノ開闢」	〃	LF/E/2187A

立 段	証 階	書 番 号	書 証 名 (内 容 要 旨)	法 廷 = 提 出 年 月 日 (公 判 日 次)	請 求 記 号
個	橋 本 被 告	2188	橋本被告訊問調書抜萃	22. 120 (155)	LF/E/2188
		2189	張教授宣誓口述書(書道専門家)	〃	LF/E/2189
	土被 肥 原 告	2190	土肥原被告訊問調書抜萃	〃	LF/E/2190
人 責 任 関 係	板 垣 被 告	2191	1943.1.11 木戸日記抜萃	22. 121 (156)	LF/E/2191
		2192	1935.5.30 同 上	〃	LF/E/2192
		2193	1931.9.19 林奉天総領事→幣原外相電	〃	LF/E/2193
		2194	1931.9.21 同 上	〃	LF/E/2194
		2195	1931.1.2.14 同 上→犬養外相電	〃	LF/E/2195
		2196	1931.1.1.12 同 上→幣原外相電	〃	LF/E/2196
		2197	1938.6.28 ジャパン・アドバタイザー	〃	LF/E/2197
		2198	1939.9.6 「オット」→陸空軍統帥部電	〃	LF/E/2198
		2199	1938.1.0.2 ジャパン・アドバタイザー	〃	LF/E/2199
		2200	1939.3.17 同 上	〃	LF/E/2200
		2201	1939.7.7 ジャパン・タイムス・アンド・メール	〃	LF/E/2201
係	南 被 告	2202	1931.7.1 大阪朝日	〃	LF/E/2202
		2203	吉竹 健著「南大将伝記」	〃	LF/E/2203

立証段階	証書番号	証書名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号	
個	南 被 告	2204	1931.10.18 ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン	22. 1.21 (156)	LF/E/2204
		2205	1931.1.29 枢密院会議々事録	〃	LF/E/2205
		2206	1935.5.6 北支事変ニ関スル外国新聞論調	〃	LF/E/2206
		2207	南被告訊問調書	〃	LF/E/2207
責	梅被 津告 小磯 被 告	2208 A~E	政変ヲメグル右翼団体ノ行動 (内務省警保局)	〃	LF/E/2208A~ E
		2209~ 2213	満洲事件機密費配布ノ件 (陸軍省)	〃	LF/E/2209~ 2213
		2214	1939.5 東京→ベルリン電	〃	LF/E/2214
任	荒木 被 告	2215	1940.3.17 衆議院予算委員会記録	〃	LF/E/2215
		2216~ 2222	書証番号187号抜萃 荒木被告訊問調書	〃	LF/E/2216~ 2222
関	星野 被 告	2223	荒木文相訓示	〃	LF/E/2223
		2224	1940.1.11.8 読売新聞	22. 1.22 (157)	LF/E/2224
係	広田 被 告	2225	星野被告訊問調書	22. 1.23 (158)	LF/E/2225
		2226	1936.1.16 「ロンドン」会議脱退ニ関シ談話	〃	LF/E/2226
		2227	1937.7.13 広田ニ廻附サレタル陸軍五ヶ年計画	〃	LF/E/2227
平被 召告	2228	2228	1948.1 春 華北ニ於ケル「ドイツ」人優先取扱ニ関スル訓令	〃	LF/E/2228
		2229A	1939.1.14 東京「ガゼット」 (首相演説)	〃	LF/E/2229A

立 段	証 階	書 証 番 号	書 証 名 (内 容 要 旨)	法 廷 ニ 提 出 年 月 日 (公 判 日 次)	請 求 記 号
個 人 責 任 関 係	大被 島告	2230	1939.5.28 独外相→駐日独大使電	22.1.23 (158)	LF/E/2230
	大被 川告	2231A	大川裁判ニ関スル東京控訴院記録	〃	LF/E/2231A
	白 鳥 被 告	2232	1939.9.2,9.4 ローマ→独外相電 2通	〃	LF/E/2232
		2233A	1942.6.1 現代掲載「人類最終戦ノ為ニ」	〃	LF/E/2233A
		2234	白鳥被告論文	〃	LF/E/2234
	佐 藤 被 告	2235	1938.8.25,8.29 佐藤大佐演説	〃	LF/E/2235
		2236A	1942.2.10 衆議院予算委員会記録 佐藤氏説明	〃	LF/E/2236A
		2237A	1943.2.19 同 上	〃	LF/E/2237A
		2238	佐藤被告訊問調書	〃	LF/E/2238
	武 藤 被 告	2239~ 2242	武藤被告訊問調書	22.1.24 (159)	LF/E/2239~ 2242
		2243	1940.3.21 ジャパン・タイムス・アンド・メール	〃	LF/E/2243
		2244	田中新一口供書	〃	LF/E/2244
	木 村 被 告	2245	1942.5.26 憲兵司令官→総長(「ドフリットル」 飛行士調査報告)	〃	LF/E/2245
		2246	1941.7.1 東京日日	〃	LF/E/2246
2247		1942.1.0.2 大阪朝日	〃	LF/E/2247	
嶋被 田告	2248	議会決算委員会記録	〃	LF/E/2248	

立段	証階	書証番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出 年月日 (公判日次)	請求記号
個人責任 関係	木戸被告	2249	野村大使→東郷外相電	22. 1.24 (159)	LF/E/2249
		2250	第三次近衛内閣更迭ノ顛末(木戸侯記)	〃	LF/E/2250
		2251~ 2280	1932.1.28~1941.10.1 木戸日記	〃	LF/E/2251, 2253~2276
	荒木被告	2281	1938.7.1 文部時報	〃	
		2282	陸軍部隊所在一覽表	〃	